Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LBP5900

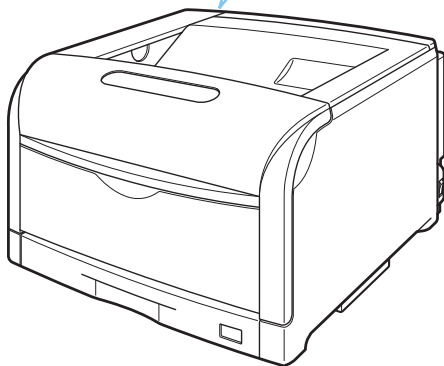
かんたん操作ガイド

かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。

いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ずCD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。
本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

裏表紙に目的別索引を掲載しています。あわせてご覧ください。

取扱説明書 CD-ROM について

必要なシステム構成

	Windows	Macintosh
OS	Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版 Microsoft Windows NT Server/ Workstation4.0 日本語版 * Microsoft Windows 2000 Server/ Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/ Home Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2003 日本語版	Mac OS 8.0/8.1/8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.04/9.1/9.2.1 日本語版 Mac OS X 10.1/10.1.1/10.1.2/10.1.3/10.1.4/ 10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/ 10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/ 10.3/10.3.1/10.3.2/10.3.3/10.3.4/ 10.3.5/10.3.6/10.3.7 日本語版
メモリ	上記 OS が動作するために必要なメモリ	
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ	68040 以上のプロセッサを搭載した Macintosh シリーズ Power Macintosh シリーズ（G3 以上推奨）
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ピクセル以上（推奨）	

* Windows NT4.0 をお使いの場合は、Service Pack3 以降をインストールしてください。

CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

取扱説明書名（PDF ファイル名）	概要
設置ガイド（STG.pdf）	プリンタの設置、パソコンとの接続、オプション品の取り付けなど、プリンタのハード的なセットアップについて記載されています。
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタの各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項が記載されています。
LIPS ソフトウェアガイド（LSG.pdf）	各種 OS のプリンタドライバのインストール、印刷方法、ユーティリティソフトウェアの説明など、コンピュータ上で行う設定や操作について記載されています。
ネットワークガイド（NWG_1.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載されています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載されています。
リモート UI ガイド（RUG_1.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載されています。

※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある以下のフォルダに収められています。
・「common1」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP5900」フォルダ：設置ガイド、ユーザーズガイド、LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド

CD-ROM メニューについて

本製品に付属の取扱説明書 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintosh をお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いのOS が Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いのOS が Mac OS 8/9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いの OS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。

*2 取扱説明書CD-ROMの使いかたや、使用上の注意事項などが記載されています。

*1 キヤノンホームページからお使いのプリンタに関しての知りたい情報や、トラブルの解決方法などを検索することができます。

取扱説明書CD-ROMについての簡単な説明が記載されています。

*2、*3 PDF取扱説明書を読んだり、キーワード検索を行うことができます。また、取扱説明書CD-ROMの機能をお使いのパソコンへインストールすることもできます。

取扱説明書CD-ROMを終了します。

*1 キヤノンホームページの修理や消耗品、製品を購入するときなどのお問い合わせ窓口一覧がご覧になれます。

*1 キヤノンホームページからユーザ登録およびアンケートへの回答を行うことができます。

*1 キヤノンホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードできます。

*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書またはCD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことをPDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、Adobe Reader 6 では、該当ページを正しく表示することができません。該当ページを正しく表示するには、Adobe Reader 6 以前のAdobe Acrobat Reader をご使用ください。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、Power Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL、HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AIX は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

Red Hat は、米国 Red Hat Software の商標です。

Sun、Sun Microsystems、SunOS、Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

Turbolinux は、ターボリナックス株式会社の商標です。

LASER5 は、レーザーファイブ株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書

・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書

・役所または公務員の印影、署名または記号

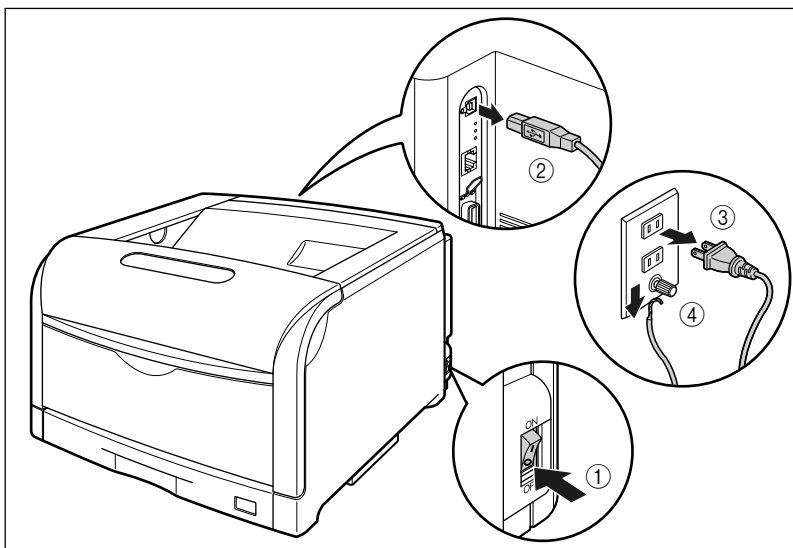
・私人の印影または署名

関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

設置について

⚠警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

⚠注意

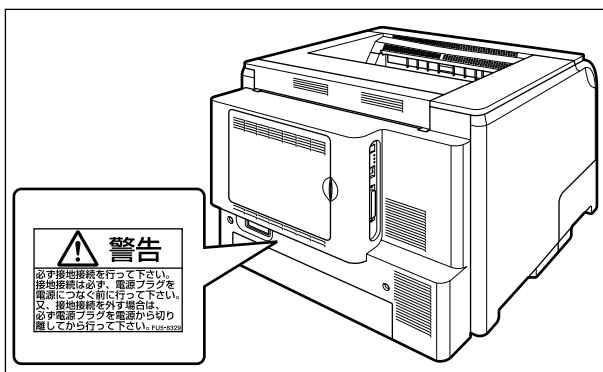
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所

・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

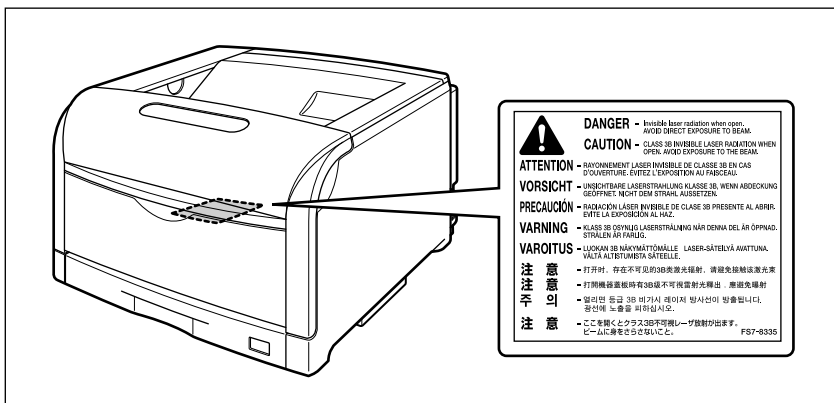
取り扱いについて

⚠警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  - ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- この製品はIEC60825-1:1993においてクラス1レーザ製品であることを確認しています。

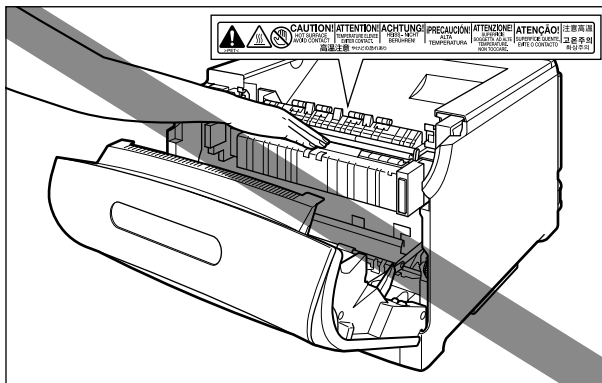
保守／点検について

⚠警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USBケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジ、廃トナー容器を火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、廃トナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

⚠警告

ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

プリンタの操作

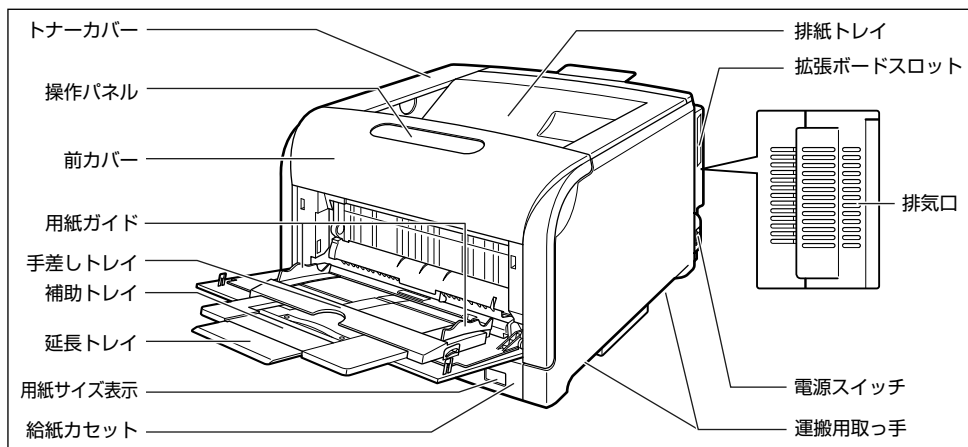
Chapter

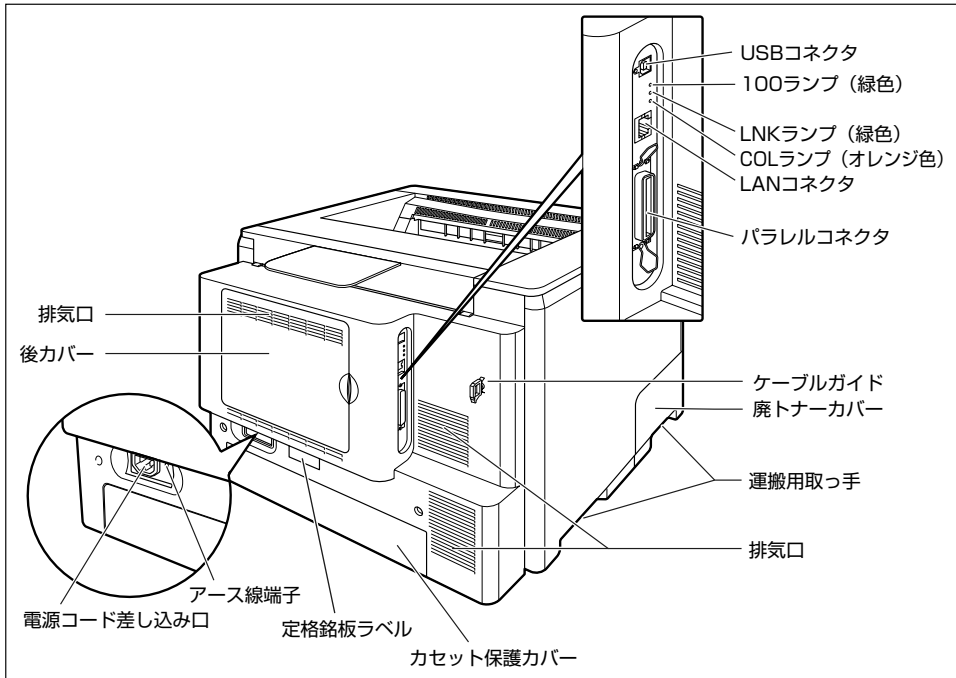
各部の名称

本体

プリンタ本体の各部の名称を説明しています。

前面

前面の各部の名称を説明しています。

背面

背面の各部の名称を説明しています。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。

操作パネル

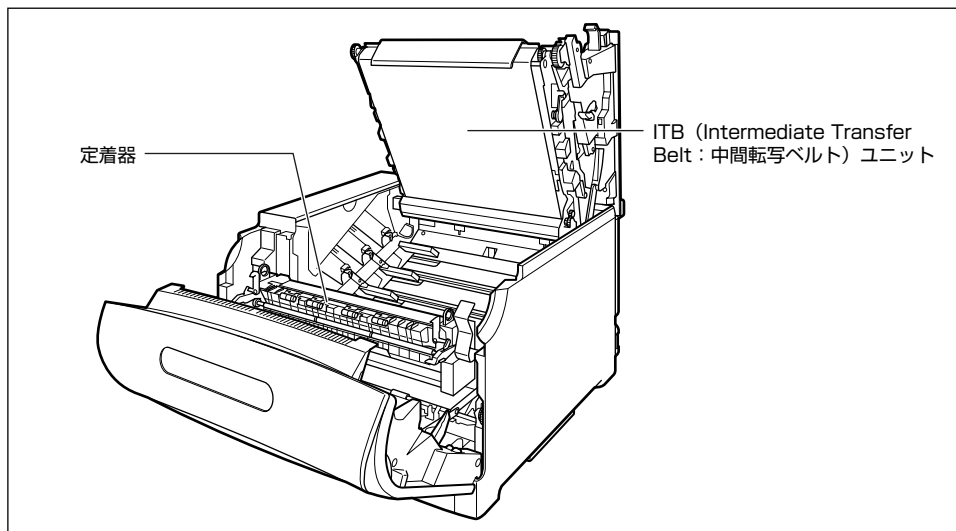
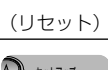
本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

プリント可能な状態

操作パネルでメニュー操作中の状態

カクチョウ キノウ →

操作パネルのキーの機能と操作方法

操作パネルのキーはプリンタの設定やプリントジョブの操作、トラブルの対処などに使われます。

各キーの機能

操作パネルのキーは以下の機能と役割を持っています。

キー	機能		
オンライン （オンライン）	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。		
	オンライン状態	オフライン状態に切り替えた直後	メニューの表示中
ジョブキャンセル （ジョブキャンセル）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。		動作しません。
給紙選択 （給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。
ユーティリティ （ユーティリティ）	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。
ジョブ （ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
リセット （リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［実行］と同じ動作をします。
セットアップ （セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。ただし、オンライン状態では一部の設定はできません。		同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［►］と表記します。
実行 （実行）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［実行］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

キーを操作してプリンタを設定する

操作パネルでキーを操作してプリンタを設定する方法を説明します。プリンタドライバから設定できない項目や、DOS や UNIX からプリントするときに操作パネルから設定してください。

例）共通セットアップメニューの「給紙グループ」の「手差しトレイ用紙サイズ」を「A3」に設定する

● 本プリンタで設定できる各機能のメニューの設定項目や設定値については、巻末にあるメニュールートマップを参照してください。

日付と時刻を設定する

本プリンタには時計機能が内蔵されています。この時計はプリンタのメンテナンスや履歴の管理に使用されます。日付や時間が合っていないときに、設定してください。

日付と時刻は工場出荷時に合わせられています。本プリンタに内蔵されている時計の精度は、月差± 60 秒です。定期的に本項目で時刻を合わせてください。

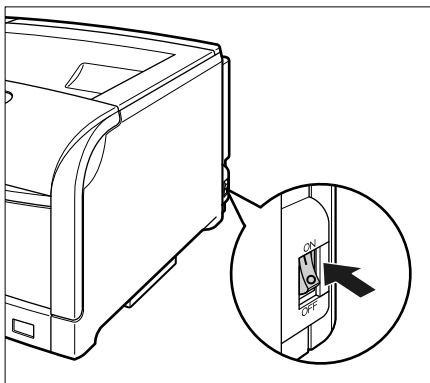
日付と時刻の設定は、それぞれ以下の操作で行います。

電源のオン／オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの“I”側を押し、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、プリント可能な状態になります。

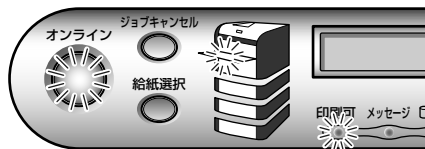
1 **本体の電源スイッチの“I”側を押します。**

操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果に異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されてプリント可能な状態になります。

ディスプレイには、次の情報が表示されます。

プリント可能で処理中のプリントデータがない状態

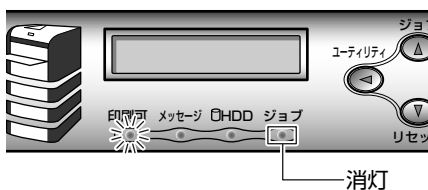
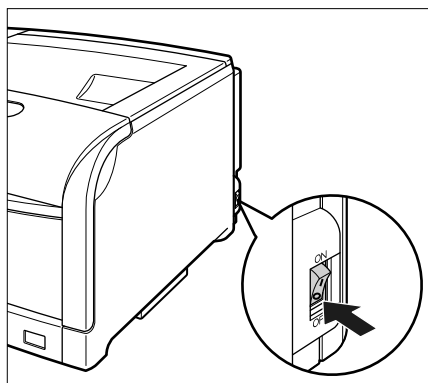
00　インサツ　カノウ　　A4

現在選択されている給紙元の用紙サイズ

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。電源をオフにする操作は、ハードディスクを使用している場合と、使用していない場合で異なります。

ハードディスクを使用していない場合

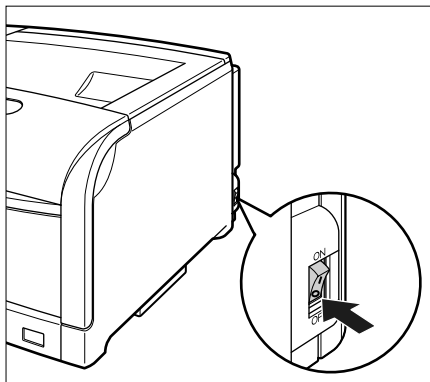
ハードディスクを使用していない場合は、次の手順で電源をオフにします。

1 ジョブランプが消灯していることを確認します。

2 本体の電源スイッチの"○"側を押します。

ハードディスクを使用している場合（ハードディスク装着時のみ）

オプションのハードディスクを使用している場合は、ハードディスク保護のため必ず次の手順にしたがって電源をオフにします。

1 ジョブランプとHDDランプが消灯していることを確認します。

2 操作パネルで「シャット　ダウン」を行います。

3 「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されたら、本体の電源スイッチの“○”側を押します。

オンライン／オフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。

操作パネルから各メニューを設定するには以下の状態に切り替えます。

○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

	オンライン状態	オフライン状態
セットアップメニュー	○*	○
給紙選択メニュー	○	○
リセットメニュー	○	○
ジョブメニュー	○	×
ユーティリティメニュー	○	×

* オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

オフラインにする

パソコンからのデータを受け取らない状態にしたり、セットアップメニューのすべての項目を設定するには、プリンタを次の手順でオフラインにします。

1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

プリントの中止方法

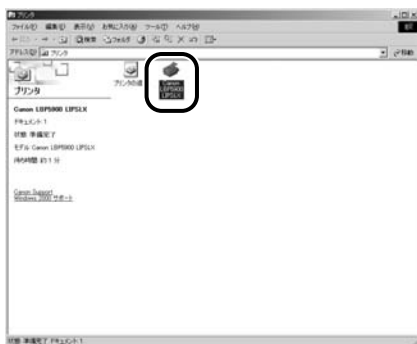
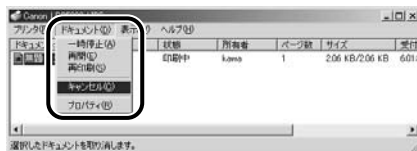
プリントを中止するには、パソコン側で中止の操作を行います。

ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 パソコンでプリント中止の操作を行います。

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] を選択し、プリント中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択し、プリント中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、プリント中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

中止するジョブを選択して、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」(Windows 98/Me の場合は「印刷中止」) を選択します。

● プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない (ジョブランプが点灯している) ときは次の手順で「排出」の操作を行います。

2 データの排出は以下の操作で行います。

● 「排出」の操作を行っても、ジョブランプが点灯しているときや次のプリントができないときは次の手順で「ソフトリセット」の操作を行います。「ソフトリセット」が行えない場合や、「ソフトリセット」してもプリンタが正しく動作していない場合は、「ハードリセット」の操作を行ってください。

3 ソフトリセットやハードリセットは以下の操作で行います。

（リセット）を押します。

リセットメニューが表示されます。

リセット

ソフトリセット →

ユーティリティ または セットアップ で「ソフトリセット」を選択します。

ソフトリセット →

ソフトリセットする場合は、実行 を押します。

03 ソフト リセット

ハードリセットする場合は、実行 を押し続け、「03　ハード　リセット」と表示されたら離します。

03 ハード リセット

●ソフトリセット・ハードリセットについて

○ソフトリセット

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフトリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○ハードリセット

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

メンテナンス

Chapter

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面プリントと自動両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、×は不可です。

用紙の種類	給紙元				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
普通紙（64～105g/m^2）					
A5	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター *1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル *2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*2	◎	◎	◎	◎	◎
12 × 18*2	○	×	×	×	×
ユーザ設定サイズ	◎*3	×	◎ *4	◎ *4	◎ *4
長尺紙 *2	○*5	×	×	×	×
ハガキ *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ*1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
厚紙（106～220g/m^2）					
A5 ～ 12 × 18	○	×	×	×	×
ユーザ設定サイズ	○*3	×	×	×	×
長尺紙 *2	○*5	×	×	×	×
ハガキ *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ*1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
コート紙　A3 A4	○	×	×	×	×
ラベル紙　A4	○	○	○	○	○
ハガキ*2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復ハガキ*1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面ハガキ *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×
封筒*2					
洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。
*2 縦置きのみセット可能です。

*3 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～297.0mm
以下のサイズのユーザ設定用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～431.8mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～297.0mm

*4 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～431.8mm
・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～297.0mm

*5 以下のサイズの長尺紙を縦置きにセットすることができます。LIPS LX プリンタドライバからのみプリントすることができます。
・幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝ A4 サイズ 16 枚分

Check!

幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続プリントした場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、プリント速度が段階的に遅くなります。（最終的に A5、B5 サイズの普通紙の場合で約 8ppm、B4 サイズの普通紙やはがきの場合で約 4ppm まで低下することがあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
・不規則な形の用紙
・湿っている用紙、濡れている用紙
・破れている用紙
・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
・カールした用紙や折り目のある用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
・バリのある用紙
・しわのある用紙
・角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙

・定着器の熱（約 190 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
・感熱用紙
・表面加工したカラー用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

・カーボン紙
・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

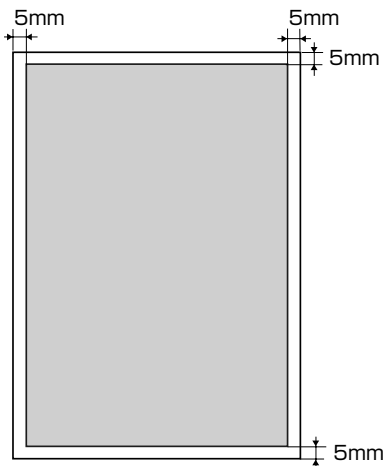
●トナーが定着しにくい用紙

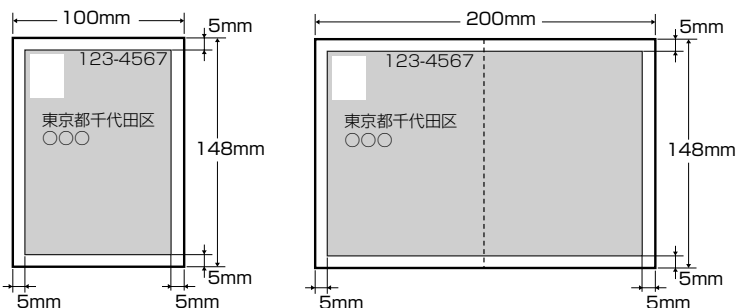
・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・繊維の粗い用紙

プリントできる範囲

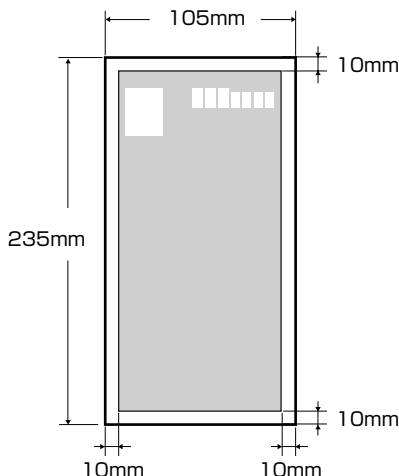
本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。ただし、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

●普通紙 / 厚紙 / コート紙 / ラベル紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。

●ハガキ / 往復ハガキ /4 面ハガキ

ハガキの周囲 5mm より内側の範囲にプリントできます。

●封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

給紙カセットに用紙をセットしてプリントする

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11　A4ヨウシガ　アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。
カセット 1 に用紙をセットする→ P.2-6
カセット2、カセット 3、カセット４に定形の用紙をセットする→ P.2-8

用紙をセットするときは、プリンタが次のいずれかの状態のときに行ってください。

- ジョブランプが消灯しているとき
- プリンタの電源がオフのとき
- 用紙なしメッセージが表示されているとき

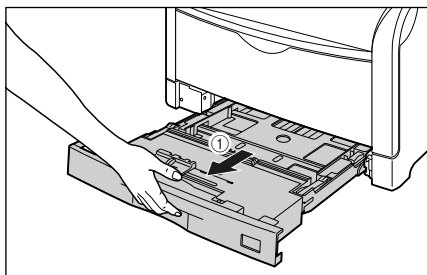
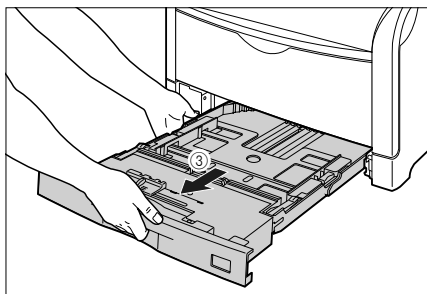
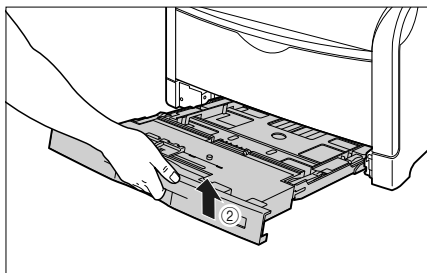
使用できる用紙については、「P.2-2」を参照してください。
使用できない用紙については、「P.2-3」を参照してください。

Point

Windows やMacintosh から給紙カセットを使ってプリントする場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセットN（N=1、2、3、4）用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないと「PC　XXX　ヨウシ　ニコウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「カセット N（N=1、2、3、4）用紙タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
また、BMLinkS プリンタドライバやプリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は、給紙カセットにセットされた用紙のタイプと「カセットN（N ＝ 1、2、3、4）用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

カセット 1 に用紙をセットする

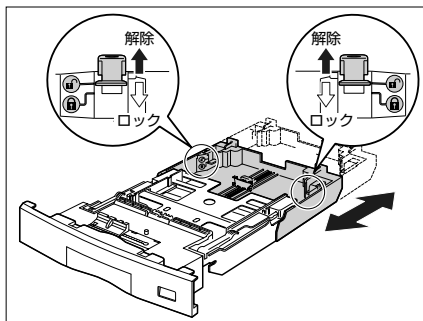
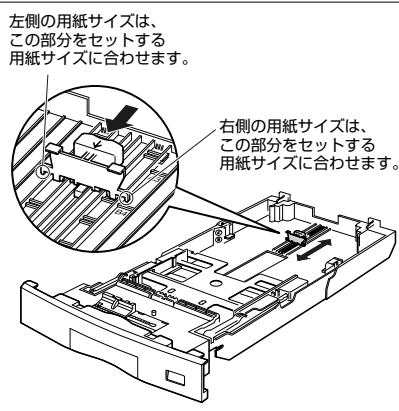
1 給紙カセットを引き出します。

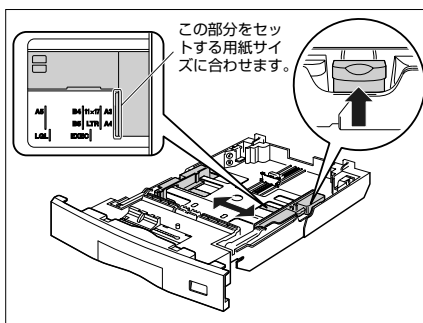
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、次の作業を行います。

a セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

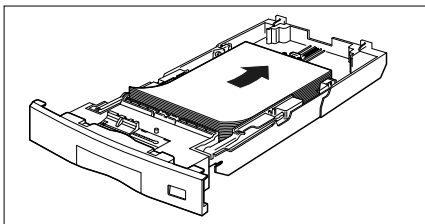
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。

A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。

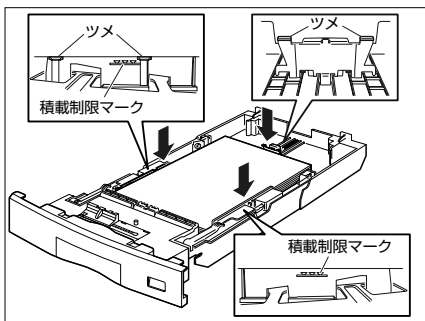
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

b 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

c 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

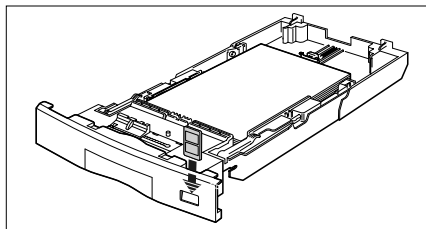
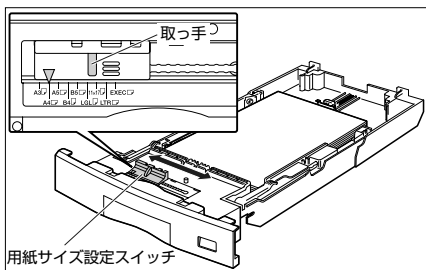
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

3 ラベル紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

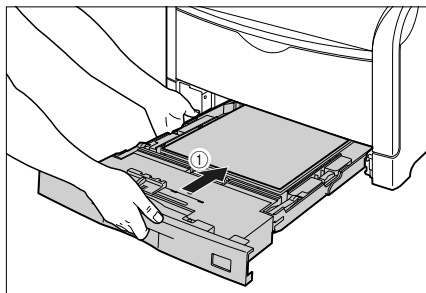
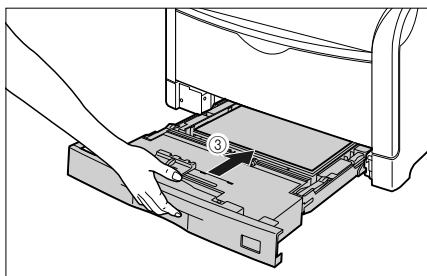
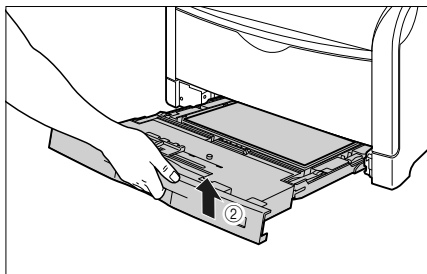
4 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

給紙カセットには、普通紙（64g/m^2 の場合）を約250 枚、ラベル紙を約50 枚までセットできます。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-28）を参照してください。

5 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

6 用紙サイズを変更した場合は、次の作業を行います。

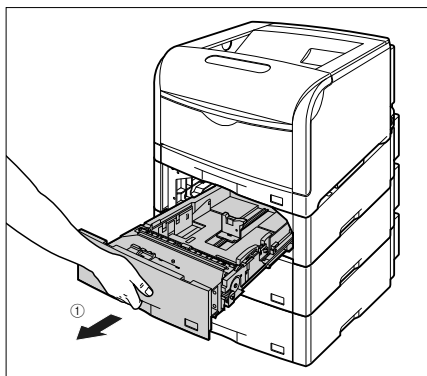
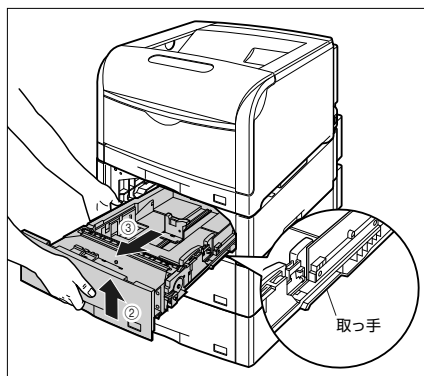
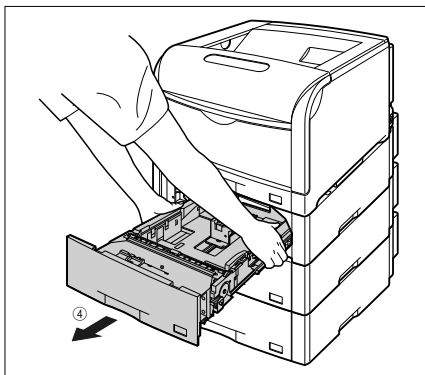
a 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

b 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

7 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

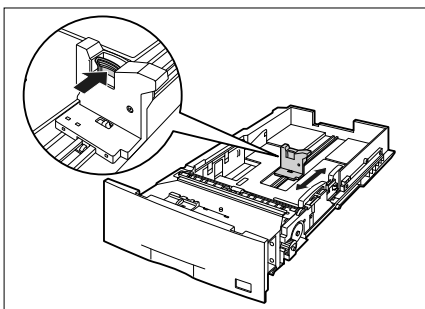
図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-11）。

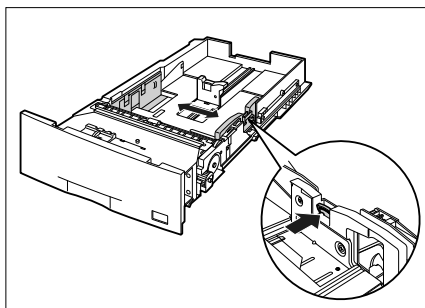
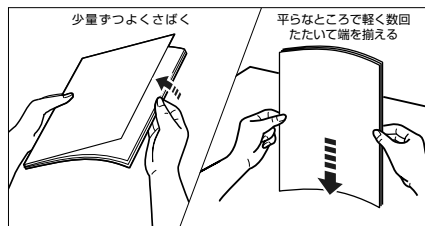
カセット 2、カセット 3、カセット 4 に定形の用紙をセットする

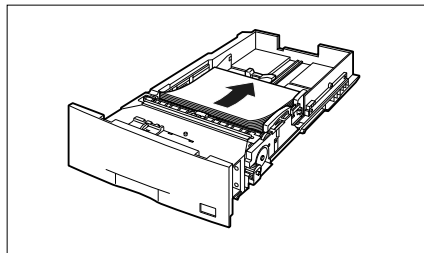
オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）に定形サイズの用紙をセットする場合は、次の手順で行います。ユーザ設定サイズの用紙をセットする場合は、「ユーザ設定用紙、長尺紙にプリントする」（→ P.2-18）を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

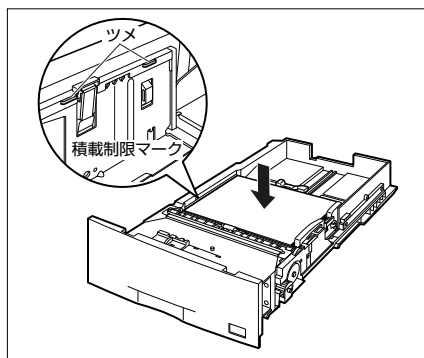
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、次の作業を行います。

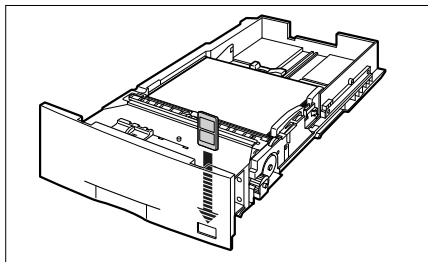
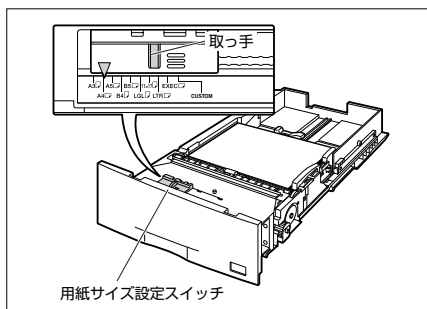
a 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

b 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

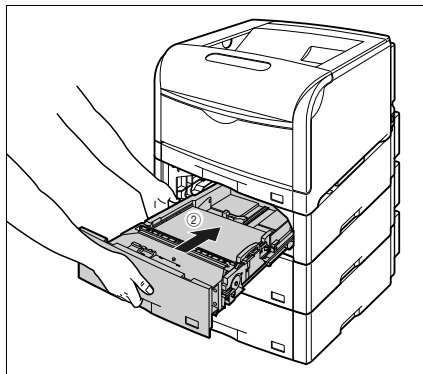
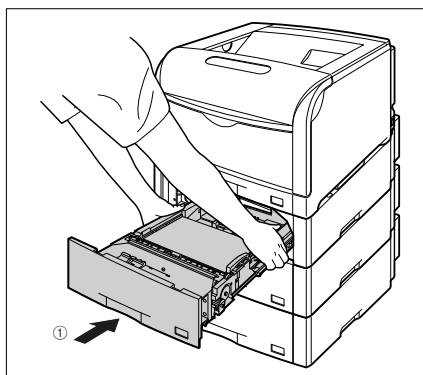
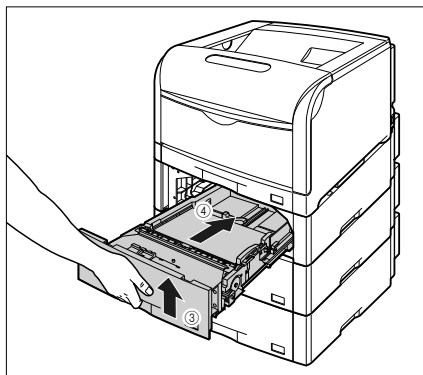
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

3 ラベル紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

4 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

給紙カセットには、普通紙（64g/m^2 の場合）を約 550 枚、ラベル紙を約 50 枚までセットできます。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-28）を参照してください。

5 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

6 用紙サイズを変更した場合は、次の作業を行います。

a 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

b 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます④。

引き続きプリンタドライバの設定を行います(→ P.2-11)。

プリンタドライバの設定方法

給紙カセットでプリントするときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

ここでは Windows 2000/XP/Server 2003 用 LIPS LX プリンタドライバ Version1.25 を例にします。Macintoshの場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「カセット N（N＝ 1、2、3、4）用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章　共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで [印刷] を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

3 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で使用するカセット、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64 ～ 105g/m^2）	［普通紙］＊
ラベル用紙	［ラベル用紙］

＊　［普通紙］に設定してプリントした結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。

- 普通紙（64g/m^2）をプリントした結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

手差しトレイに用紙をセットしてプリントする

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11　A4ヨウシカ゛ アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

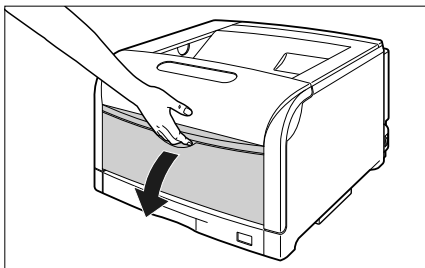
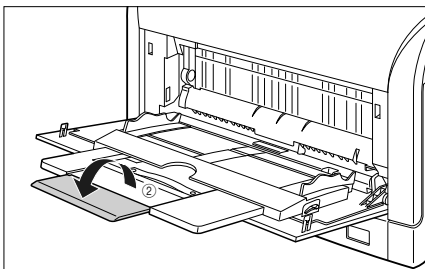
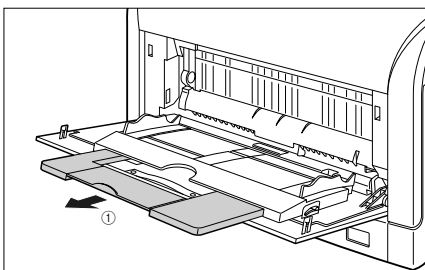
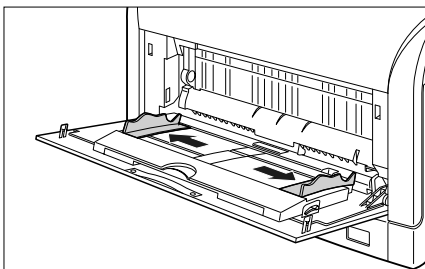
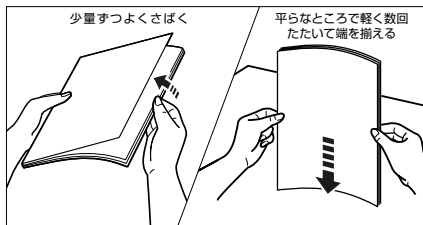
手差しトレイには、以下のような用紙をセットすることができます。

用紙のタイプ	用紙のサイズ	積載枚数
普通紙	· 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、12× 18、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブ · ハガキサイズ ハガキ（幅：100.0mm、長さ：148.0mm）、往復ハガキ（幅：148.0mm、長さ：200.0mm）、4 面ハガキ（幅：240.0mm、長さ：332.0mm） · ユーザ設定用紙、長尺紙 *1	約 100 枚 ($64g/m^2$ の場合)
厚紙		約 50 枚
コート紙	A3、A4	約 50 枚
ラベル用紙	A4	約 40 枚
封筒	洋形 4 号*2（幅：105.0mm、長さ：235.0mm） 洋形 2 号*3（幅：114.0mm、長さ：162.0mm） 角形 2 号（幅：240.0mm、長さ：332.0mm）	約 10 枚
ハガキ	ハガキ（幅：100.0mm、長さ：148.0mm） 往復ハガキ（幅：148.0mm、長さ：200.0mm） 4 面ハガキ *4（幅：200.0mm、長さ：296.0mm）	約 40 枚

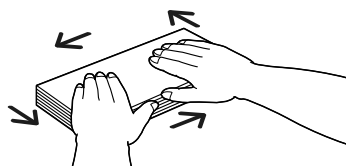
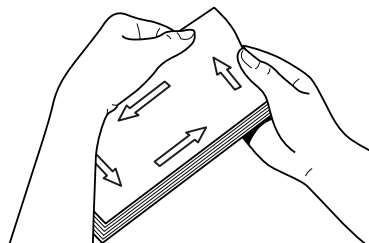
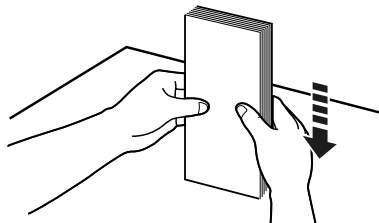
*1 ユーザ設定用紙、長尺紙については、「ユーザ設定用紙、長尺紙にプリントする」(→P.2-18)を参照してください
*2 キヤノン LBP 用封筒 Y401/ 推奨品
*3 キヤノン LBP 用封筒 Y201/ 推奨品
*4 キヤノン LBP 用 4 面ハガキ / 推奨品

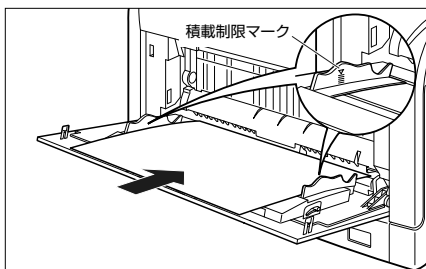
● 紙の厚さについて
紙の厚さは、$1m^2$* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*$1m^2$ = A4 サイズ 16 枚分

1 手差しトレイを開けます。

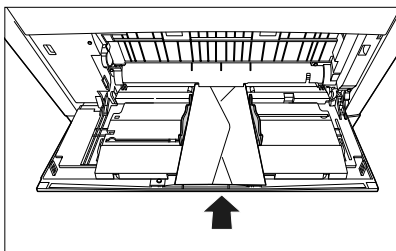
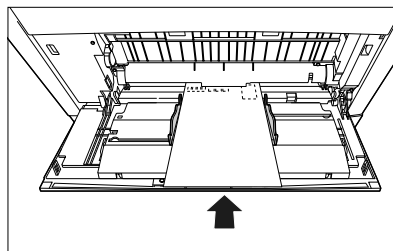
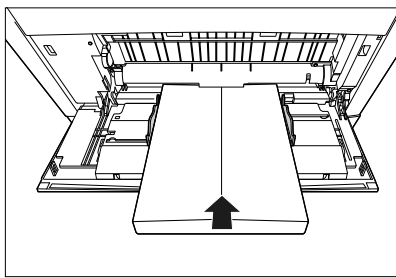
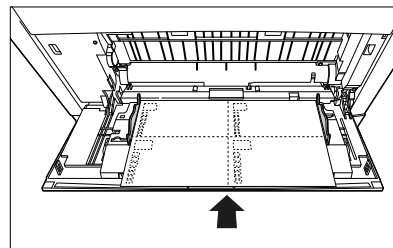
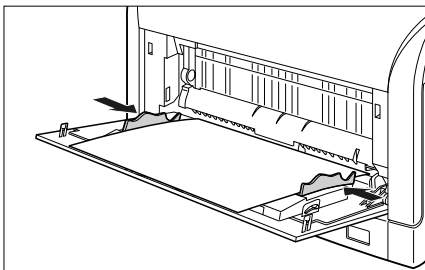
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

A3 や B4 などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 コート紙やラベル紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

Point

封筒は次の手順で揃えます。

a 封筒の束を押して空気を抜き、縁の折り目をきちんと付けて平らにします。

b 四隅の固い部分を取り除き、カールをなおします。

c 平らな場所で揃えます。

4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-28）を参照してください。

Point

封筒、ハガキの場合は以下のようにセットします。

- 封筒　洋形４号／洋形２号
  宛名を書く面を下向きにセットします。ふたが左側になるようにセットしてください。

- ハガキ／往復ハガキ
  プリントする面を下にして、ハガキの上端が奥になるようにセットしてください。

- 封筒　角形２号
  宛名を書く面を下向きにセットします。ふたを開けたまま、底辺が奥側になるようにセットしてください。

- ４面ハガキ
  プリントする面を下にして、ハガキの上端が左になるようにセットしてください。

5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

6 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイからプリントするときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

実行 を押します。 テザ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

ユーティリティ または セットアップ で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。 テザ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

実行 を押します。 =A4 →

ユーティリティ または セットアップ で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。 B5 →

実行 を押します。 =B5 →

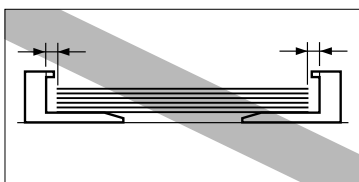
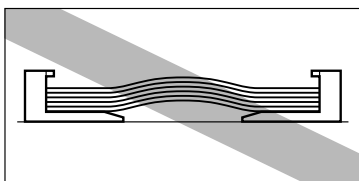
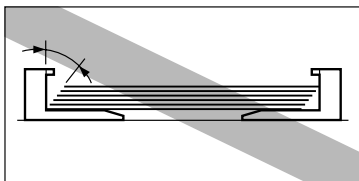
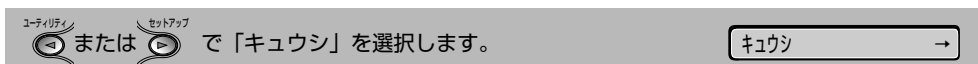
用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

ユーティリティ または セットアップ で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択します。 テザ゛シトレイ ヨウシタイフ゜→

実行 を押します。 =フツウシ →

ユーティリティ または セットアップ で用紙タイプを選択します。 アツカ゛ミ1 →

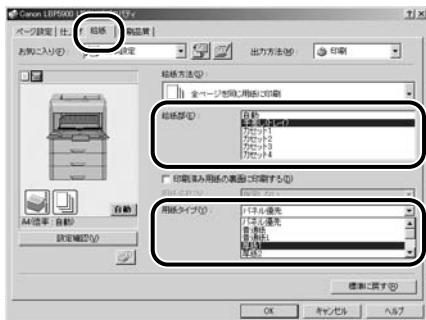
実行 を押します。 =アツカ゛ミ1 →

用紙タイプの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

7 **以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、パソコンの前に移動します。**

● ここではWindows 2000/XP/Server 2003用LIPS LXプリンタドライバVersion1.25を例にします。Macintoshの場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする方法についてはユーザーズガイド第 3 章「手差しトレイからプリントする」を参照してください。

8 **アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

9 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

10 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64～105g/m^2）	［普通紙］*1
厚紙（106～169g/m^2）	［厚紙 1］
厚紙（170～220g/m^2）	［厚紙 2］
ラベル用紙	［ラベル用紙］
コート紙	［コート紙］*2
ハガキ	［はがき］*3
封筒	［封筒］

*1 ［普通紙］に設定してプリントした結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。

- 普通紙（64g/m^2）をプリントした結果、用紙のカールが目立つ場合
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

*2 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、以下の設定を行ってください。

- 105 g/m^2 以下の場合：［用紙タイプ］を［普通紙］に設定する
- 170 ～220 g/m^2 の場合：［用紙タイプ］を［コート紙］にして、［仕上げ］-［仕上げ詳細］-［処理オプション］の順にクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊印字処理］の［コート紙］の設定を［する］にする

*3 本プリンタは、ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）に印刷することができます。ハガキ、往復ハガキ、4 面ハガキサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙（106～169g/m^2）やキヤノン推奨 4 面ハガキに印刷する場合は、［厚紙 1］を選択します。

11 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

12 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ユーザ設定用紙、長尺紙にプリントする

本プリンタの手差しトレイには、以下のユーザ設定用紙、長尺紙をセットすることができます。

- ユーザ設定用紙
  縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 457.2mm
  横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
- 長尺紙（縦置きのみ）
  幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 457.3 ～ 1200.0mm

また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）には、以下のユーザ設定用紙の普通紙をセットすることができます。

- ユーザ設定用紙
  縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
  横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

ユーザ設定用紙、長尺紙をプリントする場合は、以下の手順で行います。

1. ユーザ設定用紙、長尺紙のサイズを登録する（→ P.2-18）
2. ユーザ設定用紙、長尺紙をセットする
   ・手差しトレイにセットする場合（→ P.2-19）
   ・ペーパーフィーダにセットする場合（→ P.2-22）
3. プリンタドライバを設定して、ユーザ設定用紙、長尺紙をプリントする（→ P.2-25）

ユーザ設定用紙、長尺紙の登録方法

ユーザ設定用紙、長尺紙をプリントする場合は、以下の手順でユーザ設定用紙、長尺紙のサイズをプリンタドライバに登録する必要があります。

ユーザ設定用紙、長尺紙の登録は、以下のダイアログボックスを表示して行います。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
  ［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 は［プリンタと FAX］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。
- Windows 98/Me の場合
  ［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

1 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

2 必要に応じて各項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ設定用紙、長尺紙の名称とサイズが表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ設定用紙、長尺紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角 31 文字 / 全角 15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、半角/ 全角31 文字まで入力できます。

［単位］：　ユーザ設定用紙、長尺紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。

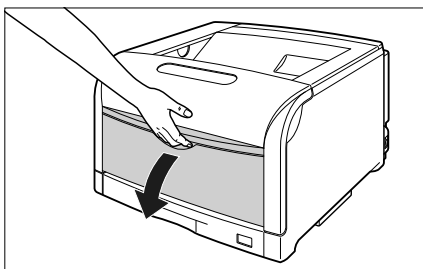
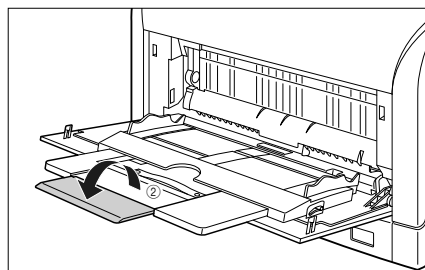
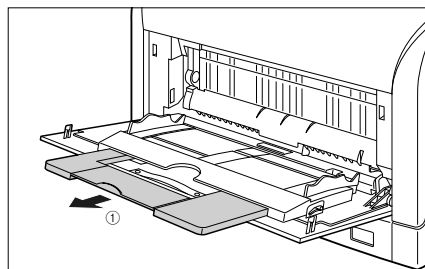
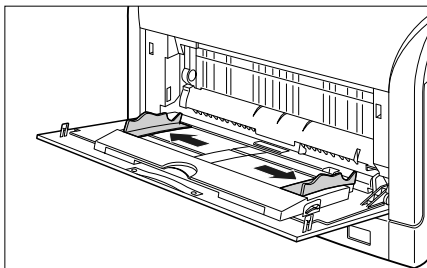
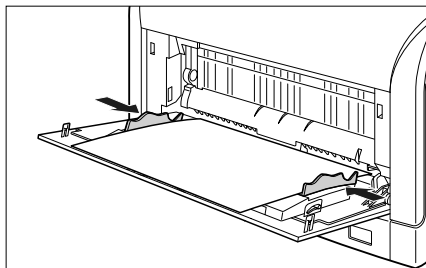
［用紙サイズ］：　ユーザ設定用紙、長尺紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

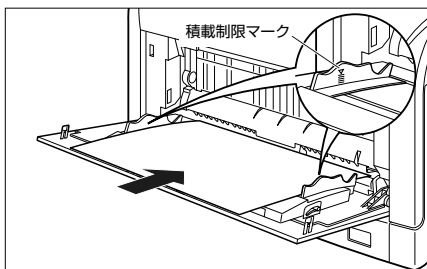
3 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。

手差しトレイにユーザ設定用紙、長尺紙をセットする

手差しトレイにユーザ設定用紙、長尺紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

長尺紙などの長いサイズの用紙をセットするときは補助トレイを引き出し ①、延長トレイを開けます ②。

2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

3 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-28）を参照してください。

Point

長尺紙をセットする場合は、1 枚ずつ図のように手差しトレイにセットします。

セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、以下のようにセットしてください。
LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

4 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイからプリントするときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

カセット 2、3、4 にユーザ設定用紙をセットする

オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、3、4）に、ユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

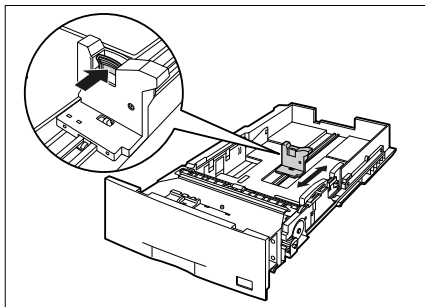
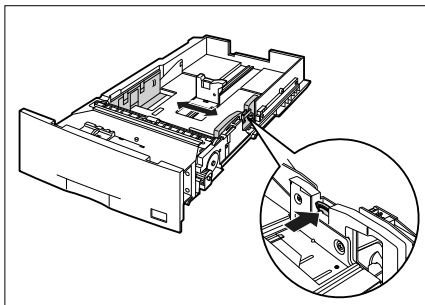
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

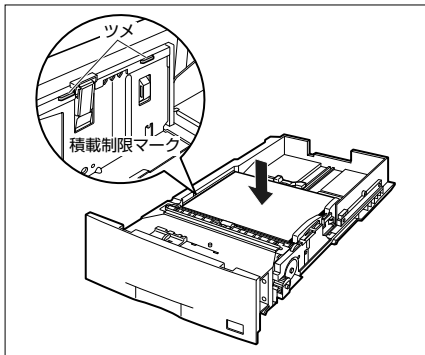
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-28）を参照してください。

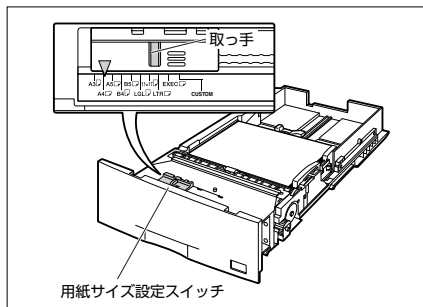
Point

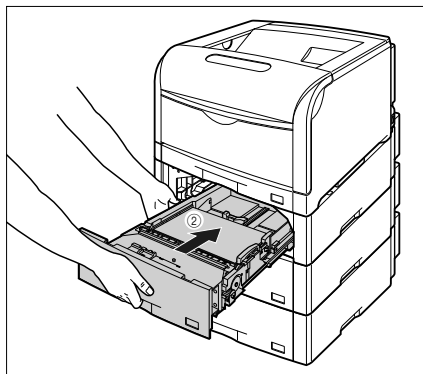
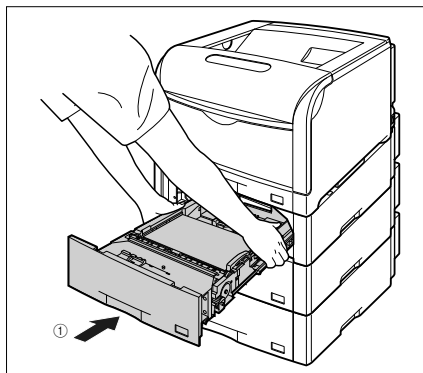
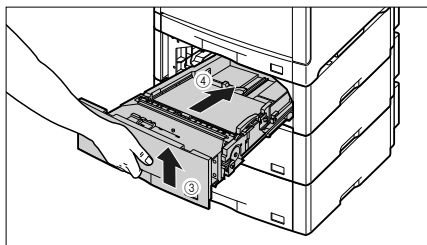
セットアップメニューの給紙グループにある「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、以下のようにセットしてください。
LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

5 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

6 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークを「CUSTOM」に合わせます。

工場出荷時は A3 サイズにセットされています。

7 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。

8 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。ペーパーフィーダの給紙カセットからプリントするときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

セットアップ（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜ → カクチョウ キノウ →

ユーティリティ または セットアップ で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

実行 を押します。

テザシトレイ ヨウシサイズ゛→

ユーティリティ または セットアップ で「カセット N ヨウシ サイズ」（N=2、3、4）を選択します。

カセット2 ヨウシ サイズ゛ →

実行 を押します。

=ユーザ゛セッテイサイズ゛ →

ユーティリティ または セットアップ で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

「フリー」に設定しているときに、長辺が297.0mm以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、用紙が以下のようにセットされているかを確認してください。

LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット

LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

実行 を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

=ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

プリンタドライバの設定方法

ユーザ設定用紙、長尺紙をプリントするときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

ここでは Windows 2000/XP/Server 2003 用 LIPS LX プリンタドライバ Version1.25 を例にします。
Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする方法についてはユーザーズガイド第 3 章「給紙カセットからプリントする」、「手差しトレイからプリントする」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットしたサイズのユーザ設定用紙を選択します。

3 ［給紙］ページをクリックして、［給紙部］でセットした給紙部を選択し、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64～105g/m²）	［普通紙］*
厚紙（106～169g/m²）	［厚紙 1］
厚紙（170～220g/m²）	［厚紙 2］

* ［普通紙］に設定してプリントした結果、次のような不具合があった場合は、［普通紙 L］に設定してください。
  - 普通紙（64g/m²）をプリントした結果、用紙のカールが目立つ場合
  - 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

手動で両面にプリントする

本プリンタは、裏面にプリント済みの用紙にも対応しており、自動両面プリントできない用紙にも両面プリントすることが可能です。プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバや操作パネルで設定してください。

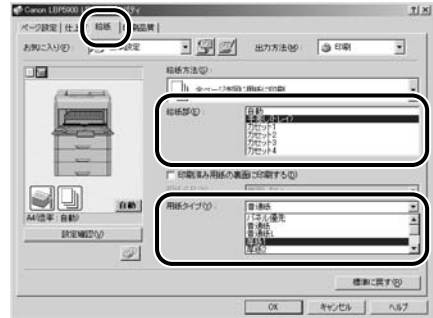
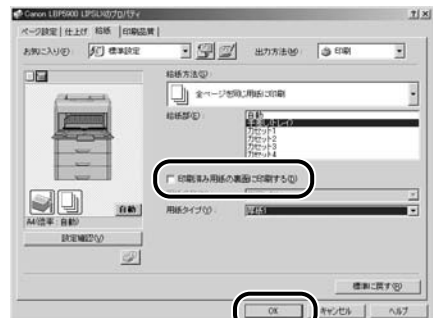
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-28）を参照してください。

Point

プリンタドライバの設定は、Windows 2000/XP/Server 2003 用 LIPS LX プリンタドライバ Version1.25 を例にします。
Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする方法については、ユーザーズガイド第 3 章「手差しトレイからプリントする」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

3 ［給紙］ページをクリックして、［給紙部］で［手差し（トレイ)］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

4 ［印刷済み用紙の裏側に印刷する］をチェックし、［ＯＫ］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、以下のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合		A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合	
	縦レイアウト	横レイアウト	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1～4（片面印刷）				
カセット1～4（自動両面印刷）				
手差しトレイ（片面印刷）				
手差しトレイ（自動両面印刷）				
手差しトレイ（手動両面印刷）				

・封筒、ハガキの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットしてプリントする」（→ P.2-12）を参照してください。

・セットアップメニューの給紙グループにある「カセット　N（N=2、3、4）用紙サイズ」や「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を「フリー」に設定しているときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙をプリントする場合は、お使いのプリンタドライバにしたがって、以下のようにセットしてください。
LIPS LX プリンタドライバを使用している場合：横置きにセット
LIPS LX プリンタドライバを使用していない場合：縦置きにセット

トナーカートリッジを交換する

「トナー　ヨウイ／コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X トナー ヨウイ （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X トナー コウカン （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すとプリントは継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量のプリントをするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
1G X トナー コウカン （X は K、Y、M、C）	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G　K　トナー　コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません。 ・「1G　X　トナー　コウカン」（X=Y、M、C）が表示された場合は、モノクロプリントのみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　ヨウイ」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。

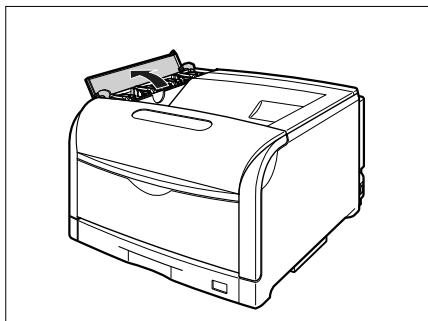
● トナーカートリッジの寿命について
本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4サイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。
・ブラック（Toner Cartridge 502 Black）：約 10,000 ページ
・イエロー（Toner Cartridge 502 Yellow）：約 6,000 ページ
・マゼンタ（Toner Cartridge 502 Magenta）：約 6,000 ページ
・シアン（Toner Cartridge 502 Cyan）：約 6,000ページ

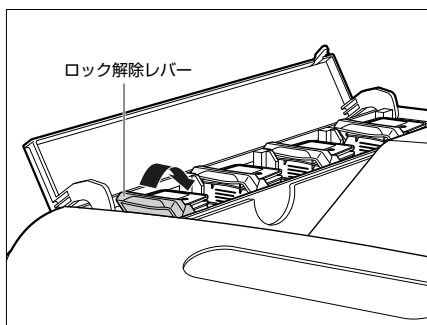
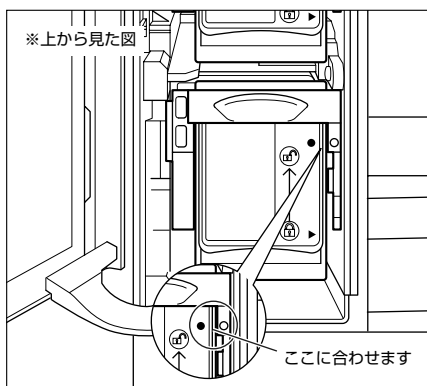
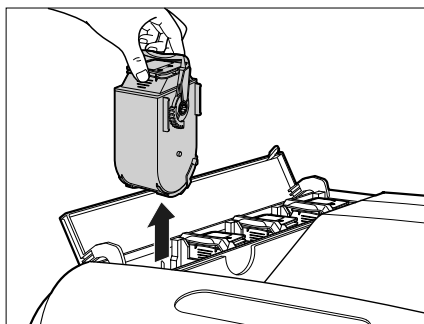
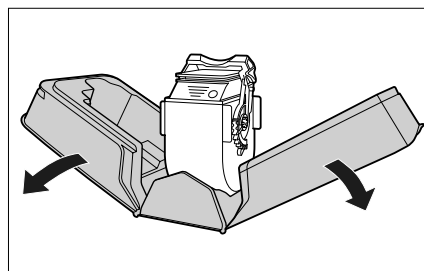
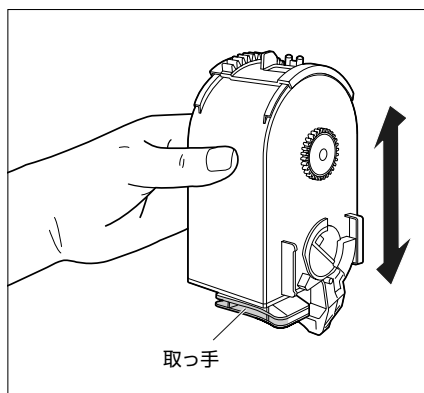
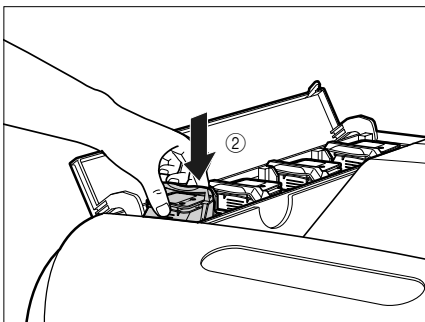
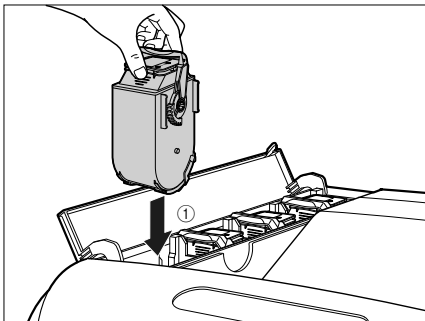
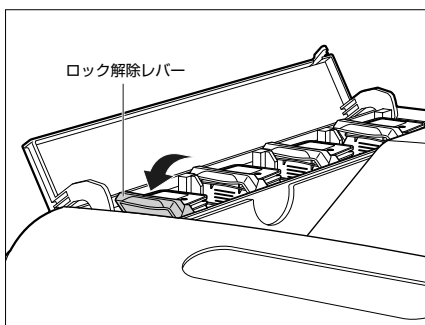
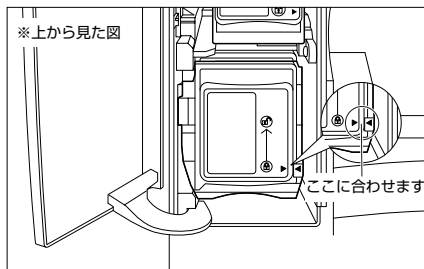
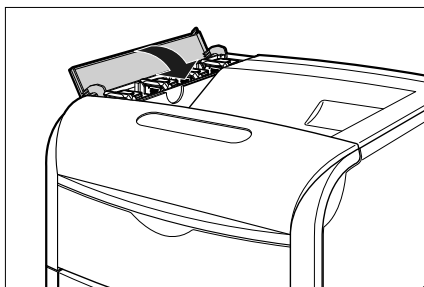
トナーカートリッジの交換

次のメッセージが表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のカートリッジに交換してください。

- 「1G　K　トナー　コウカン」・・・ブラックのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　Y　トナー　コウカン」・・・イエローのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　M　トナー　コウカン」・・・マゼンタのトナーカートリッジを交換します
- 「1G　C　トナー　コウカン」・・・シアンのトナーカートリッジを交換します

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 トナーカバーを開けます。

2 交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「🔓」の位置まで倒して、ロックを解除します。

トナーカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

ロック解除レバーの丸マークをトナーカートリッジの丸マークに合わせます。

3 トナーカートリッジを本体から取り外します。

4 トナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護パックから取り出します。

5 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復 10 回振って、内部のトナーを均一にならします。

6 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを本体に挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

7 ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。

ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。

8 トナーカバーを閉めます。

Check!

トナーカートリッジをセットしても、「1G　X　トナー　コウカン」が消えるまで数秒時間がかかります。「1G　X　トナー　コウカン」が消えない場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。

「1G　X　トナー　コウカン」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照して、トナーカートリッジのカウンタのリセットを行います。

ドラムカートリッジを交換する

「ドラム　ヨウイ / ドラムコウカン」が表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに以下のメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E0 X ﾄﾞﾗﾑ ﾖｳｲ (X は K、Y、M、C)	ドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	· プリントは継続できます · 表示された色の新品のドラムカートリッジを用意してください · 大量のプリントをするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
EF X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	ドラムカートリッジが寿命になったとき	· プリンタは停止します ·［オンライン］を押すと少しの間はそのままプリントを継続できますが、印字品質が低下することがあります · 表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください
98 X ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	ドラムカートリッジが使用できなくなったとき	· プリンタは停止し、継続してプリントすることはできません · 表示された色の新品のドラムカートリッジに交換してください

*　メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各ドラムカートリッジを表しています。

● ドラムカートリッジの寿命について

- 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。
  このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、連続 / 片面印刷
  · ブラック（Drum Cartridge 502 Black）：約 50,000 ページ
  · イエロー（Drum Cartridge 502 Yellow）：約 50,000 ページ
  · マゼンタ（Drum Cartridge 502 Magenta）：約50,000 ページ
  · シアン（Drum Cartridge 502 Cyan）：約50,000 ページ
- 2 枚ずつ間隔をあけて印刷（2 枚間欠印刷）を行なう場合の本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、ブラック約 45,000 ページ、カラー各色約 40,000 ページとなります。この数値はカラー印刷のみを行った場合の印刷可能なページ数です。
  モノクロ印刷をした場合でも、各カラーのドラムカートリッジの消耗は進むため、モノクロ印刷を多く行ったときには、各カラーのドラムカートリッジの寿命が半分程度の枚数になることがあります。
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

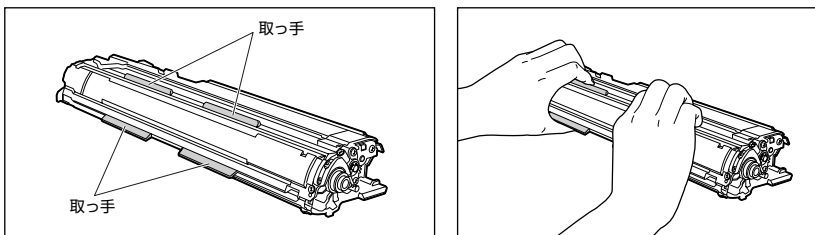
ドラムカートリッジの交換

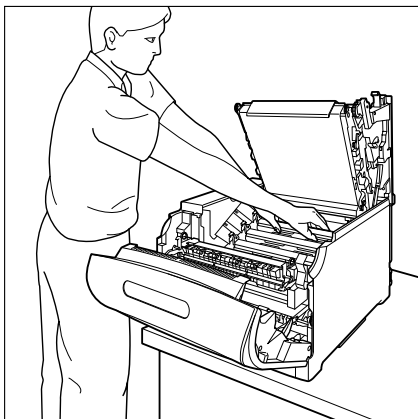
次のメッセージが表示されたときは、表示された色のドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください。

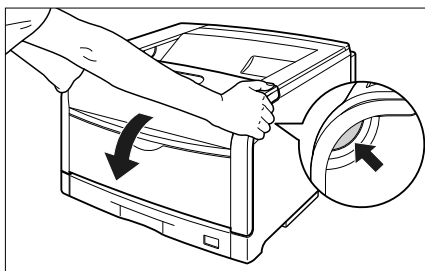
- 「EF　K　ドラムコウカン」・・・ブラックのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　Y　ドラムコウカン」・・・イエローのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　M　ドラムコウカン」・・・マゼンタのドラムカートリッジを交換します
- 「EF　C　ドラムコウカン」・・・シアンのドラムカートリッジを交換します

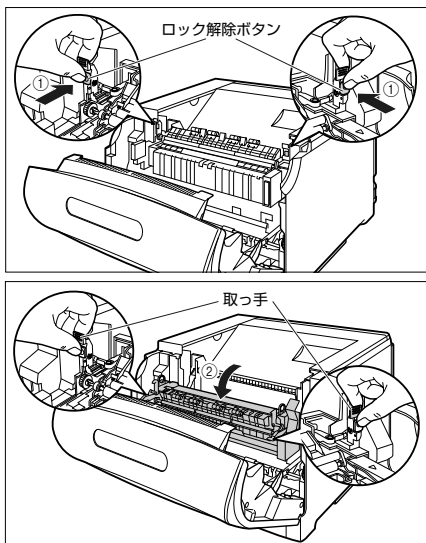
*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

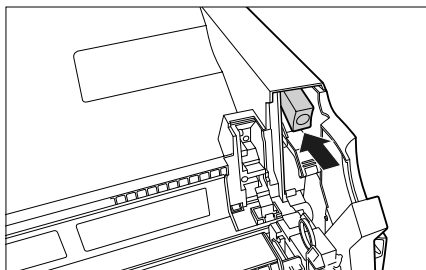
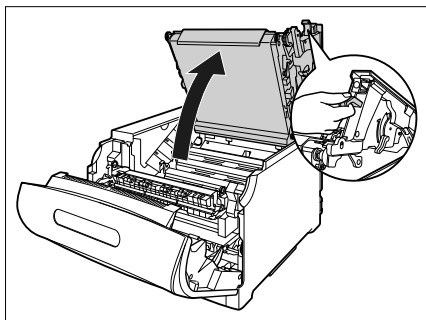
Point

ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。

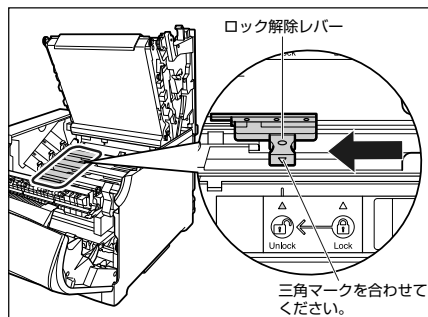
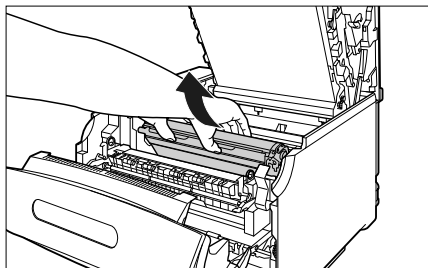
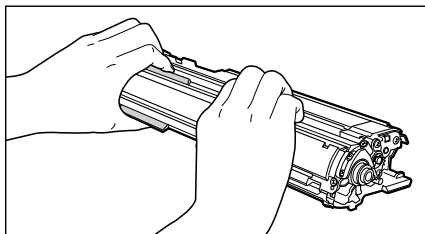
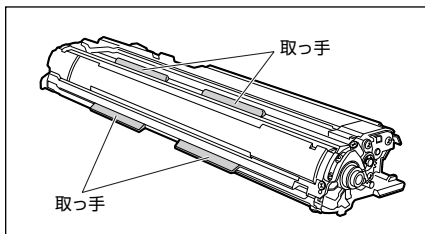
ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 定着器を手前に倒します。

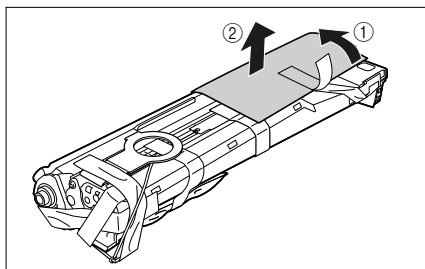
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 上カバーを開けます。

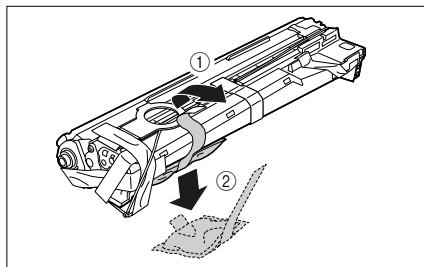
上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

4 交換する色のドラムカートリッジの青色のロック解除レバーを「🔓」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。

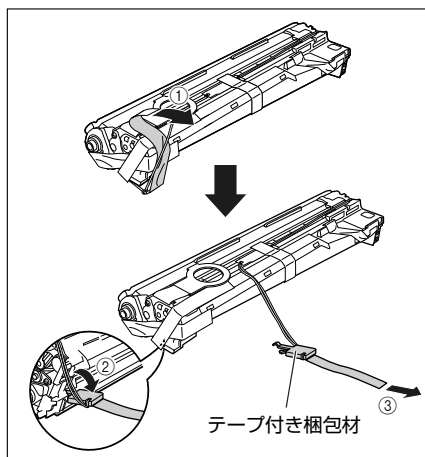
ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

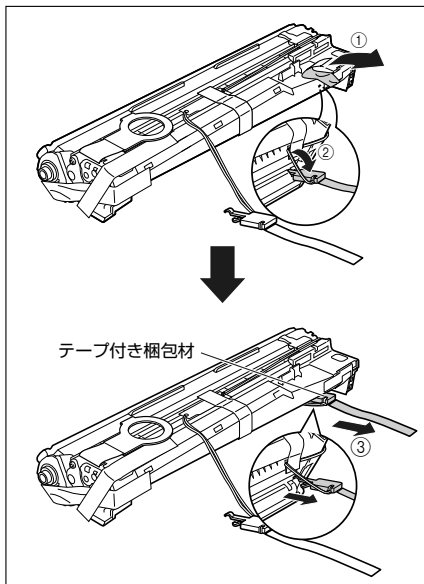
ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

5 ドラムカートリッジを取り出します。

ドラムカートリッジは、図のように青色の取っ手を持って取り外します。

6 ドラムカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

7 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

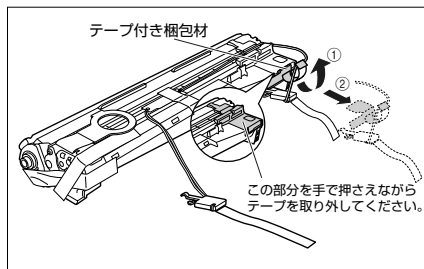
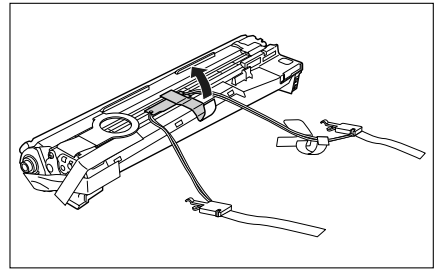
用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

8 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1個）を取り外します。

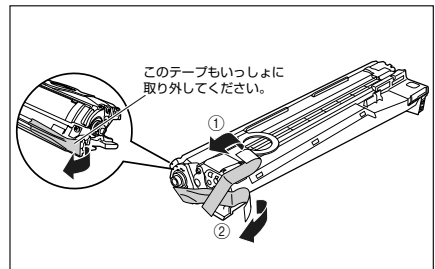
テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

9 図の位置にあるテープ付き梱包材（1個）を取り外します。

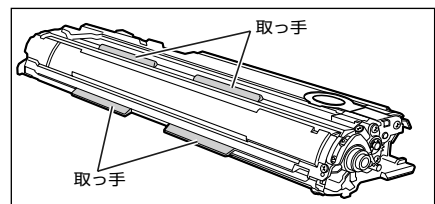
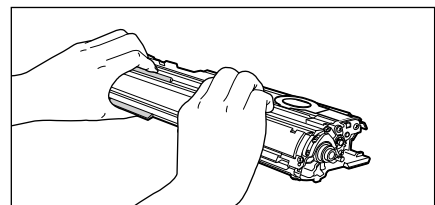
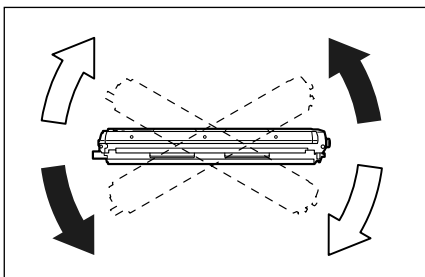
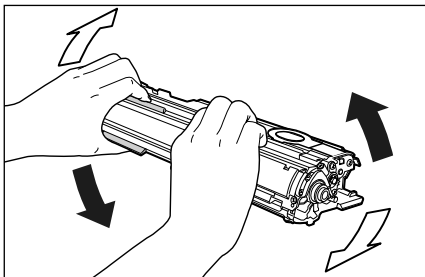
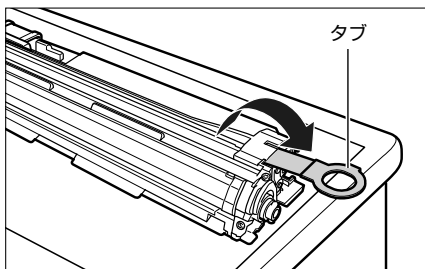
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

10 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

11 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

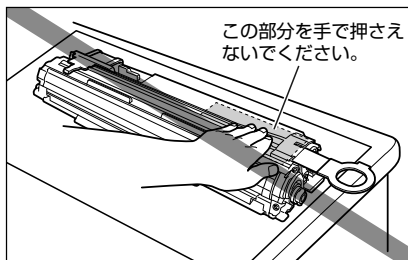
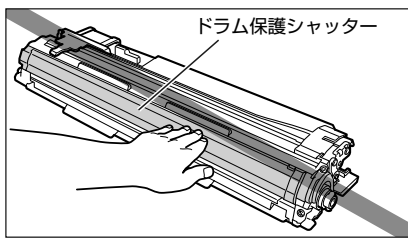
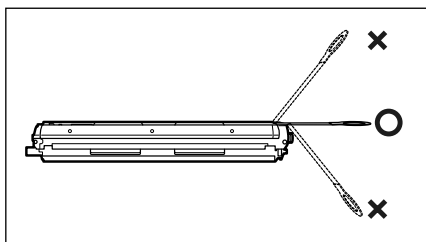
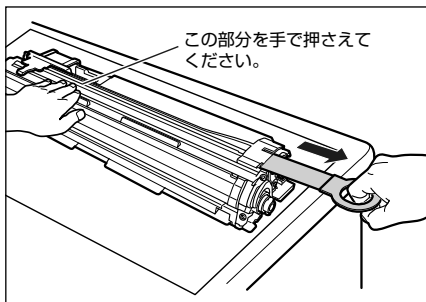
テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

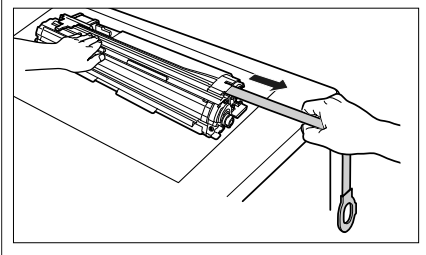
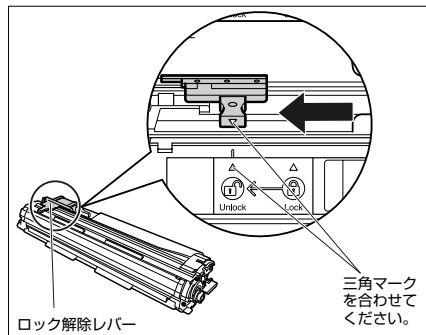
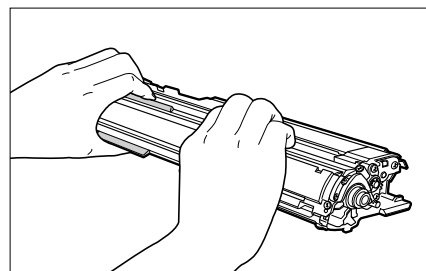
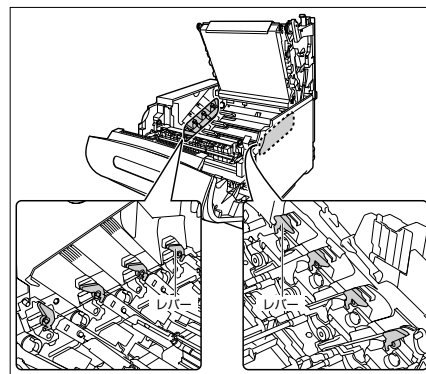
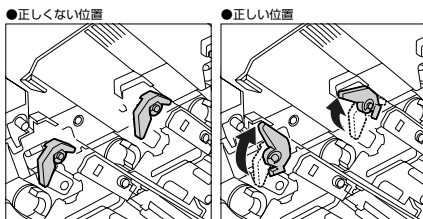
テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。

12 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。

13 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

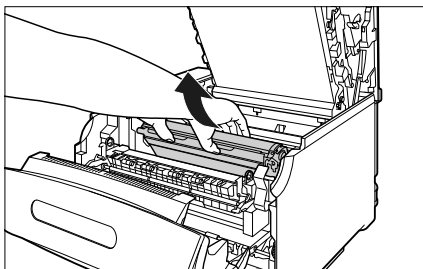
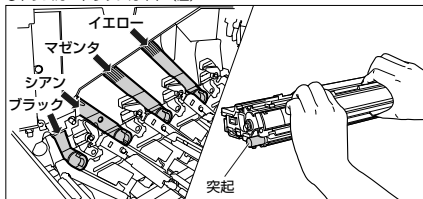
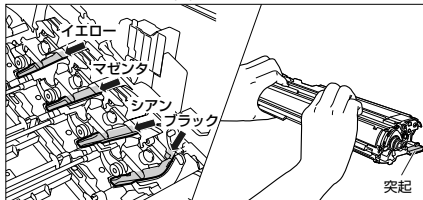
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。

14 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 ～ 12回振って、内部の現像剤を均一にならします。

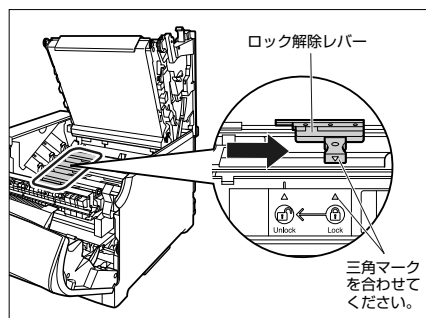
ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。

ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12回振ります。

15 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

Point

ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。

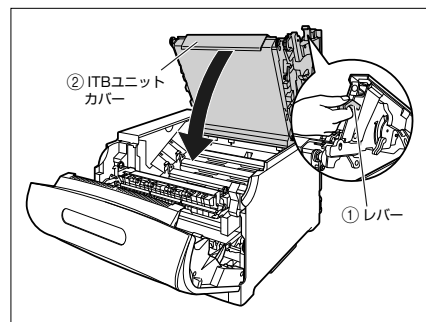
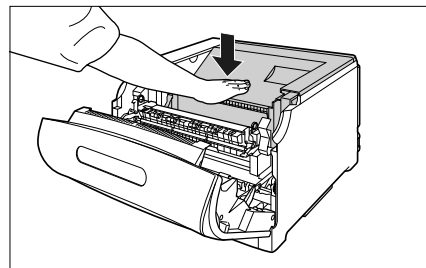
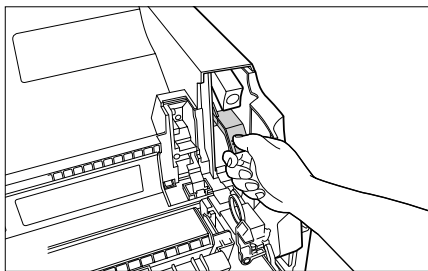
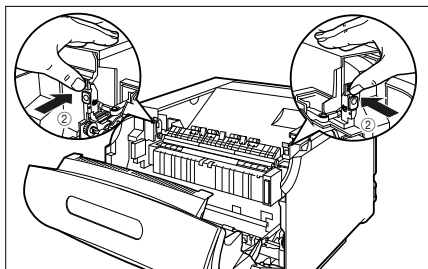
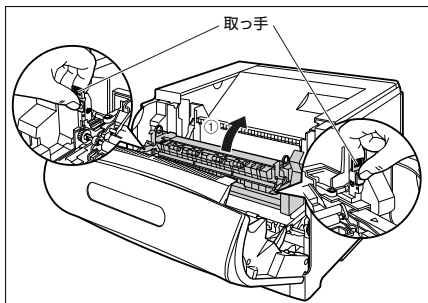
シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

16 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約 70cm)をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。
シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。

Point

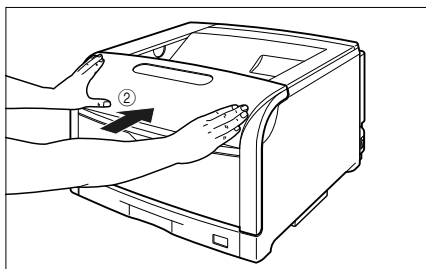
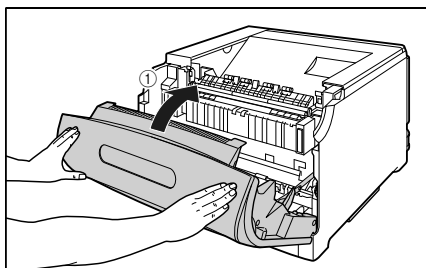
シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

17 ドラムカートリッジをセットする前に、図のようにロック解除レバーの三角マークとラベルの「🔓」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。

ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

18 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

19 ドラムカートリッジを本体に取り付けます。

ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

20 青色のロック解除レバーを「🔒」の位置までスライドさせて、ロックします。

ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

21 上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。

上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。

図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

22 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

23 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

廃トナー容器を交換する

「ハイトナーヨウキ　ヨウイ / コウカン」が表示されたときは

廃トナー容器がいっぱいになると、ディスプレイにメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
E1 ハイトナーヨウキ ヨウイ	廃トナー容器の交換時期が近づいたとき	・プリントは継続できます ・新品の廃トナー容器を用意してください
E1 ハイトナーヨウキ コウカン	廃トナー容器がいっぱいになったとき	・プリンタは停止します ・新品の廃トナー容器に交換してください

● 廃トナー容器の寿命について
- 本プリンタ用廃トナー容器（キヤノン純正品 WT-98A）は、約2,300 ページでいっぱいになります。
  このページ数は下記の条件でのページ数です。
  用紙サイズ：A4、用紙タイプ：普通紙、印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定、2 枚間欠 / 片面印刷
- 間欠印刷（間隔をおいた印刷）、用紙サイズ、用紙タイプ、片面 / 両面印刷など、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。

Point

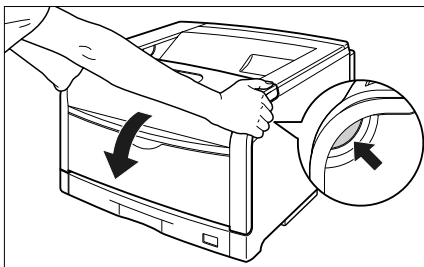
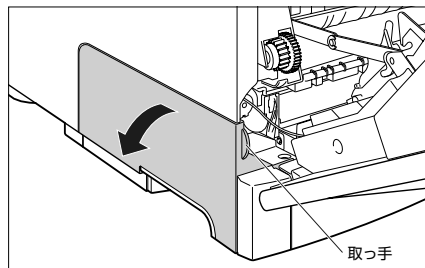
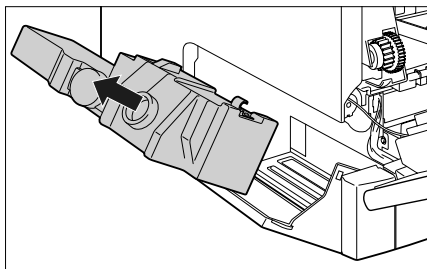
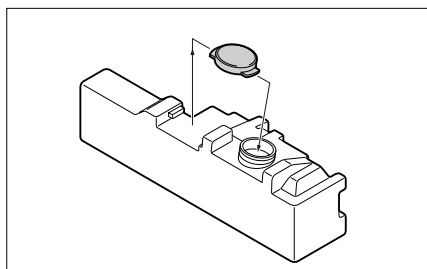
「E1　ハイトナーヨウキ　ヨウイ」や「E1　ハイトナーヨウキ　コウカン」のメッセージが表示された廃トナー容器は、プリンタから取り外した後は、再びセットすることはできません。廃トナーがあふれる恐れがありますので、必ず新しい廃トナー容器と交換してください。

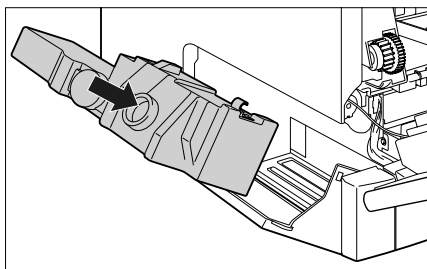
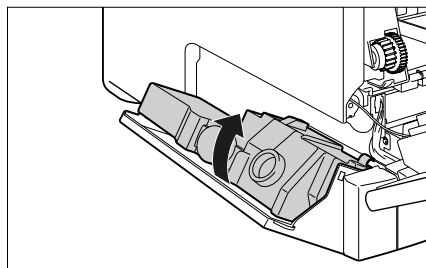
廃トナー容器の交換

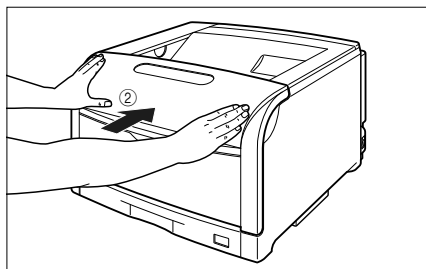
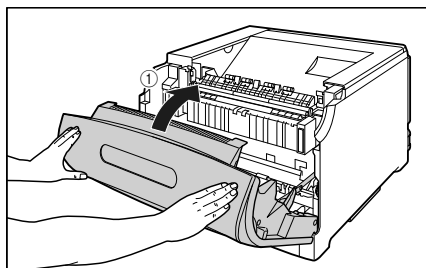
「E1　ハイトナーヨウキ　コウカン」のメッセージが表示されたときは、次の手順で新しい廃トナー容器と交換してください。

*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

2 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを開けます。

3 廃トナー容器を取り外します。

4 付属のふたを廃トナー容器に取り付けます。

5 新しい廃トナー容器を保護袋から取り出します。

6 廃トナー容器を取り付けます。

7 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを閉めます。

8 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

ITB ユニットの転写ベルトを清掃する

ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、以下の手順にしたがって、ITB ユニットの転写ベルト清掃を行ってください。

クリーニングの実行にかかる時間は、約 130 秒です。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

カラーバランスを調整したいときには

プリント結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（9）に設定されています。

操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

トラブルの対処法

プリントの色ずれを調整する

カラープリントしたときに以前と色味が異なる場合や色ずれが起こっている場合はキャリブレーションを行い、カラー印刷時の色味の調整や各トナーの色ずれを調整します。

キャリブレーションにかかる時間は、約 60 秒です。

キャリブレーションは、以下の操作で行います。

プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は を押します。

(ユーティリティ) を押します。

ユーティリティ
ステータスプリント →

または で「キャリブレーション」を選択します。

キャリブレーション →

を押します。

02 キャリブレーションチュウ

キャリブレーションが実行されます。キャリブレーションが終了すると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されます。

紙づまりの処理

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ

マエカハ゛ー エリア

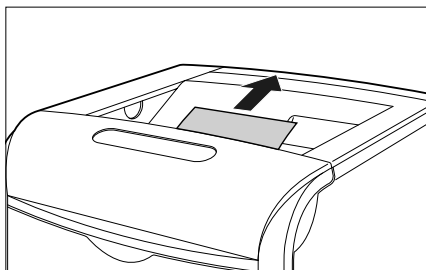
メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

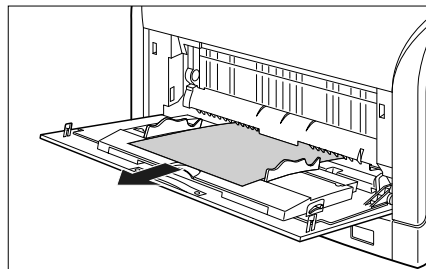
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

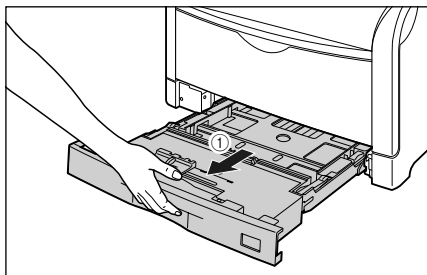
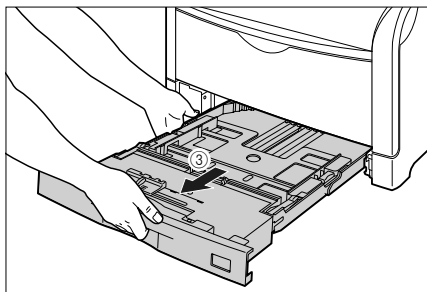
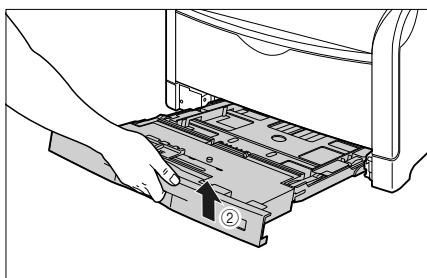
メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります

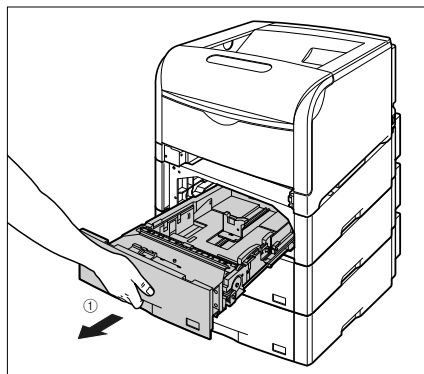
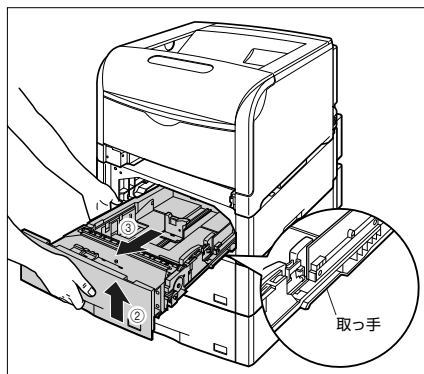
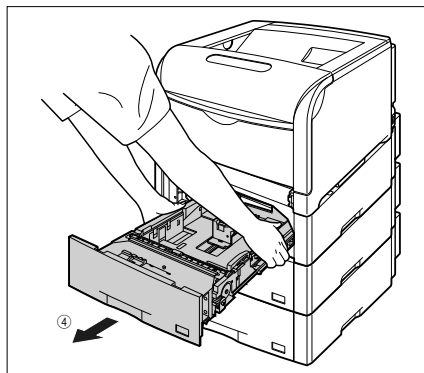
ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
「カセット１　エリア」	カセット１
「カセット２　エリア」	カセット２（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「カセット３　エリア」	カセット３（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「カセット４　エリア」	カセット４（ペーパーフィーダ装着時のみ）
「マエカバー　エリア」	前カバー内部
「リョウメンユニット　エリア」	前カバー内側（両面搬送部）

1 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。

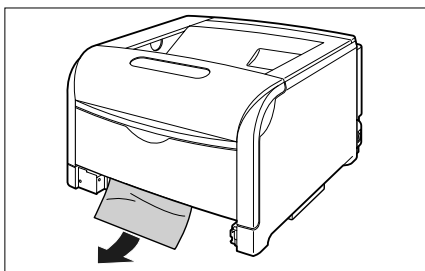
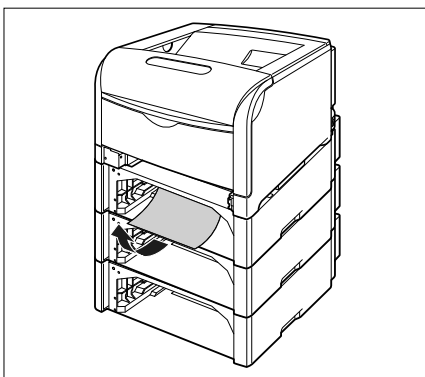
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

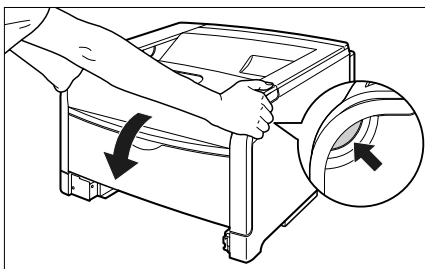
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

3 給紙カセットを引き出します。

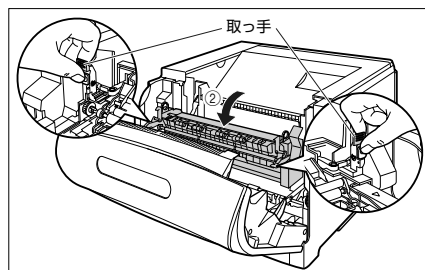
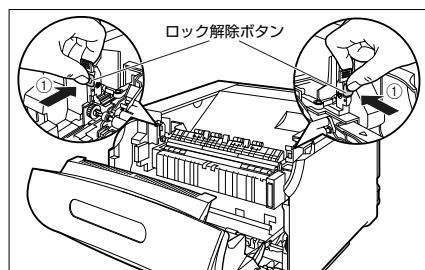
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

4 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットを引き出します。

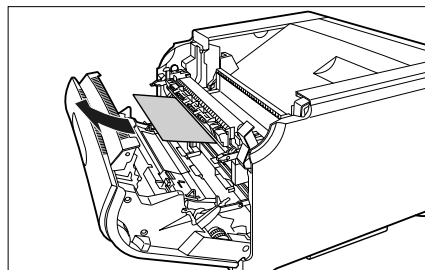
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

5 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

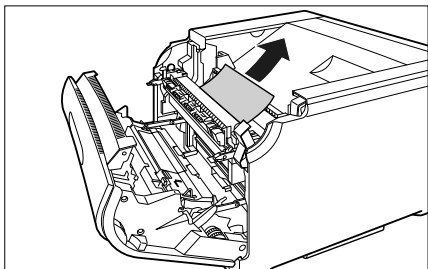
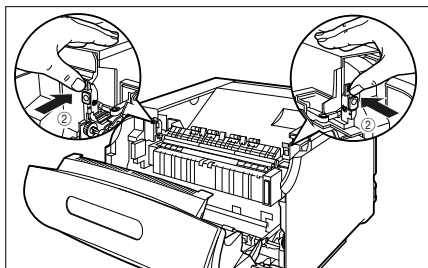
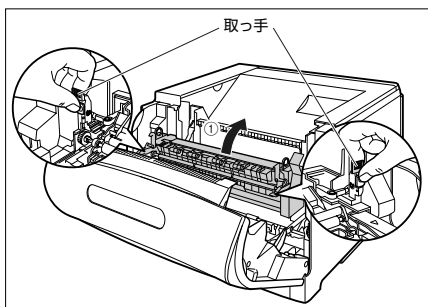
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

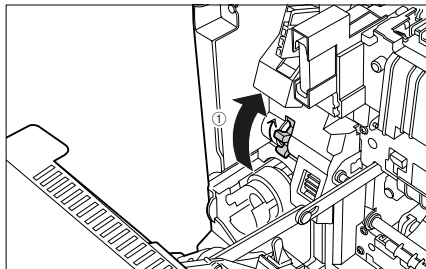
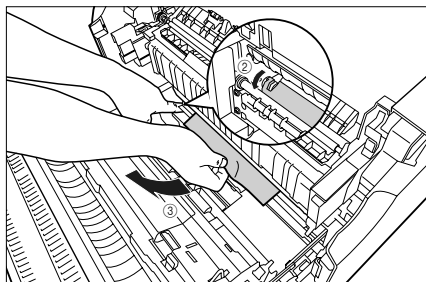
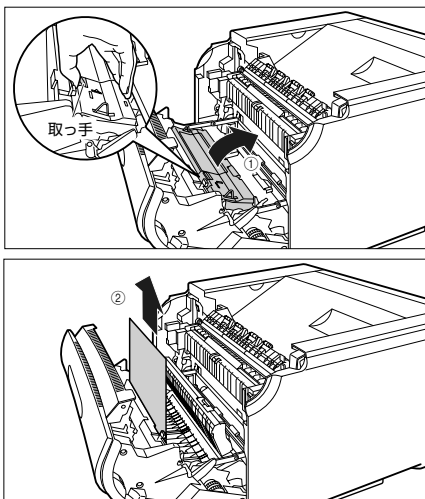
プリンタの場合

ペーパーフィーダの場合

6 前カバーを開けます。

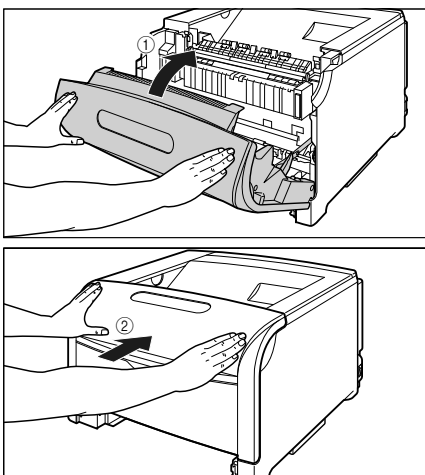
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

7 定着器を手前に倒します。

図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

8 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除きます。

つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、ゆっくりと強く引いて取り除いてください。
それでも、つまった用紙が取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

9 定着器の奥側から、つまっている用紙を取り除きます。

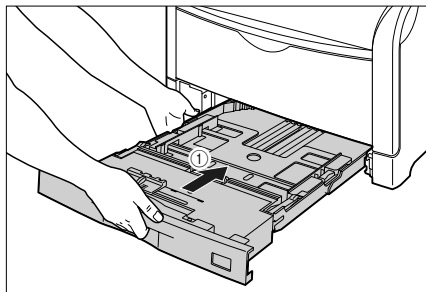
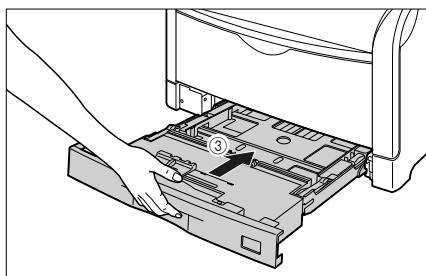
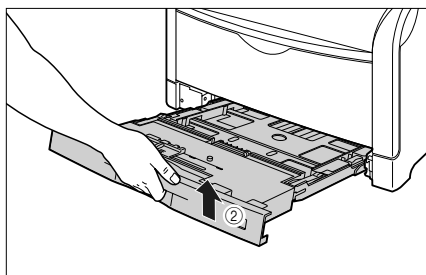
定着していないトナーが飛びちらないように、ゆっくりと強く引いてつまっている用紙を取り除きます。

10 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

11 定着器の下側につまっている用紙を取り除きます。

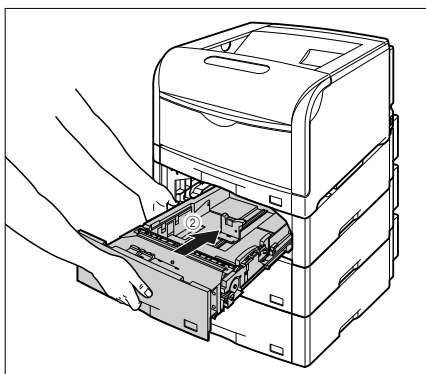
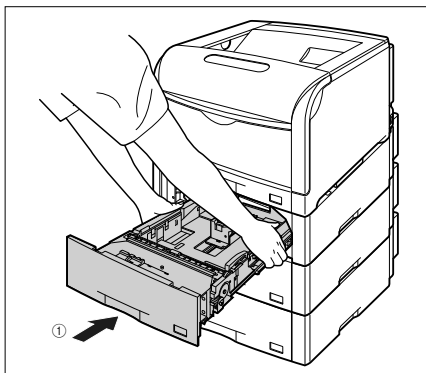
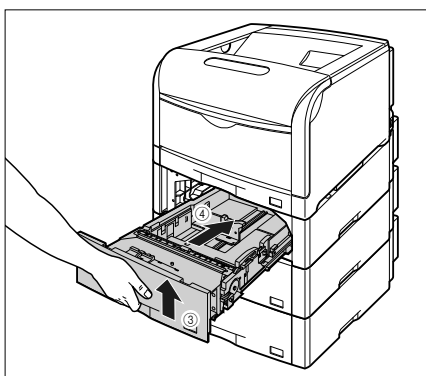
図のように定着器の左側にあるダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します ①。

図のように定着器の下にあるレバーを手前に引き ②、つまっている用紙を取り除きます ③。

12 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

13 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

Point

前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

14 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

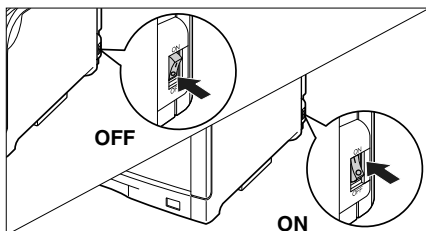
図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

15 ペーパーフィーダが装着されている場合は、上段からすべての給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。

こんなメッセージが表示されたら

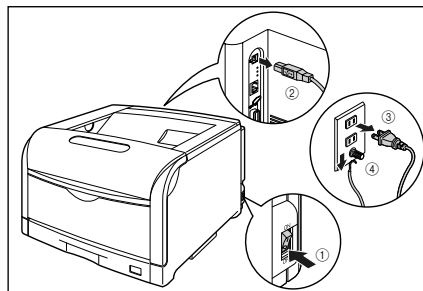
「Ennn-nnnn」が表示されたときは

本プリンタの内部機構やプリントデータ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn (n は英数字)	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。 数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn (n は英数字)	定着器にトラブルが発生した。	次の手順2以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている8桁の英数字とメッセージを書きとめます。

3 電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバー(8桁の英数字)をお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」(→ P.8-2) にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。

また、プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 警告メッセージの付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「警告表示」を「シナイ」に設定すると警告状態が発生している場合でも、メッセージは表示されません。
- エラースキップ可のマークが付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、［オンライン］を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド第5 章「メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
OF　オプション　カクニン	原因： オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない 処置： 電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）
11　XXX ヨウシガアリマセン （XXX は用紙サイズ略号）	原因： 給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置： 用紙を補給またはセットしてください。
12　カバーガ　アイテイマス	原因： 前カバーが開いている 処置： 前カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因： 内部で紙づまりを起こしている 処置： 紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりの処理：P.3-3）
14　トナー／カバー　カクニン	原因： Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置： 表示された色のトナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
16　X　トナー　ヨウイ （X は K または Y、M、C） 警告メッセージ	原因： K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている 処置： 少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
16　X　トナー　コウカン （X は K または Y、M、C）	原因： K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた 処置： ［オンライン］を押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。交換したあと、交換した色のトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）

18　キュウシ　エラー	**原因：** 手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている **処置：** 給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
18　カセット1　ナシ	**原因：** カセット1がセットされていない **処置：** カセット1をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5）
18　カセット2　ナシ	**原因：** カセット2がセットされていない **処置：** カセット2をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5）
18　カセット3　ナシ	**原因：** カセット3がセットされていない **処置：** カセット3をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5）
1G　X　トナー　コウカン (XはKまたはY、M、C)	**原因：** K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた **処置：** 表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。新しいトナーカートリッジに交換しても、メッセージが表示される場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
23　ダウンロードメモリフル エラースキップ可	**原因：** オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした **処置：** リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）
26　システムメモリ　フル エラースキップ可	**原因：** システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した **処置：** リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加します。 ・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）
27　ジョブカイシ　エラー エラースキップ可	**原因：** 指定したエミュレーションが存在しない **処置：** 本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。
30　メモリ　フル エラースキップ可	**原因：** システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した **処置：** ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。
31　カイゾウド　テイカ エラースキップ可	**原因：** 処理に必要なメモリが不足した **処置：** リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）
32　リョウメンインサツ　エラー エラースキップ可	**原因：** 自動両面プリントできない用紙を指定した **処置：** 本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定して、プリントしなおします。
33　ワークメモリ　フル エラースキップ可	**原因：** 各動作モード専用のワークメモリが確保できない **処置：** リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントしなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。ただし、LIPS LX プリンタドライバ以外からのジョブは、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）

35　トウロクテーブル　フル エラースキップ可	原因：1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた 処置：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したジョブはプリントされません。
36　カイチョウテイカ エラースキップ可	原因：データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAMの空き容量を増加し、プリントしなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第 3 章 オプション品の取り付け」）
38　ガシツ　テイカ エラースキップ可	原因：データが複雑すぎてスーパーファインモードで処理できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「データ処理」を「ファイン」に設定してプリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
39　スプールメモリフル エラースキップ可	原因：スプールメモリが不足したため、プリントできない 処置：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページはプリントされません。
41　ヨウシサイズ　カクニン エラースキップ可	原因：実際に手差しトレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」の設定が違っている 処置：「手差しトレイ用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」） 原因：LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセット N（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した 処置：横置きにセットしてプリントしなおします。
52　イメージモード　エラー エラースキップ可	原因：イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した 処置：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。
53　セキュアプリント　エラー エラースキップ可	原因：LBP5900用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：リセットメニューでソフトリセットをしてプリントデータを削除します。
53　ホゾン　エラー エラースキップ可	原因：ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない 処置：［オンライン］を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。
53　テイシ　エラー エラースキップ可	原因：停止できるジョブの容量を超えた 処置：［オンライン］を押すと、停止中のジョブが再開されます。
55　ハードディスク　エラー エラースキップ可	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：自動的に再フォーマットされます。
56　ハードディスク　エラー	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。（→ LIPS 機能ガイド「第 6 章 セットアップ以外のメニューの設定項目」）
57　RIP　Once　エラー エラースキップ可	原因：ハードディスクの容量が不足して、RIP Once（リップワンス）による複数部数プリントを継続できなくなった 処置：複数のジョブに分割してプリントしなおします。
58　ジョブメモリ　フル エラースキップ可	原因：ジョブを処理するためのハードディスクや RAM の空き容量が不足している 処置：一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待ってプリントしなおします。
59　ジョブジュシンエラー エラースキップ可	原因：ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した 処置：［オンライン］を押してプリントをキャンセルしたあと、プリントしなおします。

60　カギカンリ　エラー1	原因：鍵管理関係のファイルが壊れている 処置：セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモートUI設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認してください。その後プリンタを再起動し、リモートUIから鍵と証明書の再生成およびSSLの設定を行ってください。鍵管理およびSSLの設定を行ったあと、再度プリンタを再起動してください。（→リモートUIガイド「第3章リモートUIのいろいろな機能」）
60　デコード　エラー	原因：暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、プリントしなおします。
61　インサツセッテイ　エラー	原因：長尺紙をスーパーファインモードでプリントした 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「データ処理」を「ファイン」に設定してプリントしなおします。（→LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
98　X　ドラムコウカン （XはKまたはY、M、C）	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジが使用できなくなった 処置：表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジと交換します。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32）
A4　nn　ERROR （nnは2桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR （nnは2桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D0　nn　ERROR （nnは2桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	原因：分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GLセットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定してプリントしなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されてプリントされます。（→HP-GLユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	原因：リプロットバッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　のリプロットバッファに保存するデータ数を54206バイト以内に設定し、プリントしなおします。（→HP-GLユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	原因：ポリゴンバッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GLのポリゴンバッファに保存するデータ数を40882バイト以内に設定し、プリントしなおします。（→HP-GLユーザーズガイド）
D7　nn　ERROR （nnは2桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D8　レイアウト　エラー	原因：メモリ不足によりページをレイアウトできない 処置：LIPS LXドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にしてプリントしなおしてください。（→LIPS LXプリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	原因：本プリンタに対応していないバージョンのLIPS LXプリンタドライバからジョブを送信した 処置：LIPS　LX プリンタドライバのバージョンを本プリンタで対応しているバージョンに変更し、プリントしなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	原因：LIPS LXプリンタドライバを使用してプリントしたときに、不正なデータが送られた 処置：［オンライン］を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したページ以降はプリントされません。

D8 nn ERROR (nnは2桁の英数字)	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9 IMG データ エラー	原因：TIFFまたはJPEGデータの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置：「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページ以降はプリントされません。
D9 IMG サンショウ エラー	原因：TIFFまたはJPEGデータの処理中に何らかの異常を検出した 処置：IMAGING 専用セットアップメニューの「印字保証」を「スル」に設定してプリントしなおします。(→ LIPS機能ガイド「第6章 IMAGING専用セットアップメニューの設定項目」)
D9 nn ERROR (nnは2桁の英数字)	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
E0 X ドラム ヨウイ (XはKまたはY、M、C) 警告メッセージ	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命が近づいている 処置：少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいドラムカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のドラムカートリッジを取り出し、新しいドラムカートリッジに交換します。(→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32)
E1 ハイトナーヨウキ ナシ	原因：廃トナー容器がセットされていない、または正しくセットされていない 処置：廃トナー容器をセットする、または正しくセットしてください。(→廃トナー容器を交換する：P.2-41)
E1 ハイトナーヨウキ ヨウイ 警告メッセージ	原因：廃トナー容器の交換時期が近づいている 処置：少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しい廃トナー容器を準備してください。
E1 ハイトナーヨウキ コウカン	原因：廃トナー容器がいっぱいになった 処置：新しい廃トナー容器に交換します。(→廃トナー容器を交換する：P.2-41)
E2 X ドラム ナシ (XはKまたはY、M、C)	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置：表示された色のドラムカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。(→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32)
E5 テイチャクキ ヨウイ 警告メッセージ	原因：定着器の寿命が近づいている 処置：少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しい定着器を準備してください。
E7 テイチャクキ カクニン	原因：定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない 処置：定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。(→ユーザーズガイド第4章「定着器を交換する」)
EF X ドラム コウカン (XはKまたはY、M、C) エラースキップ可	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のドラムカートリッジの寿命がきた 処置：[オンライン] を押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、印字品質が低下することがあります。新しいドラムカートリッジに交換してください。交換したあと、オンライン状態になっていないときは、[オンライン] を押します。(→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32)
EM サーバセッテイ エラー 警告メッセージ	原因：Eメール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった、あるいは POP3 サーバの設定が正しくない 処置：リモートUI もしくはN/Wステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。詳しくは、ユーザーズガイド第2章「Eメール印刷について（ハードディスク装着時のみ）」を参照してください。
EM Eメールアクセス エラー 警告メッセージ	原因：POP3サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3サーバに接続できなかった 処置：POP3サーバのハードディスクのエラーを解消してください。
F2 フォント ミジッソウ エラースキップ可	原因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた 処置：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F9-nn　チェック　プリンタ (nn は 2 桁の英数字)	**原因：** プリントデータ処理中にトラブルが発生した **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
FF　フォント　フル エラースキップ可	**原因：** 登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした **処置：** ［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。
FM　サイズ　エラー エラースキップ可	**原因：** 擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある **処置：**「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しくプリントされません。
FM　ザヒョウテン　エラー エラースキップ可	**原因：** 擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある **処置：**「エラースキップ」をして、プリントを継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しくプリントされません。
HF　ハードディスク　フル エラースキップ可	**原因：** ハードディスクの空き容量が足りなくなった **処置：** ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン (XXX は用紙サイズ略号)	**原因：** アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている **処置：** 選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5）

正しくプリントできないときは

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第 5 章「正しいプリント結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字がプリントされる	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定してプリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows からプリントした	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、プリントしなおしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 2 章 Windows から印刷するには」）
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第 4 章 DOS から印刷するには」）
	コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントしなおしてください。（→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
指定した書体と違う書体で印字される	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）
白紙のページがプリントされない	LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「ツカウ」になっている	白紙のページをプリントするときは、「白紙節約」を「ツカワナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
最後のページがプリントできない	パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→プリントの中止方法：P.1-12）

データが用紙をはみだした	LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセットN（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した	横置きにセットしてプリントしなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットしてプリントする：P.2-12）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした	データの周囲に5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってプリントしなおしてください（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません）。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げてプリントします。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
	ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	ESC/P モードの「用紙位置」の設定が合っていない	ESC/P モードの「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第４章「印字位置を調整するする」）
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 6 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第４章「印字位置を調整するする」）
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントしなおします。（→ユーザーズガイド第２章「動作モードについて」）
ページの途中から次ページに分かれてプリントされる	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してからプリントしなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されてプリントされる	縮小プリントの設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 6 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5）
	手差しトレイに用紙を斜めにセットした	手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（→手差しトレイに用紙をセットしてプリントする：P.2-12）
	用紙が吸湿している	未開封の新しい用紙と交換してください。
	定着器の寿命が近づいている	ステータスプリントをプリントして、定着器のカウンタ数値を確認し、以前に定着器を交換したときの枚数から約 150,000 枚増えている場合、定着器を交換してください。（→ユーザーズガイド第 4 章「定着器を交換する」）
用紙がカールする	適切な用紙を使用していない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない	プリンタドライバの用紙タイプを「普通紙L」に設定してプリントしなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）
用紙が真っ白で何もプリントされない	用紙が重なって送られた	給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。コート紙、ラベル紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットしてプリントする：P.2-12）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
用紙が特定の色で塗られて何もプリントされない	ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
白いすじが入る	ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
色すじが入る	プリンタに何らかの不具合がある、または ITB ユニットが劣化、あるいは損傷している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
プリントしない部分に残像が現れる	プリントする用紙が適当でない	用紙を取り替えてプリントしてください。（→用紙について：P.2-2）
	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
印字が全体的にうすい、濃い	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」）

印字ムラが出る	ドラムカートリッジが劣化している	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
スーパーファインモードでプリント時に画像が粗くなったまたは正しくプリントできなかった	データが複雑、あるいは多量すぎてスーパーファインモードで処理できなかった	［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。
		リセットメニューでソフトリセットしたあと、解像度を下げてプリントしなおします。
		スーパーファインモードでプリントしたいときは、［リセット］を押してソフトリセットしたあと、次のような方法でRAM の空き容量を増加します。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→設置ガイド「第3 章 オプション品の取り付け」）
定着性が悪い	用紙の種類により、定着性が悪い場合がある	プリンタドライバで［グレー補償］を以下のいずれかに設定します。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編） ・イメージのみ ・テキストとイメージ ・グラフィックスとイメージ ・すべて
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
同時に使用している他の LBP5900 と色が合わない	工場出荷時の K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある	K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。（→カラーバランスを調整したいときには：P.2-44）
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している	「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
		ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える	ドラムカートリッジが正しくセットされていない	ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32）
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはドラムカートリッジが劣化している	「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
		ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、プリントしなおします。（→用紙について：P.2-2）
細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色でプリントされない、または消えてしまう	色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある	アプリケーションソフトで色を調整して、プリントしなおします。
		アプリケーションソフトでパターンを変更して、プリントしなおします。
	網点のパターンにより、色が違って見える	濃い色に変更して、プリントしなおします。
		用紙の送り方向を変えてセットし、プリントしなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）でプリントされない	プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している	アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、プリントしなおします。
		プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。 ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
		プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に変更します。 ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる	画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある	プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
		プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。 ［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
グラデーションのかかった図形をプリントした場合に、グラデーションにすじが入る	図形の「すじ」のグレーの色の部分に、グレー補償が効いている	プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定します。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタン、［処理オプション］ボタンを順にクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形がプリントされる、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色でプリントされない	拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した	プリンタドライバで以下の設定を行います。 ［印刷品質］ページで［お気に入り］から［ビットマップ展開］を選択し、［印刷品質］の［設定］ボタンをクリックして、［モード詳細］を［高品質］に設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
カラーの文字がぼけて見える	カラーの文字に太いフォントを使用している	細めのフォントを使用して、プリントしなおします。
		プリンタドライバで［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
濃度の濃い部分の色に光沢ムラ／スジ／キズがある	ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している、または定着器に不具合がある	ユーザーズガイド「第 5 章 印字不良が起こったときには」を参照して、処置してください。
塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）でプリントされない	細い線をきれいにプリントするために、枠線の線幅によって特殊処理が行われることがある	プリンタドライバで［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにします。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
		プリンタドライバで［ガンマ補正］の設定を調整します。 ［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
プリントした用紙の裏が汚れる	セットされている用紙サイズよりも大きなサイズのプリントデータを送った	プリントデータがセットされている用紙サイズに合っているか確認する
幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントした場合に、用紙の両端に一度印字した文字や画像の残像が印字される	プリント条件や「小サイズ特殊処理 1」の設定によっては、このような現象が発生することがある	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 1」を「-1」もしくは「-2」に設定してプリントしなおします。ただし、印字品質を優先するため、プリント速度が遅くなることがあります。（→ LIPS 機能ガイド第 3 章「ユーザメンテナンスグループの設定項目」）

プリンタが動作しない・プリントできないときは

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、以下の確認を行ってください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第 5 章「正しいプリント結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線している	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→オンライン／オフライン：P.1-11）
	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントの中止方法：P.1-12）
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第 2 章 プリンタの設置」）
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→「Ennn-nnnn」が表示されたときは：P.3-9、メッセージ一覧：P.3-10）
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
プリントが途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→プリントの中止方法：P.1-12）
操作パネルのランプがつかない	電源がオンになっていない	電源をオンにしてください。
	スリープモードになっている	プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→プリントの中止方法：P.1-12）
	キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）	リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

プリントするたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットしてプリントする：P.2-12）
	LIPS LX プリンタドライバを使用している場合で、セットアップメニューの給紙グループにある「手差しトレイ用紙サイズ」または「カセットN（N=2、3、4）用紙サイズ」の設定が「フリー」のときに、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして、印刷した	横置きにセットしてプリントしなおします。
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットしてプリントする：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットしてプリントする：P.2-12）
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、プリントしなおしてください。（→紙づまりの処理：P.3-3）
ハードディスクが使えない	セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている	「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
	ハードディスクエラーが発生した	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
	ハードディスクが正しく装着されていない	電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。（→設置ガイド「第 3 章オプション品の取り付け」）
	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
ジョブが保存できない	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	［オンライン］を押すと、プリントデータを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計 2GB を超えるデータを保存することはできません。
	保存できるジョブ数を超えた	［オンライン］を押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
	保存できるジョブの容量を超えた	［オンライン］キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超えるプリントを保存することはできません。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
幅の狭い用紙を連続でプリントした場合に、プリント速度が遅くなる	プリント条件や「小サイズ特殊処理2」の設定によっては、このような現象が発生することがある	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「小サイズ特殊処理 2」を「1」もしくは「2」に設定してプリントしなおします。ただし、プリント速度を優先するため、印字品質が低下することがあります。（→ LIPS 機能ガイド第 3 章「ユーザメンテナンスグループの設定項目」）

ネットワークの設定

Chapter

必要なシステム環境

本プリンタが対応しているシステム環境について説明しています。
本プリンタを使用して印刷するときは、使用するネットワークに応じて以下のシステム環境が必要です。

● TCP/IP ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ･Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Server 3.51/4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Workstation 3.51/4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - ･Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  - ･日本語 Solaris Version 1.1.x（SunOS Version 4.1.x）以降
  - ･日本語 Solaris Version 2.5.x（SunOS Version 5.5.x）以降
  - ･HP-UX Version 10.x 以降
  - ･IBM-AIX Version 4.x 以降
  - ･Red Hat Professional Workstation
  - ･Turbolinux 10 Desktop
  - ･Laser5 Linux7.2
- 対応しているコンピュータ
  - ･Windows 98/Me/NT/2000/XP/Server 2003 をお使いのときは、IBM PC 機／その互換機、PC-98 シリーズ

● SMB ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ･Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - ･Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- 対応しているプロトコル
  - ･NetBIOS over TCP/IP
- 対応しているコンピュータ
  - ･IBM PC 機／その他互換機、PC-98 シリーズ

● **AppleTalk ネットワークを使用して印刷する場合**

- 対応している AppleTalk
  - ・フェーズ 2 の EtherTalk
- 対応している OS やコンピュータなどについては、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。ここでは、プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備方法について説明しています。

● **NetSpot Device Installer によるプロトコル設定の準備（→ネットワークガイド／本編）**

付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動し、プロトコル設定の準備を行います。

● **ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備（→ネットワークガイド／本編）**

コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プロトコル設定の準備を行います。

● **プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備（→ P.4-4）**

プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

Check!

- NetSpot Device Installer は、Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Server 2003 に対応しています。NetSpot Device Installer が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、ARP/PING コマンドまたはプリンタの操作パネルを使用して設定を行ってください。
- NetSpot Device Installer や ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備では、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってネットワークステータスプリントを印刷してください。
  1. オンライン状態になっていない場合は、［オンライン］を押して、オンラインランプを点灯します。
  2. ［ユーティリティ］を押します。
  3. ［◄］、［►］で「N/W ステータスプリント」を選択したあと、［実行］を押します。MAC アドレスはネットワークステータスプリントの左上の［Ethernet ドライバ設定］に表示されます。

プリンタの操作パネルによる設定

1 **［セットアップ］を押して、［◄］、［►］で「インタフェース」を選択したあと、［実行］を押します。**

「インタフェース　センタク」と表示されます。

2 **［◄］、［►］で「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、［実行］を押します。**

「TCP/IP　セッテイ」と表示されます。

3 **［◄］、［►］で「TCP/IP　セッテイ」を選択したあと、［実行］を押します。**

「IP モード」と表示されます。

4 **IPアドレスの設定方法を選択します。**

a ［◄］、［►］で「IP モード」を選択したあと、［実行］を押します。

「シュドウ」と表示されます。

b DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、［◄］、［►］で「ジドウ」を選択したあと、［実行］を押します。
プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、［◄］、［►］で「シュドウ」を選択したあと、［実行］を押します。

5 **プリンタの IP アドレスを設定します。**

● 手順４で「ジドウ」を選択した場合

a ［◄］、［►］で「プロトコル」を選択したあと、［実行］を押して、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」をそれぞれ「オン」（使用する）か「オフ」（使用しない）に設定します。

b 必要に応じてメニューの階層を［▲］を押して戻り、［◄］、［►］で「アドレス」を選択したあと、［実行］を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

● 手順４で「シュドウ」を選択した場合

a ［◄］、［►］で「アドレス」を選択したあと、［実行］を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

Point

「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」は、以下の方法で設定してください。

a ［◄］、［►］で目的のフィールドを選択します。

b ［▲］、［▼］で目的の数値を選択します。

c すべてのフィールドに対して、a～b を繰り返します。

d ［実行］を押します。

6 プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行います。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して設定する方法について説明しています。

● **Web ブラウザ（リモート UI）による設定（→リモート UI による設定：P.4-6）**

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

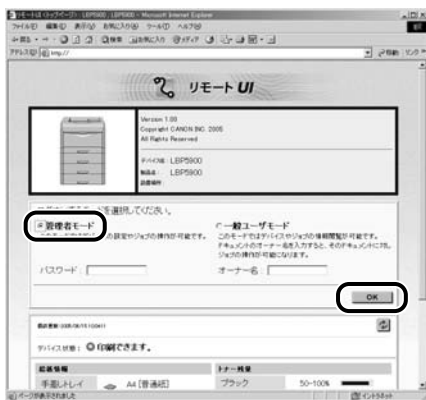
● **FTP クライアントによる設定（→ネットワークガイド／本編）**

コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

リモート UI による設定

1 **Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /
入力例：http://192.168.0.215/

2 **[管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。**

● プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 **左側の [デバイス管理] のメニューから、[ネットワーク] をクリックします。**

4 ［TCP/IP］の右にある［変更］をクリックします。

5 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。［DHCP によるアドレス設定］、［RARP によるアドレス設定］、［BOOTP によるアドレス設定］のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にします。

本プリンタは、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、RARP、BOOTP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。

6 ［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

［IP アドレス］には、プリンタの IP アドレスを指定します。［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

7 DNS サーバ、DNS の動的更新機能を使用する場合は、DNS を設定します。

これらを使用しない場合は、手順 8 に進みます。

a ［DNSプライマリサーバアドレス］に、DNSプライマリサーバのIPアドレスを入力します。

b ［DNSセカンダリサーバアドレス］に、DNSセカンダリサーバのIPアドレスを入力します。

c ［DNS ホスト名］に、DNS サーバに登録する本プリンタのホスト名を設定します。

d [DNS ドメイン名] に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。
sales_dept.xyz_company.co.jp

e DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、[DNS の動的更新] を [オン] に設定します。
動的更新機能を使用しない場合は、[オフ] に設定します。

8 SMB ネットワークを使用する場合は、WINS を設定します。

SMB ネットワークを使用しない場合は、手順 10 に進みます。

● WINS による名前解決を使用する場合

a [WINS による名前解決] を [オン] に設定します。

b [WINS サーバアドレス] に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

● WINS による名前解決を使用しない場合

a [WINS による名前解決] を [オフ] に設定します。

9 [スコープ ID] を入力します。

必要に応じて、スコープ ID を入力します。
スコープ ID は、プリンタ、コンピュータが使用できる範囲を決めるための識別子です。

WINS による名前解決の設定に関わらず、スコープ ID を参照します。

10 ARP/PING を設定します。

a ARP/PING機能を使用する場合は、[ARP/PING] を [オン] に設定します。
ARP/PING 機能を使用しない場合は、[ARP/PING] を [オフ] に設定します。

11 FTP印刷を設定します。

● プリントアプリケーションとしてFTPを使用する場合

a ［FTP印刷］を［オン］に設定します。

b ［FTP印刷ユーザ名］に、FTPサーバにログインするためのユーザ名を入力します。

c ［FTP印刷パスワード］に、FTPサーバにログインするためのパスワードを入力します。

● プリントアプリケーションとしてFTPを使用しない場合

a ［FTP印刷］を［オフ］に設定します。

12 FTPクライアントによる設定を行う場合は、［FTP 設定］を［オン］にします。

13 LPDを設定します。

● プリントアプリケーションとしてLPDを使用する場合

a ［LPD印刷］を［オン］に設定します。

b バナーページを出力する場合は、［LPDバナーページの印刷］を［オン］に設定します。

● プリントアプリケーションとしてLPDを使用しない場合

a ［LPD印刷］を［オフ］に設定します。

14 Rawを設定します。

● プリントアプリケーションとしてRawを使用する場合

a ［RAW印刷］を［オン］に設定します。

b 双方向通信を行うときは、［双方向］を［オン］に設定します。

● **プリントアプリケーションとしてRawを使用しない場合**

a ［RAW 印刷］を［オフ］に設定します。

15 BMLinkS を設定します。

● **BMLinkS を使用する場合**

a ［BMLinkS］を［使う］に設定します。

b ［Discovery 送信間隔］で、プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔を設定します。
30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。

c 必要に応じて、［組織名］、［支店名］、［ビル名］、［階数］、［ブロック名］を設定します。

● **BMLinkS を使用しない場合**

a ［BMLinkS］を［使わない］に設定します。

16 IPP/IPPS を設定します。

● **プリントアプリケーションとして IPP/IPPS を使用する場合**

a ［IPP 印刷］を［オン］に設定します。

b IPPS（IPP の通信データの SSL による暗号化）を使用する場合は、［SSL］を［オン］にします。

鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われていない場合は、［SSL］を［オン］に設定できません。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

c IPP 認証機能を使用する場合は、［IPP 認証］を［オン］にして、［IPP ユーザ名］に IPP 認証で使用するユーザ名を、［IPP パスワード］に、IPP 認証で使用するパスワードを入力します。

● **プリントアプリケーションとして IPP/IPPS を使用しない場合**

a ［IPP 印刷］を［オフ］に設定します。

17 HTTP を設定します。

a Web ブラウザ（リモート UI）や BMLinkS、IPP 印刷を使用する場合は、［HTTP］を［オン］に設定します。

18 マルチキャスト探索を設定します。

● マルチキャストを使用した探索に応答するように設定する場合

a ［マルチキャスト探索応答］を［オン］に設定します。

b ［スコープ名］に、NetSpot Device Installer や NetSpot Console などのユーティリティソフトウェアからマルチキャストによる特定のデバイスの探索をするときに使用するスコープ名を入力します。

● マルチキャストを使用した探索に応答しないように設定する場合

a ［マルチキャスト探索応答］を［オフ］に設定します。

19 SNTP を設定します。

● SNTP クライアント機能を使用して時刻情報を得る場合

a ［SNTP］を［オン］に設定します。

b 手順 7 で DNS を設定したときは、［NTP サーバ名］に NTP サーバのサーバ名を入力します。手順 7 で DNS を設定していないときは、［NTP サーバ名］に NTP サーバの IP アドレスを入力します。

c NTP サーバへ時刻情報を問い合わせる間隔を、［ポーリング間隔］で［1］～［48］（時間）の間で設定します。

● SNTP クライアント機能を使用して時刻情報を得ない場合

a ［SNTP］を［オフ］に設定します。

20 設定が終了したら、［OK］をクリックします。

21 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

Windows 用プリンタドライバのインストール

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

●プリンタドライバ

プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ・上記 OS が動作するために必要なメモリ

Point

- Windows 98/Me/NT4.0にはLIPSIV プリンタドライバが、Windows 2000/XP/Server 2003にはLIPSLX プリンタドライバがインストールされます。
- Windows 2000/XP/Server 2003に、LIPSIV プリンタドライバをインストールしたい場合は、自動表示された CD-ROM メニューを一度終了し、[マイコンピュータ] – [CANON_LIPS] を右クリックして開き、[LIPSV] – [LIPS4] フォルダから [SETUP.EXE] をダブルクリックしてインストールを行ってください。LIPSLX プリンタドライバで使用できない以下の機種を使用したい場合のみ、LIPSIV プリンタドライバをインストールしてください。
  ・プリンタフォントを使用する場合
  ・クライアントに WindowsNT4.0 がある共有プリンタ環境の場合
- Windows NT4.0 でインストーラを使ってドライバをインストールする場合には、ServicePack6 以降をインストールしてください。Windows の [プリンタ] フォルダを使ってドライバをインストールする場合や代替インストールを行う場合の必要な ServicePack、インストール方法については、LIPS ソフトウェアガイド第 2 章「Windows から印刷するには」を参照してください。

● USB 関連ドライバ

USB環境をお使いの場合、以下のシステムでUSBクラスドライバ関連ファイルをご利用になれます。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ・上記 OS が動作するために必要なメモリ

Point

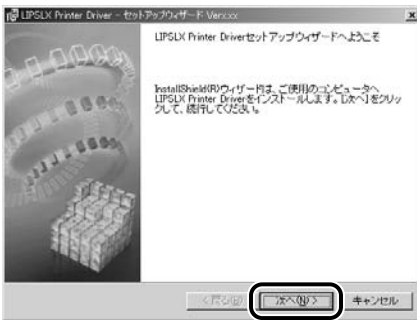
- Windows 98 をお使いの場合、Windows98 プリインストールモデルのみに対応しています。Windows 95/3.1 から Windows 98 へアップグレードした環境では使用できません。

ネットワーク上のプリンタを自動探索する場合

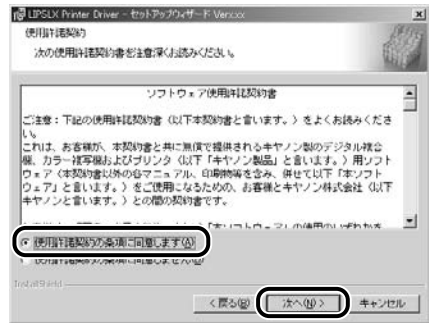
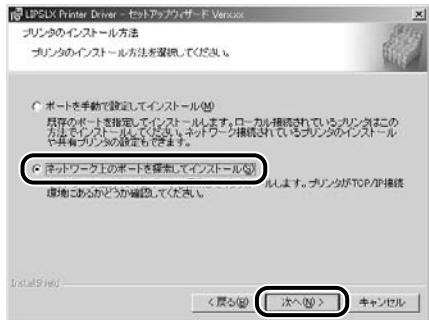
ネットワークプロトコルとして TCP/IP をお使いの場合は、本手順でプリンタドライバをインストールします。ネットワーク上にあるプリンタを自動検索して、プリンタを選択するだけで容易にインストールできます。

1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていること、およびプリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROM メニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

5 ［ネットワーク上のポートを探索してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 処理の選択画面で、［次へ］をクリックします。
共有プリンタ環境で、デバイス情報取得およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバでインストールを行うときに［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 7 に進みます。

Check!

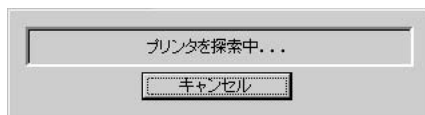
Windowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いの場合に、以下の画面が表示されたら、［はい］または［いいえ］をクリックします。
［はい］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

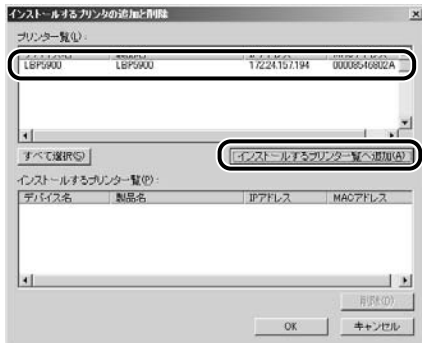
7 Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は、インストール方法を選択したあと、［次へ］をクリックします。初めてプリンタドライバをインストールする場合は、手順 8 に進みます。

インストール方法の種類

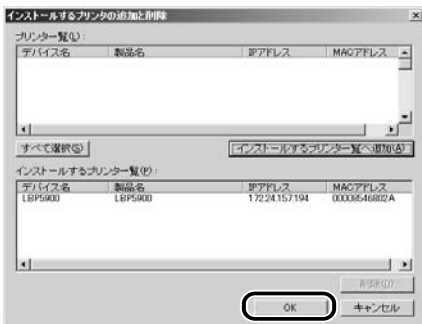
［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。
［現在利用しているドライバは削除する］（Windows 98/Me/NT 4.0 のみ）：	既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

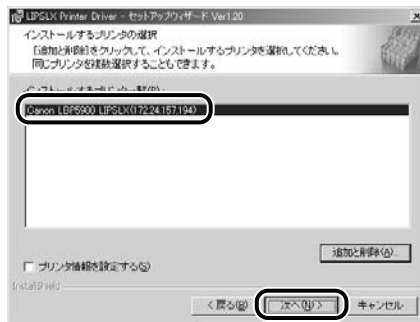
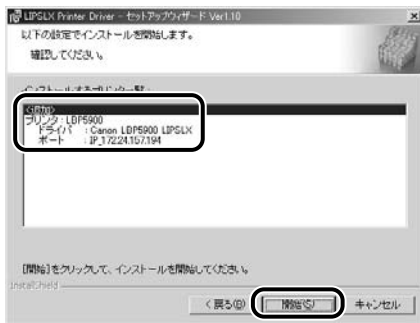
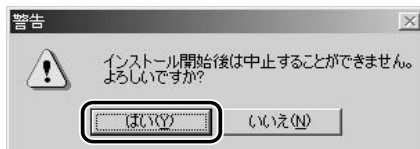
8 ［追加と削除］をクリックします。

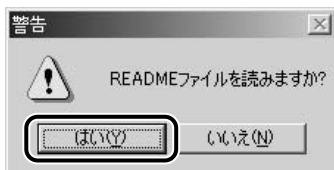
プリンタが探索されます。

［プリンタ一覧］に、探索されたプリンタが表示されます。

9 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

> **Point**
>
> プリンタが探索されない（［プリンター覧］にプリンタが表示されない）場合は、「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.5-10）を参照してインストールしてください。

10 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

ウィザードに戻って、［インストールするプリンター覧］が表示されます。

11 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

12 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

13 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

14 インストールが終了して「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

15 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

インストール終了後に、デバイス情報の取得が自動で行われます。

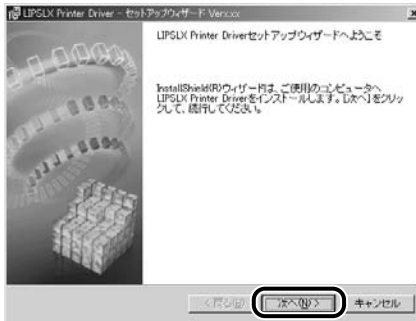
以上でインストールの作業が終了しました。

USB 環境をお使いの場合

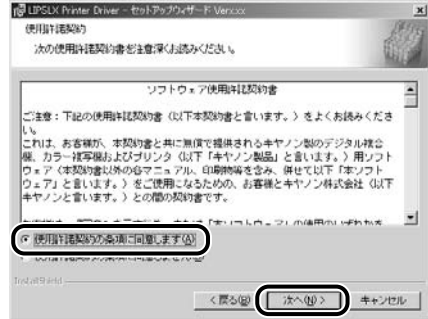
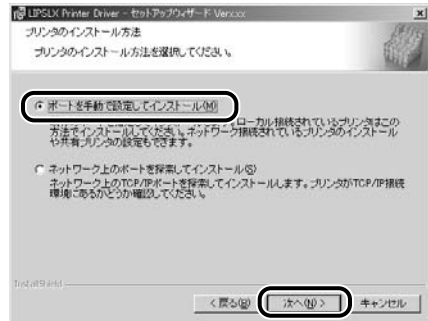
USB 環境でのプリンタドライバのインストール手順について説明しています。次の手順で、ドライバをインストールしてください。

1 プリンタ本体の電源がオフになっていること、およびコンピュータとプリンタの USB ケーブルが外されていることを確認します。

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットして、CD-ROM メニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

5 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［USB 接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

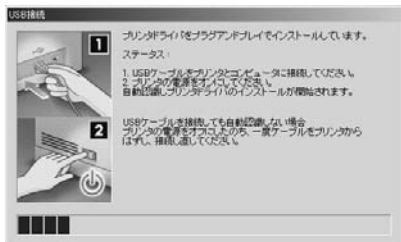
7 ドライバをインストールします。

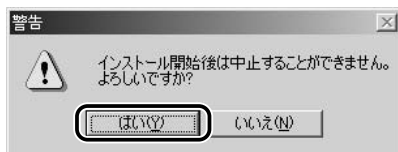
● **初めてプリンタドライバをインストールする場合**

a 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

b 次の画面に従って、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。

● **違う機種のプリンタドライバを USB 接続以外でインストールしている場合**

a 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールを続けます。

● **同じ機種のプリンタドライバを USB 接続以外でインストールしている場合**

a 以下のメッセージが表示されたら、［いいえ］をクリックして、インストールを中断します。

b 「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.5-10）の手順に従ってインストールを行い、ポートの設定箇所で既存の USB ポートを選択します。

● **古いバージョンのプリンタドライバをインストールしている場合**

a 以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

b 「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.5-10）の手順 7（または 8）以降に従って、既存のドライバを更新します。

c 再度、手順 1からUSB接続ドライバをインストールします。

8 インストール完了の画面が表示されたら、[終了] をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。

ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合

次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

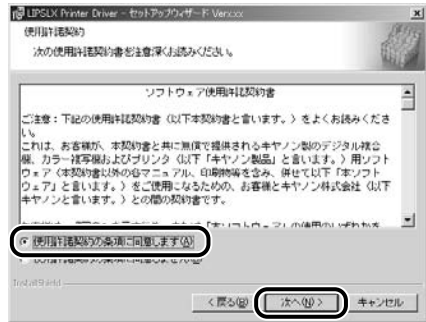
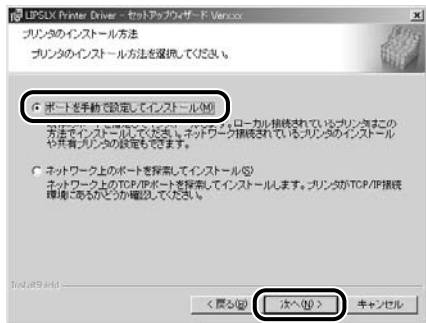
1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていること、およびプリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、CD-ROM メニューの［プリンタドライバインストール］をクリックします。

ウィザードが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

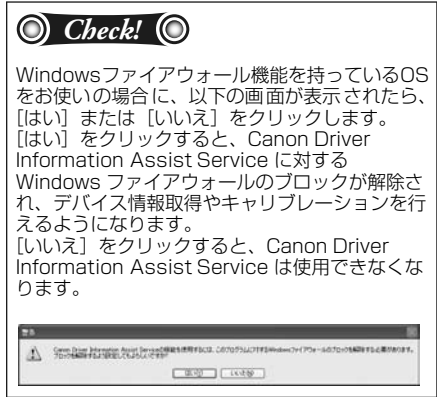
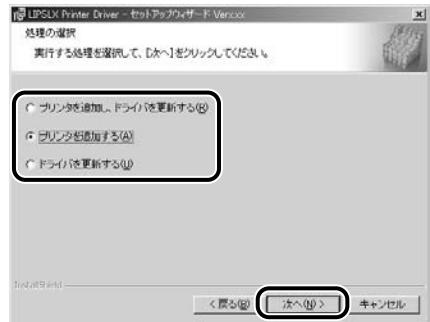
使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

5 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［USB 接続でドライバをインストールする］のチェックマークが外されていることを確認したあと、［次へ］をクリックします。

7 処理の選択画面で、［LIPSLX プリンタドライバ］または［LIPS4 プリンタドライバ］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

共有プリンタ環境で、デバイス情報取得およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバでインストールを行うときに［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 8 に進みます。

Check!

Windowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いの場合に、以下の画面が表示されたら、［はい］または［いいえ］をクリックします。
［はい］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

8 インストールの方法を選択したあと、［次へ］をクリックします。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、ドライバを更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。
［ドライバを更新する］：	既に登録されている既存のプリンタドライバを更新します。
［現在利用しているドライバは削除する］（Windows 98/Me/NT 4.0 のみ）：	既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

9 ［追加と削除］をクリックします。

10 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［インストールするプリンター覧へ追加］をクリックします。

選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

11 ［インストールするプリンタの追加と削除］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

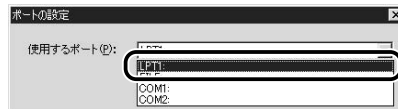
ウィザードに戻って、［インストールするプリンター覧］が表示されます。

12 インストールするプリンタを確認したあと、［次へ］をクリックします。

13 ポートを設定します。

● **標準のポートを設定する場合**

a ［ポートの設定］から［標準のポート］を選択したあと、［設定］をクリックします。

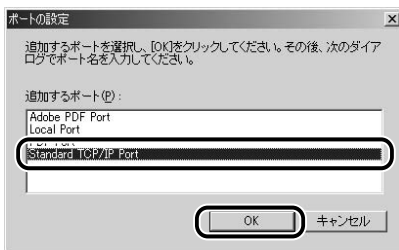
b リストから使用するプリンタポートを選択したあと、［OK］をクリックし、手順14へ進みます。

● **ネットワークプリンタ用のポートを設定する場合**

a ［ポートの設定］から［ネットワーク］を選択したあと、［設定］をクリックします。

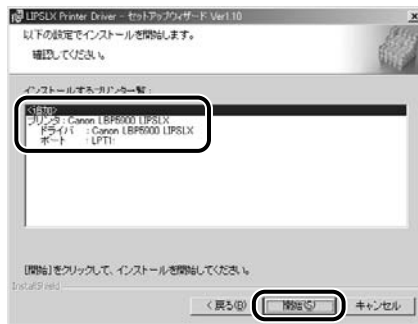
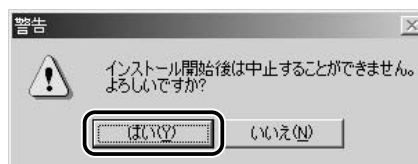
b 使用するネットワークプリンタを選択したあと、[OK] をクリックし、手順 14 へ進みます。

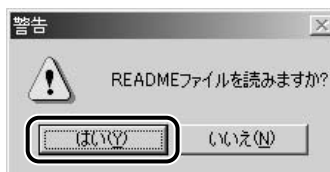
● **ポートを追加する場合**

a [ポートの設定] から [ポートの追加] を選択したあと、[設定] をクリックします。

b 追加するプリンタポートを選択したあと、[OK] をクリックします。

c 表示されるウィザードに従って、追加するポートの設定を行い、手順 14 へ進みます。

14 [プリンタ名] を入力したあと、[次へ] をクリックします。

15 [インストールするプリンター覧] を確認したあと、[開始] をクリックします。

16 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか?」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

インストールが開始されます。

17 インストールが終了して「README ファイルを読みますか?」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

18 インストール完了の画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。

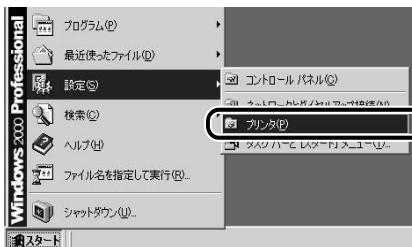
テストページ（印字テスト）を出力する

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずテスト印刷を行ってください。

1 ［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

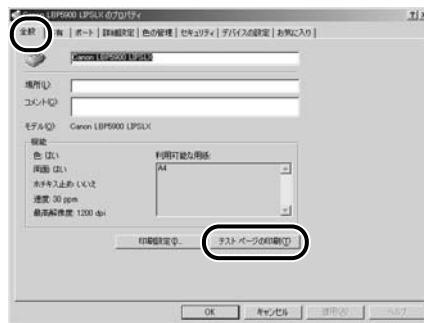
Windows 98/Me/2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順にクリックします。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［全般］ページの［テストページの印刷］（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）、［印字テスト］（Windows 98/Me の場合）をクリックします。

テストページの印刷が開始されます。

4 正しく印刷された場合は、［OK］または［はい］をクリックします。

Macintosh 用プリンタドライバのインストール

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

MacOS8/9 用プリンタドライバ

- OS
  - ・Mac OS 8.6/9/9.0.4/9.1/9.2.1/9.2.2、OS X（10.1.5 以降の Classic 環境のみ）
- コンピュータ／メモリ
  - ・上記 OS が動作する環境

MacOSX 用プリンタドライバ

- OS
  - ・Mac OS X（10.1.5 以降）
- コンピュータ／メモリ
  - ・上記 OS が動作する環境

Point

- Mac OS X には、通常は LIPSLX プリンタドライバをインストールしてください。
- Mac OS X の Classic をお使いの場合、Mac OS 8/9 用プリンタドライバをご利用ください。
- Mac OS X に LIPSIV プリンタドライバをインストールする場合は、[LIPSV]フォルダー［プリンタドライバ Mac OS X］フォルダー［LIPS4］フォルダ内にある［Installer］アイコンをダブルクリックしてください。

プリンタドライバをインストールする

初めてプリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

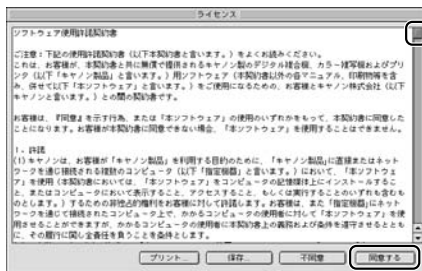
MacOS8/9 用プリンタドライバの場合

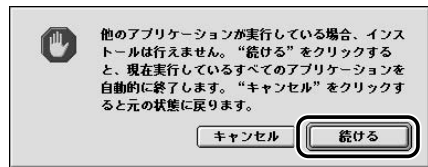
1 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットします。

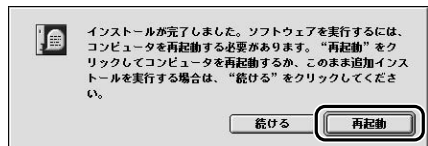
2 [LIPSV] フォルダー [プリンタドライバ MacOS8_9] フォルダを開きます。

3 [Installer] アイコンをダブルクリックします。

インストーラが起動します。

4 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[同意する] をクリックします。

5 [簡易インストール] が選択されていることを確認したあと、[インストール] をクリックします。

6 メッセージが表示されたら、[続ける] をクリックします。

インストールが開始されます。

7 インストールが完了してメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックして、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。
引き続き、「印刷先を設定する」（→ P.6-6）
でプリンタを登録してください。

MacOSX 用プリンタドライバの場合

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

2 [LIPSV] フォルダー [プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。

3 [LIPSLX Installer] アイコンをダブルクリックします。

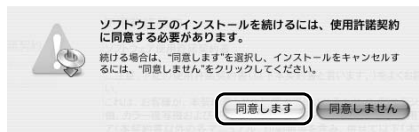
[認証] ダイアログが表示されます。

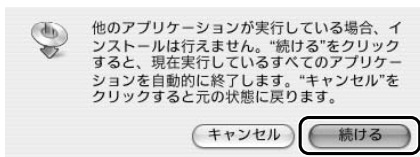
● お使いの環境によっては、[認証] ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 5 へ進んでください。

4 管理者の名前とパスワードを入力したあと、[OK] をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[続ける] をクリックします。

6 [同意します] をクリックします。

7 ［簡易インストール］が選択されていることを確認したあと、［インストール］をクリックします。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

9 インストールが完了してメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックして、コンピュータを再起動します。

コンピュータが再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「印刷先を設定する」（→ P.6-6）でプリンタを登録してください。

印刷先を設定する

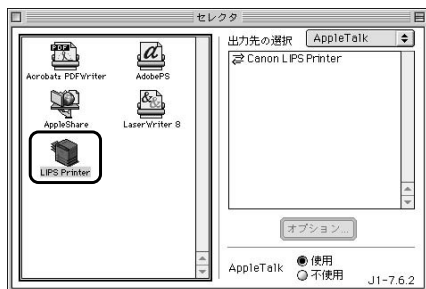
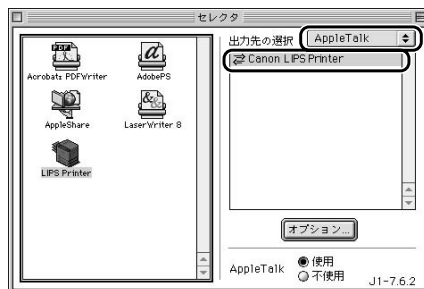
プリンタドライバをインストールしたら、印刷前にあらかじめ印刷先を設定します。

MacOS8/9 用プリンタドライバの場合

1 Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

2 ［LIPS Printer］アイコンを選択します。

［出力先の選択］に、本プリンタドライバで使用できるデバイスの一覧が表示されます。

3 ［出力先の選択］から使用するプリンタの接続形態（［AppleTalk］、［USB］のいずれか）とプリンタを選択します。

4 セレクタを閉じます。

設定が保存されます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

MacOSX 用プリンタドライバの場合

USB 接続の場合

1 お使いのハードディスクの［アプリケーション］（［Applications］）－［ユーティリティ］（［Utilities］）フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］（［Printer Setup Utility］）アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

- Mac OS X 10.2.8以前をお使いの場合は、［プリントセンター］（［Print Center］）アイコンをダブルクリックしてください。

2 [追加]（[プリンタを追加]）をクリックします。

3 [USB] を選択します。

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加] をクリックします。

Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、お使いのプリンタを選択したあとに、[プリンタの機種] で [LIPSLX Printer] を選択してから [追加] をクリックしてください。

Mac OS X 10.2.8 以前をお使いの場合は、[種類] が [LIPSLX Printer] と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

5 [プリンタリスト] ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト] ダイアログを閉じます。

[プリンタリスト] ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、[Canon PrinterLIPS LX]（モノクロプリンタの場合）、[Canon Color Printer LIPS LX]（カラープリンタの場合）と表示されます。

AppleTalk 接続の場合

1 お使いのハードディスクの [アプリケーション]（[Applications]）－[ユーティリティ]（[Utilities]）フォルダにある、[プリンタ設定ユーティリティ]（[Printer Setup Utility]）アイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト] ダイアログが表示されます。

- Mac OS X 10.2.8以前をお使いの場合は、[プリントセンター]（[Print Center]）アイコンをダブルクリックしてください。

2 [追加]（[プリンタを追加]）をクリックします。

3 [AppleTalk] を選択します。

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加] をクリックします。

[種類] が [LIPSLX Printer] と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

5 [プリンタリスト] ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト] ダイアログを閉じます。

[プリンタリスト] ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、[Canon PrinterLIPS LX] (モノクロプリンタの場合)、[Canon Color Printer LIPS LX] (カラープリンタの場合) と表示されます。

IP 接続の場合

1 お使いのハードディスクの [アプリケーション] ([Applications]) − [ユーティリティ] ([Utilities]) フォルダにある、[プリンタ設定ユーティリティ] ([Printer Setup Utility]) アイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト] ダイアログが表示されます。

● Mac OS X 10.2.8以前をお使いの場合は、[プリントセンター] ([Print Center]) アイコンをダブルクリックしてください。

2 [追加] ([プリンタを追加]) をクリックします。

3 [Canon IP(LIPSLX)] を選択します。

Canon IP (LIPSLX)
プリンタのアドレス：
キュー名：
キャンセル
追加

4 ［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタのIPアドレス、またはDNS名称を入力します。

5 ［追加］（［プリンタを追加］）をクリックします。

6 ［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

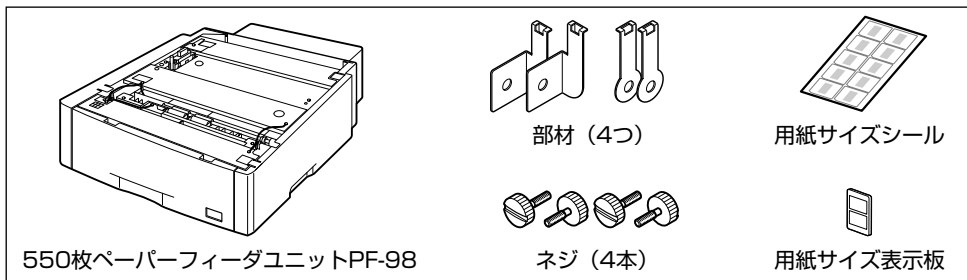
［プリンタリスト］ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon PrinterLIPS LX］（モノクロプリンタの場合）、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）と表示されます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

オプションの設置

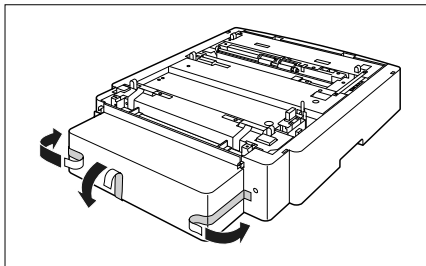
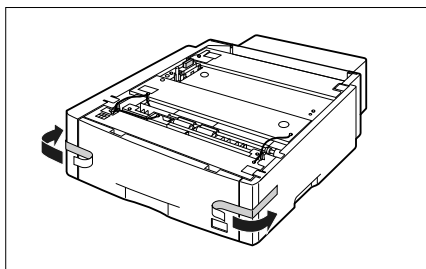
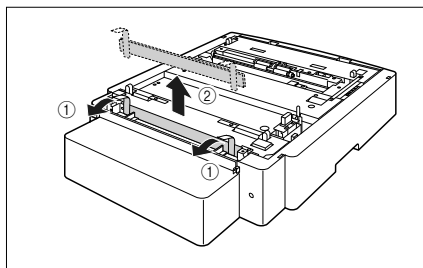
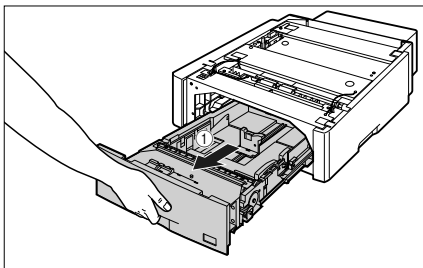
ペーパーフィーダ

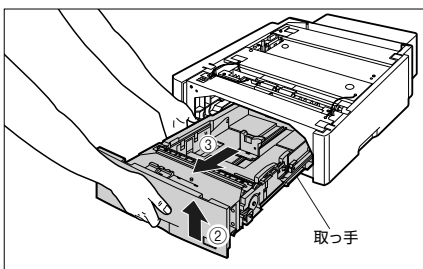
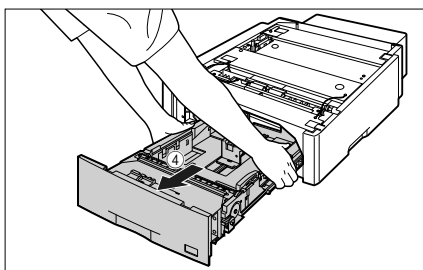
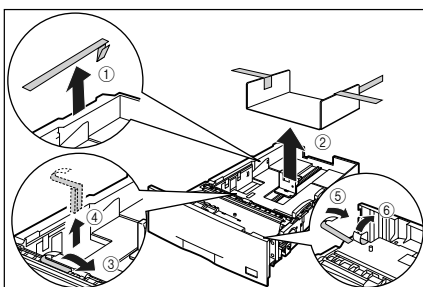
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

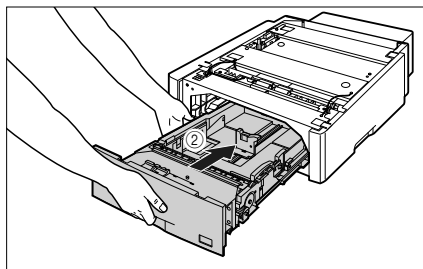
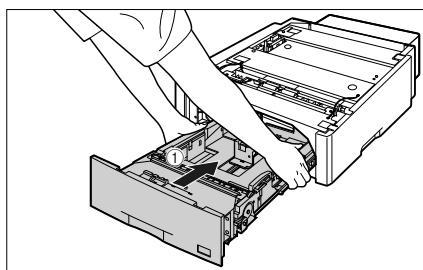
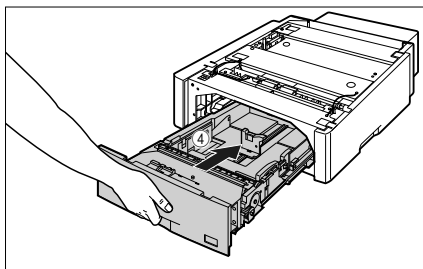
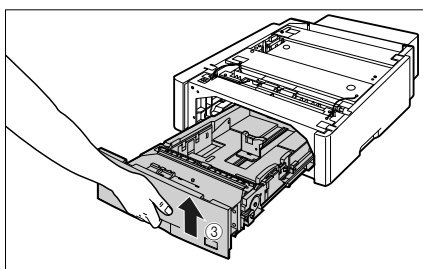
ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

梱包材を取り外す

ペーパーフィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、これらのテープや梱包材を取り外してください。

*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 **給紙カセット、カセット保護カバーを止めているテープを取り外します。**

2 **図の位置にある梱包材を①、②の順に取り外します。**

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

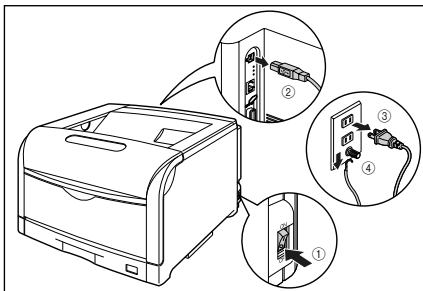
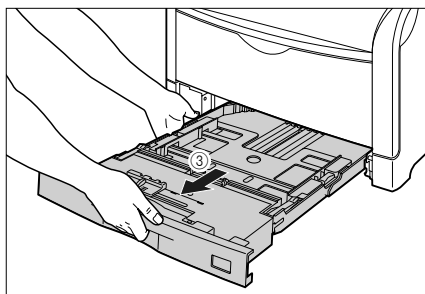
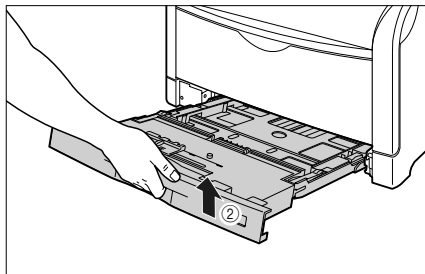
給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

4 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。

5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させせます。

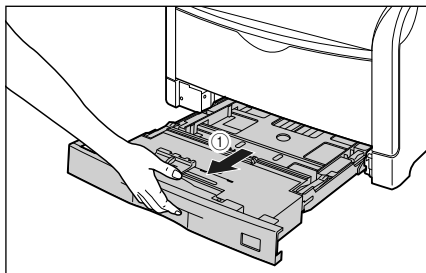
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

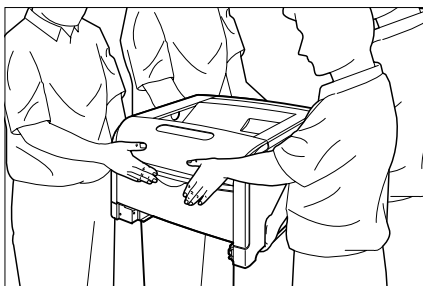
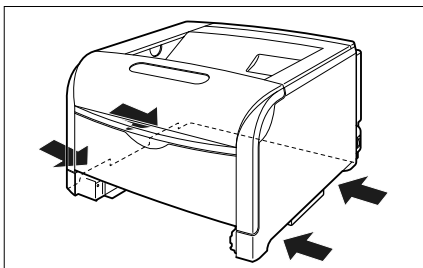
ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 給紙カセットを引き出します。

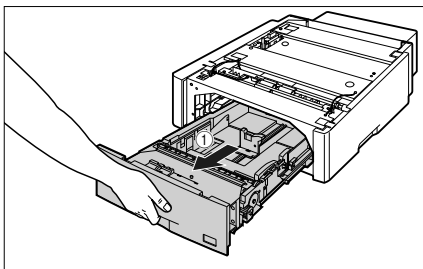
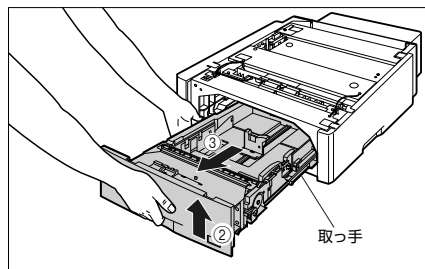
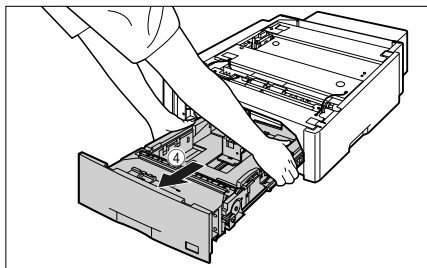
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

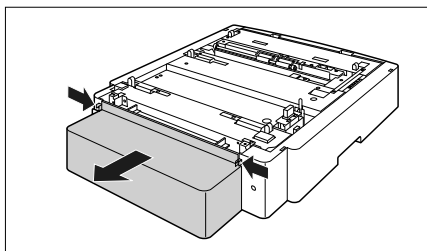
給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

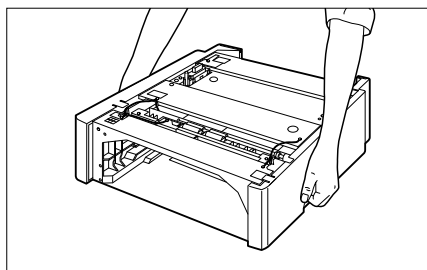
プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

ペーパーフィーダを取り付ける

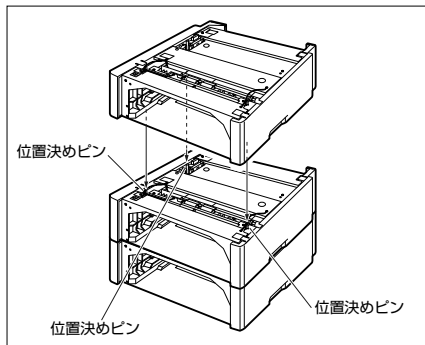
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

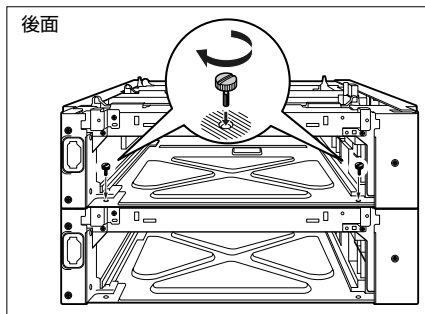
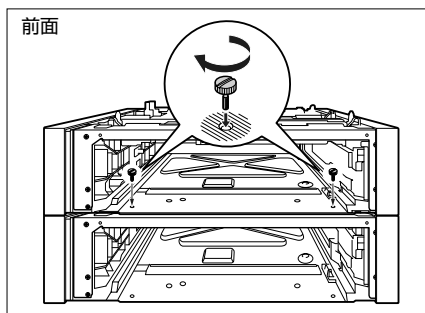
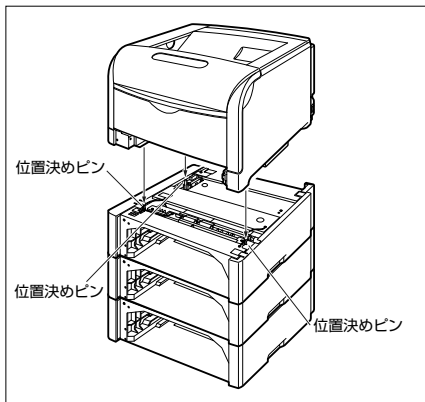
1 すべてのペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

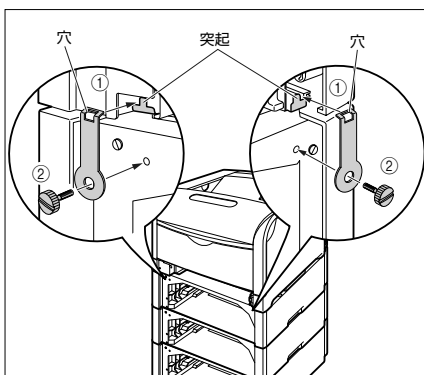
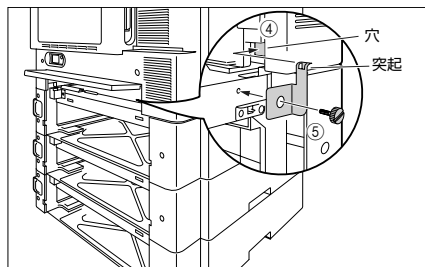
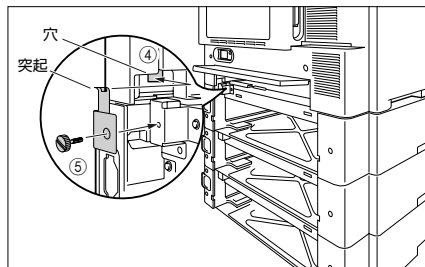
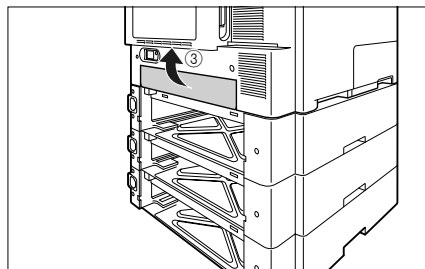
給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

2 ペーパーフィーダのカセット保護カバーを取り外します。

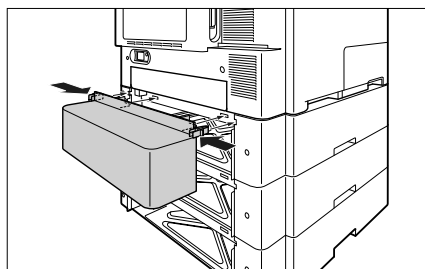
図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、カセット保護カバーを取り外します。

3 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

4 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順6 に進んでください。

5 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

6 プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

7 付属の4つの部材とネジで、プリンタ本体とペーパーフィーダを固定します。

部材の穴をプリンタの突起に取り付けて ①、ネジで固定します ②。

プリンタ本体のカセット保護カバーを上げながら ③、部材の突起をプリンタの穴に取り付け ④、ネジで固定します ⑤。

8 カセット保護カバーを取り付けます。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、突起をペーパーフィーダ背面の溝に差し込みます。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

10 USBケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USBケーブルを接続します。

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USBケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 プリンタ本体、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。

4 4つのネジと部材を取り外します。

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

5 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

6 ペーパーフィーダを2台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

7 ペーパーフィーダを移動します。

8 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

9 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

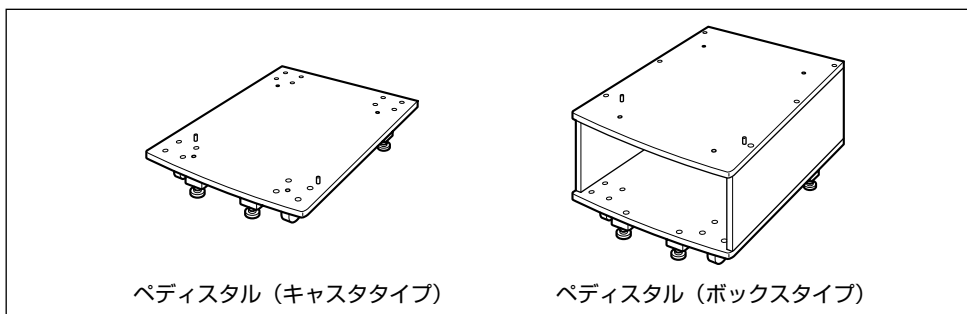
10 USBケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USBケーブルを接続します。

ペディスタル

ペディスタルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。プリンタ本体の底面またはペーパーフィーダの底面に取り付けることができます。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。

ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。

ペディスタル（キャスタタイプ）　ペディスタル（ボックスタイプ）

Check!

- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。
- ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

RAM/ROM

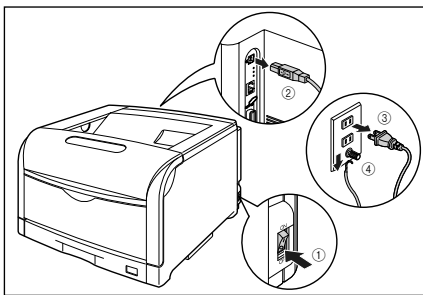
拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ背面のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

RAM を取り付ける

RAM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。RAM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

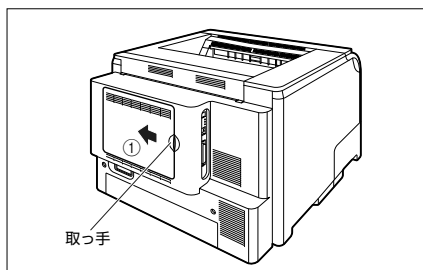
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

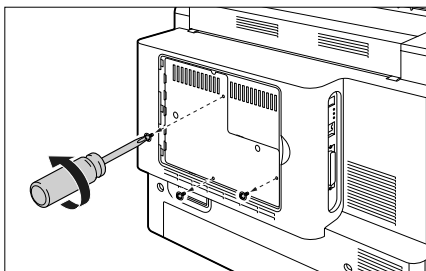
ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

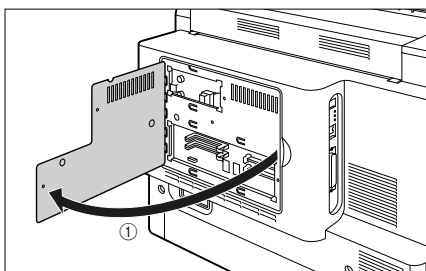
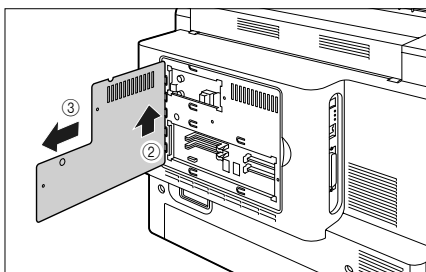
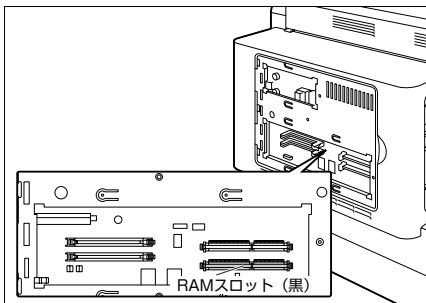
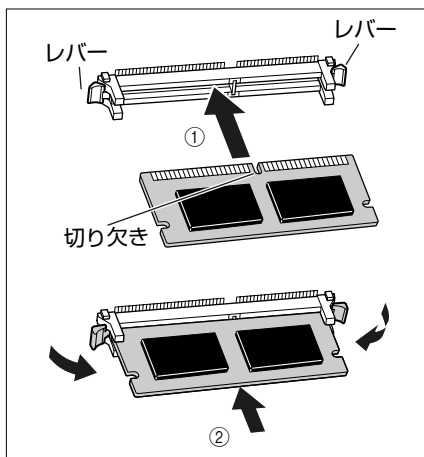
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

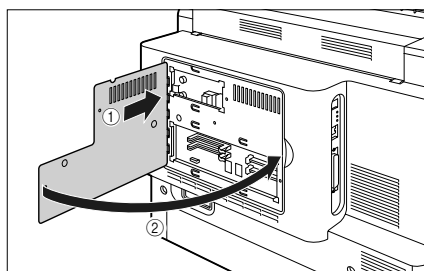
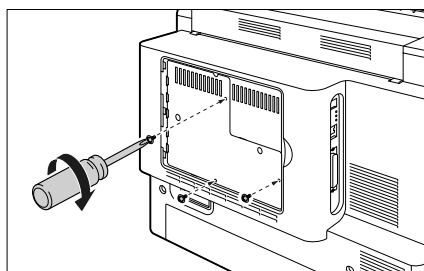
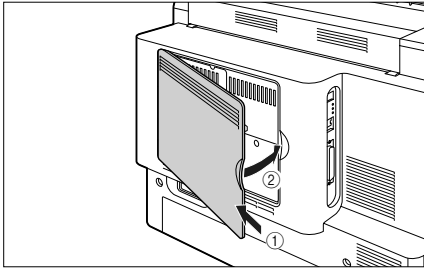
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ 3 本を取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。

スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

RAM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してからRAMを取り付けてください。

6 黒色の RAM スロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、奥までしっかりと押し込みます ②。

RAM が正しく取り付けられると、RAM スロット両端のレバーでロックされます。

7 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

8 スロットカバーをネジ 3 本で固定します。

9 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USBケーブルを接続します。

ROMを取り付ける

ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

Check!

コントロール ROM を取り付けるとハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM は取り付けないでください。

1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

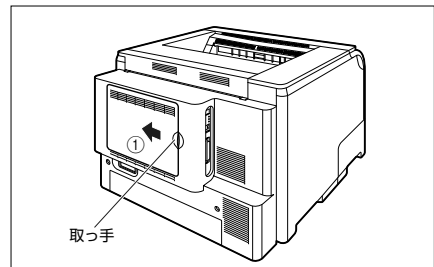
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

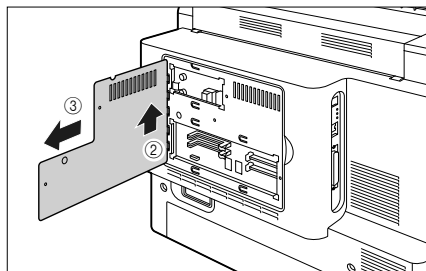
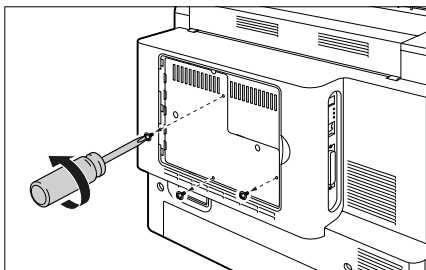
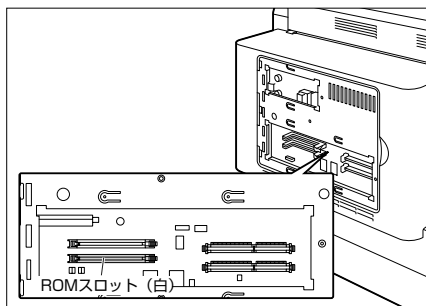
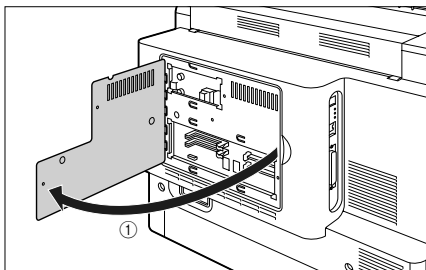
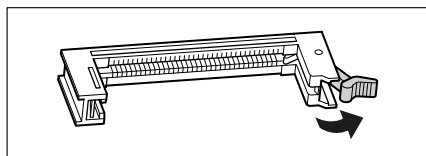
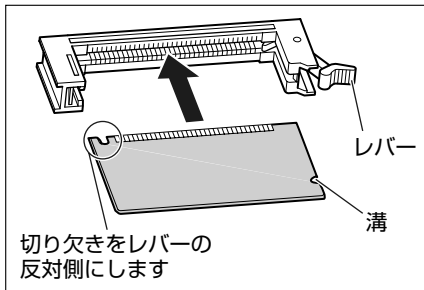
3 後カバーを取り外します。

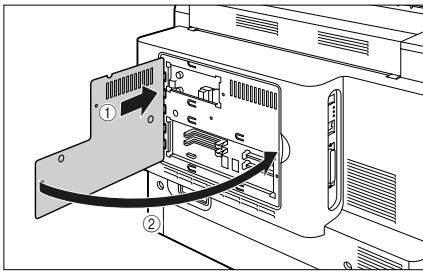
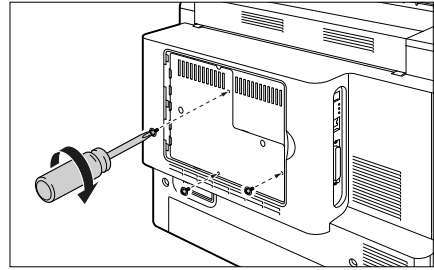
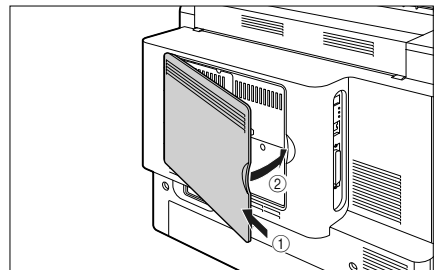
後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ 3 本を取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。

スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから ROM を取り付けてください。

6 白色の ROM スロットのレバーを押し下げます。

7 ROM　の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

8 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

9 スロットカバーをネジ 3 本で固定します。

10 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

11 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

13 USB ケーブルを接続します。

RAM、ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

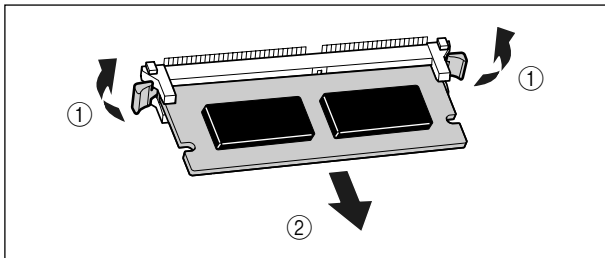
拡張 RAM　→　必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

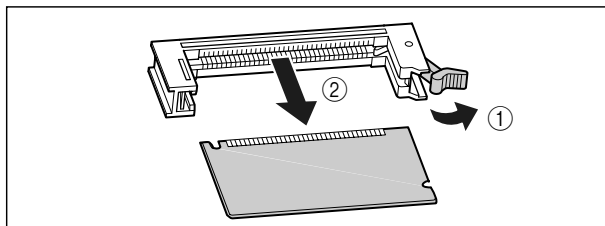
コントロール ROM　→　メニュー機能で設定します。

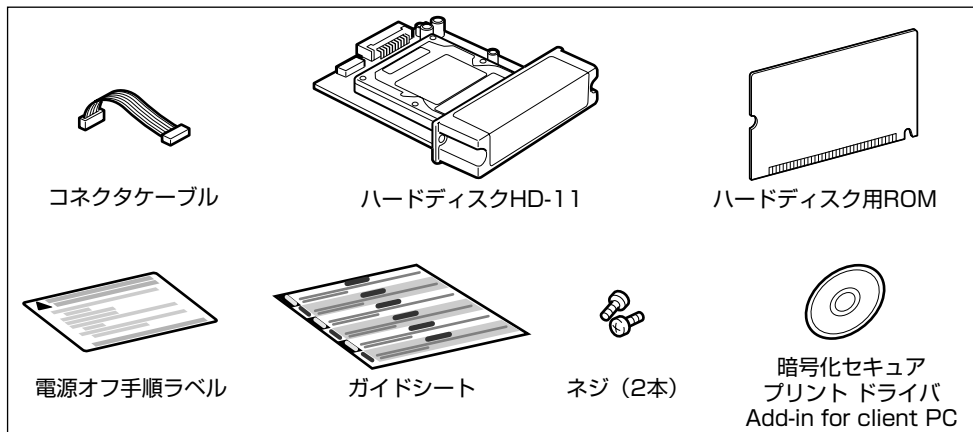
RAM または ROM を取り外す

RAM または ROM は、プリンタ本体の後カバー、スロットカバーを取り外してから、次の手順で取り外します。

● RAM の取り外しかた

RAM スロット両端のレバーを同時に矢印の方向へ押すと ①、RAM が外れます ②。

● ROM の取り外しかた

ROM スロットのレバーを押し下げると ① ロックが外れますので、ROM を引き抜きます ②。

ハードディスク

ハードディスクは、プリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

Check!

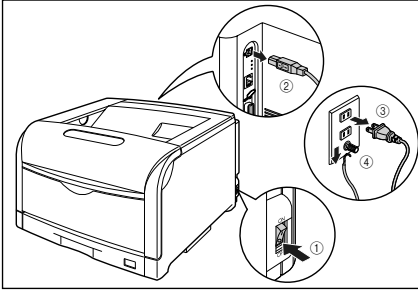
コントロール ROM を取り付けている場合は、ハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM を取り外してください。

ハードディスクを取り付ける

ハードディスクとハードディスク用 ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

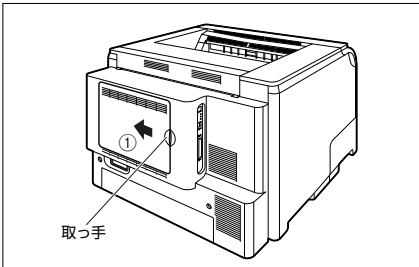
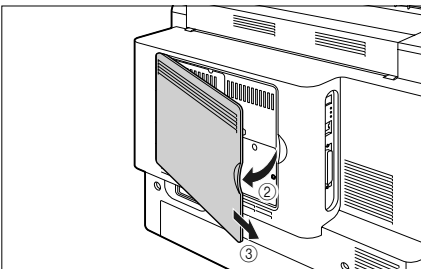
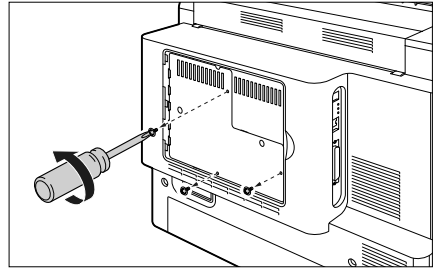
Point

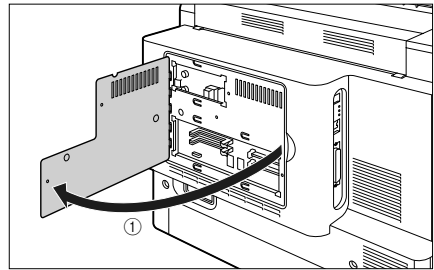
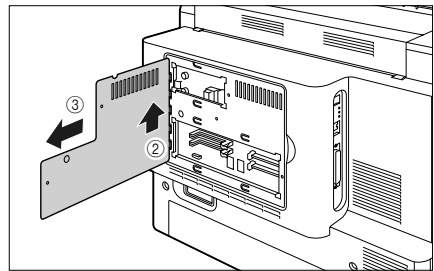
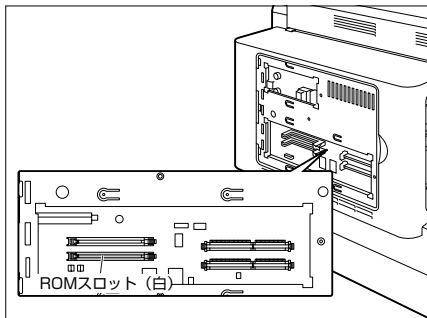
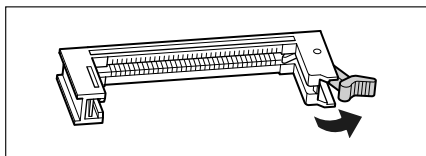
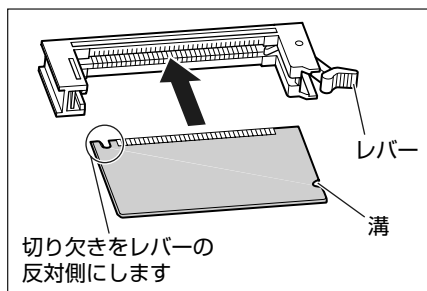
ハードディスクの取り付け後には「パネル設定初期化」を行いますので、プリンタの設定を変更している場合は、ハードディスクの取り付け作業を行う前に、ステータスプリントを出力してプリンタの設定状況を確認・保存しておいてください。ステータスプリントの出力方法は、設置ガイド第 3 章「プリンタの動作を確認する」を参照してください。

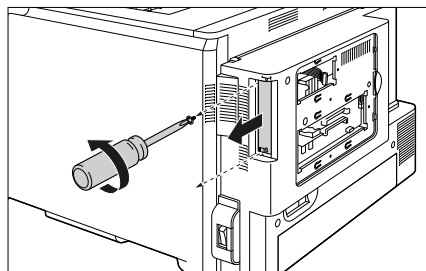
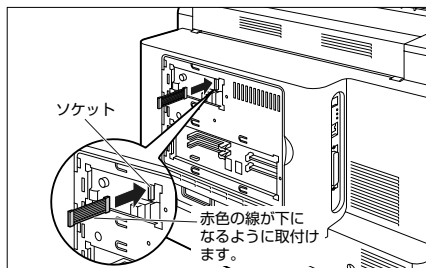
1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

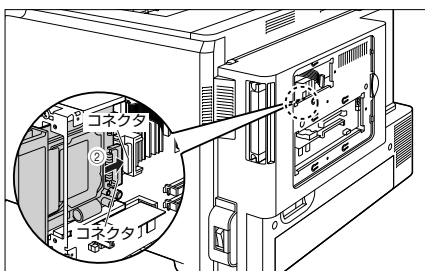
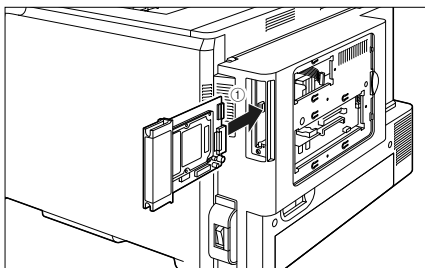
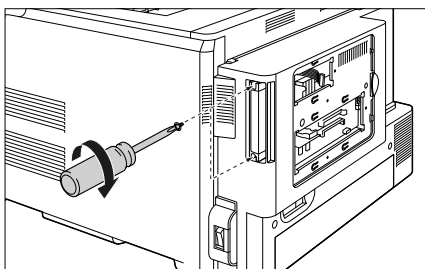
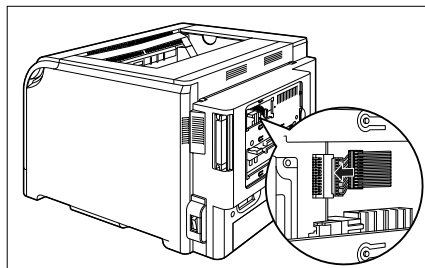
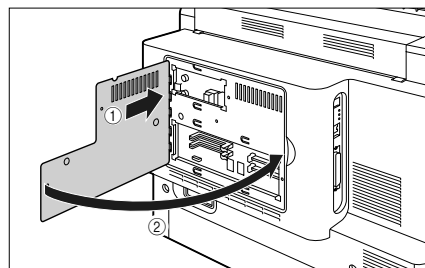
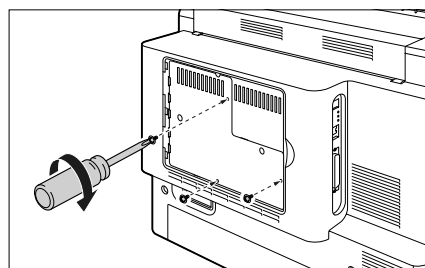
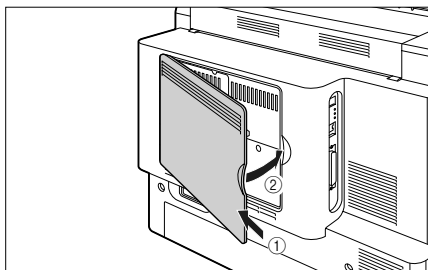
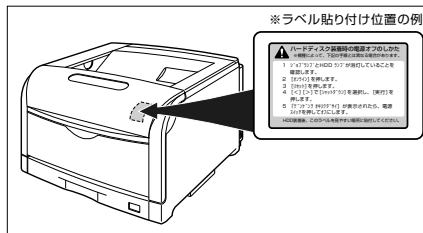
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ 3 本を取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。

スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

ハードディスク用 ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してからハードディスク用 ROM を取り付けてください。

6 白色のハードディスク用 ROM スロットのレバーを押し下げます。

7 ROM の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

8 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

9 ハードディスクに付属のコネクタケーブルをメインボードのソケットへ差し込みます。

10 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込み ①、コネクタが合うようにしっかりと差し込みます ②。

ハードディスクは、金属製のカバー部分を持ち、拡張ボードスロット内部のスロットガイドに合わせて差し込みます。

11 ハードディスクの上下を、付属の2本のネジで固定します。

12 コネクタケーブルの青色のコネクタをハードディスクの青色のソケットへ差し込みます。

13 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

14 スロットカバーをネジ 3 本で固定します。

15 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

16 ハードディスクに同梱されている「電源オフ手順ラベル」をプリンタ本体の見やすい場所に貼り付けます。

17 電源コード、アース線を接続します。

18 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

19 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

20 以降の手順で「パネル設定初期化」を行います。

21 初期化終了後、ハードリセットまたはプリンタの電源を入れなおします。

プリンタの起動後、フォーマットが行われます。

ハードディスクのフォーマット中は、ディスプレイに「FORMATTING」と表示されます。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。

ハードディスクを取り外す

ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り外しは、次の手順で行います。ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り付け時に取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

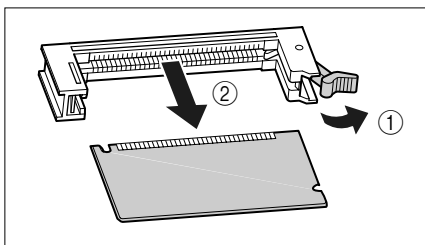
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 後カバーを取り外します。

4 スロットカバーのネジ 3 本を取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

6 ROM スロットのレバーを押し下げ①、ROM を引き抜きます②。

7 コネクタケーブルをハードディスクとメインボードから取り外します。

8 ハードディスクの上下の 2 本の固定ネジを取り外します。

9 ハードディスクを引き抜きます。

10 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

11 スロットカバーを取り付け、ネジ3本で固定します。

12 後カバーを取り付けます。

13 USBケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

15 USB ケーブルを接続します。

お役立ち情報

Chapter

8

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

- 消耗品やオプション品のご購入について
- 故障時の修理について

キヤノンホームページ

- プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
- トラブル発生時の解決方法
- 商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

- 技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
- 消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
- 故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］ ＜平日＞ 9:00 ～ 20:00 ＜土日祝日＞ 10:00 ～ 17:00
（1/1 ～ 3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

CD-ROM の代引き配送サービスについて

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、「お客様相談センター」（→ P.8-2）へご注文ください。

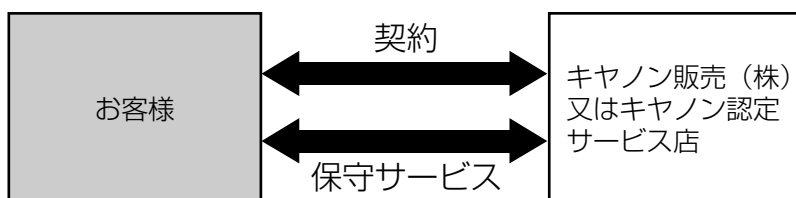
- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

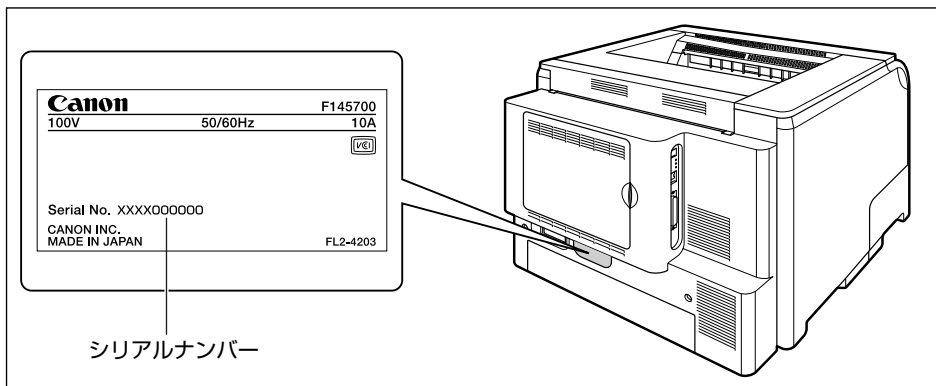
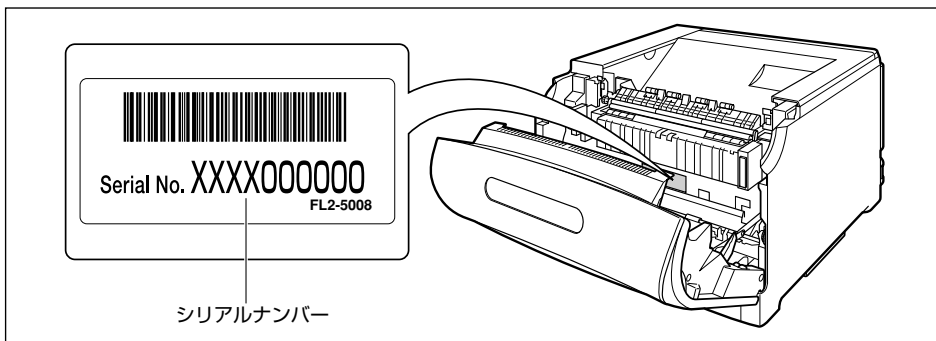
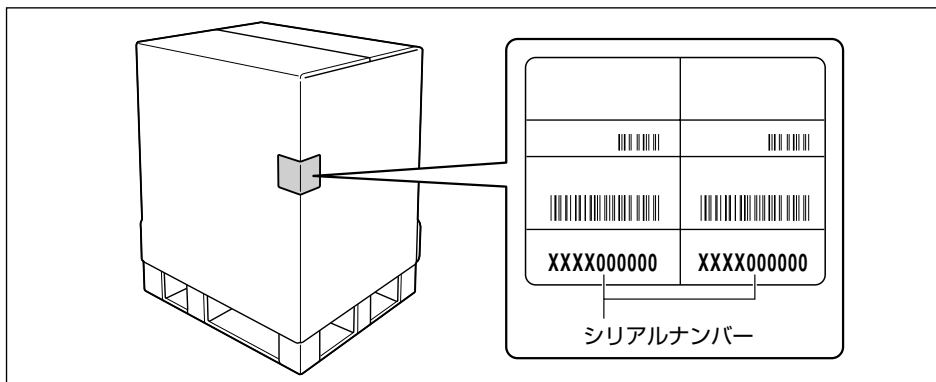
本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●本体背面

●プリンタ内部

●梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

● CD-ROM の代引き配送サービス

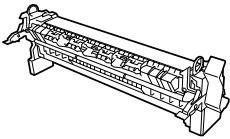
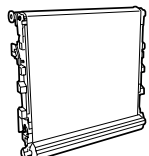
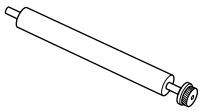
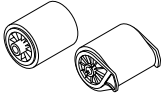
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、「お客様相談センター」（→ P.8-2）へご注文ください。

・対象エリアは日本国内とさせていただきます。

消耗品／定期交換部品の一覧

消耗品

本プリンタでは、消耗品として以下のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	ブラック（Toner Cartridge 502 Black）：10,000 ページ（A4 片面） イエロー（Toner Cartridge 502 Yellow）：6,000 ページ（A4 片面） マゼンタ（Toner Cartridge 502 Magenta）：6,000 ページ（A4 片面） シアン（Toner Cartridge 502 Cyan）：6,000 ページ（A4 片面）	それぞれに 1 色づつのトナーが入った 4 種類のカートリッジです。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-29）
ドラムカートリッジ	ブラック（Drum Cartridge 502 Black）：50,000 ページ（A4 片面） イエロー（Drum Cartridge 502 Yellow）：50,000 ページ（A4 片面） マゼンタ（Drum Cartridge 502 Magenta）：50,000 ページ（A4 片面） シアン（Drum Cartridge 502 Cyan）：50,000 ページ（A4 片面）	感光ドラムが入ったカートリッジです。（→ドラムカートリッジを交換する：P.2-32）
廃トナー容器	2,300 ページ（A4 片面）	使用済みのトナーが入る容器です。（→廃トナー容器を交換する：P.2-41）

定期交換部品

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。ITB ユニット、二次転写ローラ、給紙ローラは専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。定着器につきましては、お客様での交換も可能です。本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	150,000 ページ（A4 片面）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命をすぎると、画像不良や用紙のしわの原因になります。（→ユーザーズガイド第 4 章 「定着器を交換する」）
ITB ユニット	150,000 ページ（A4 片面）	4 色のトナーを用紙に転写させるためのユニットです。
二次転写ローラ	150,000 ページ（A4 片面）	4色のトナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	150,000 ページ（A4 片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。

設置場所と取り扱いについて

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。また、取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）簡単登録

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は 1300W* 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz)。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

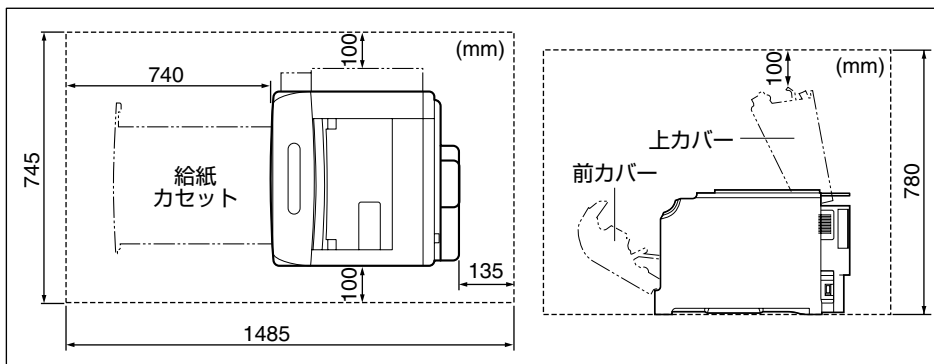
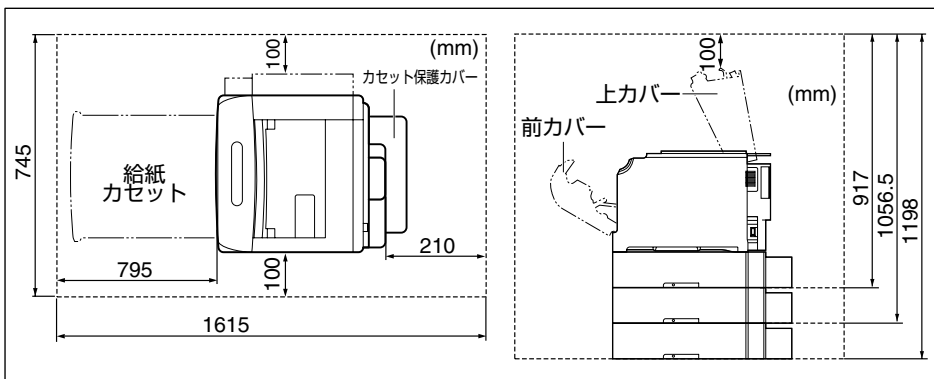
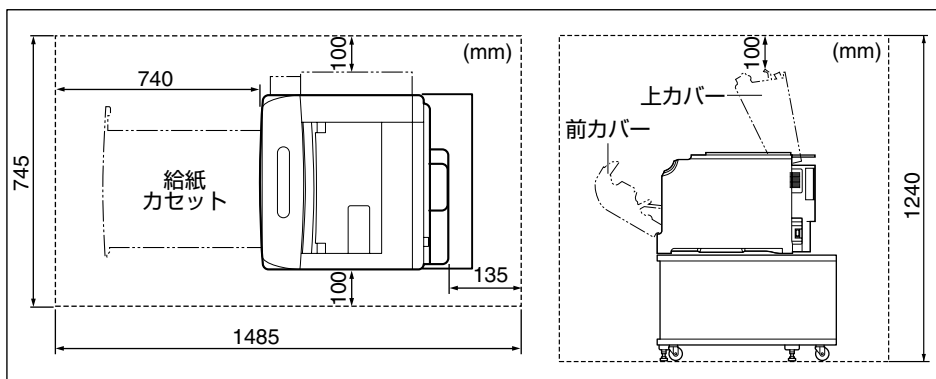
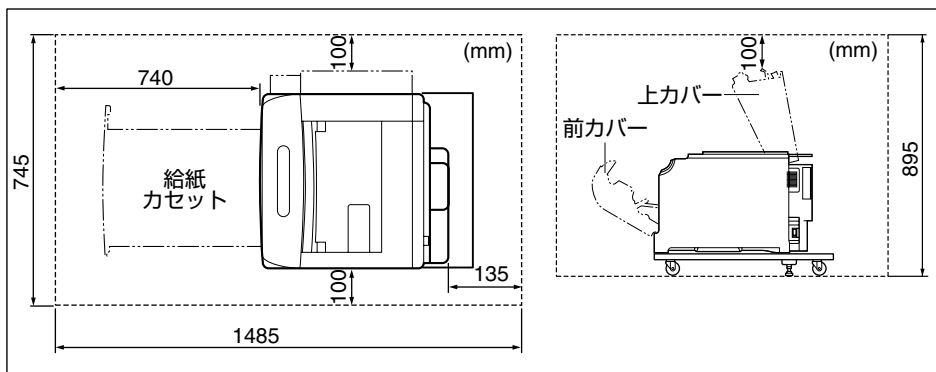
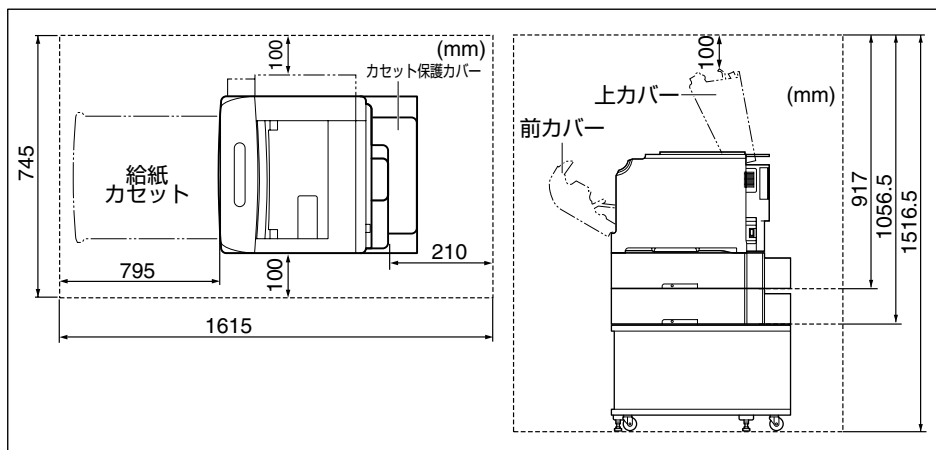
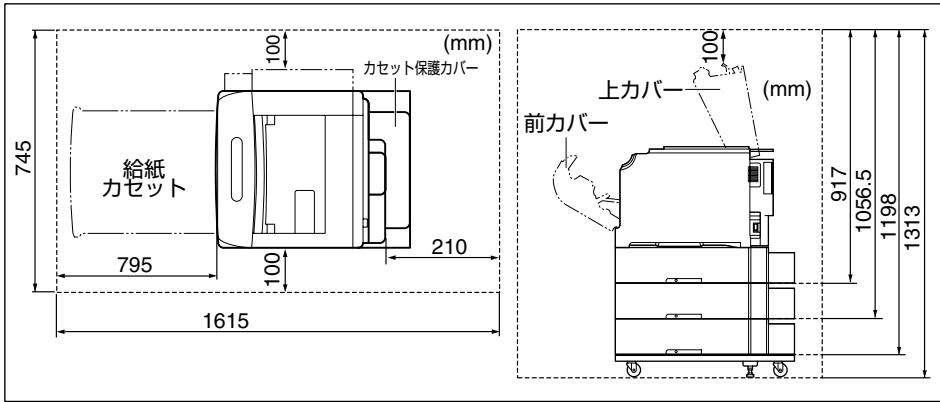
本プリンタは、次のような場所に設置してください。

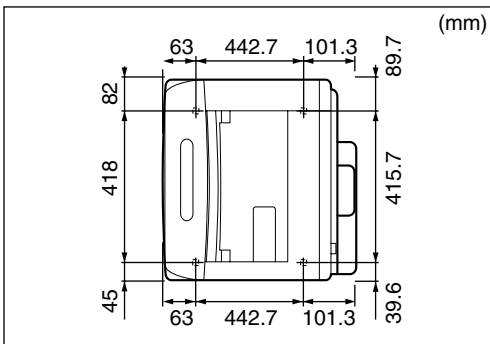
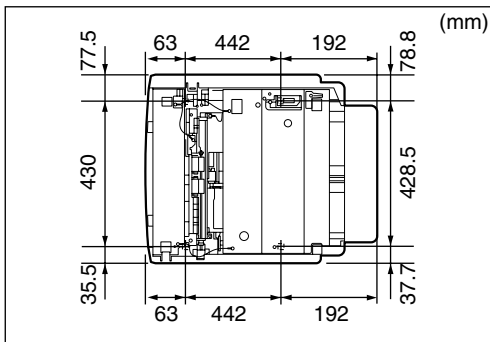
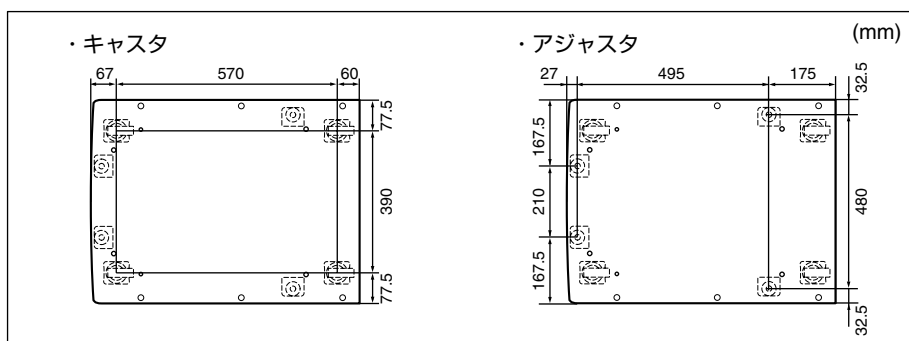
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

●標準状態

● 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段装着状態

●ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

●ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

● 550 枚ペーパーフィーダ＋ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

● 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段 + ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

足の位置

●プリンタ本体

● 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98

●ペディスタルのキャスタ、アジャスタの位置

取り扱い上のご注意

注意

万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

メニュースタートアップ

ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。

ユーティリティメニュー MAP E
プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

ジョブメニュー MAP E
セキュアプリントやボックスに保存したジョブの操作を行います。

オンライン　ジョブキャンセル　給紙選択　印刷可　メッセージ　HDD　ジョブ　ユーティリティ　ジョブ　セットアップ　リセット　実行

給紙選択メニュー MAP E
給紙カセットと手差しトレイのどちらからプリントするのかや、用紙のサイズを設定します。

リセットメニュー MAP E
プリンタのリセット操作やプリントデータの排出、シャットダウン操作を行います。

セットアップメニュー MAP A B C D
レイアウトの調整や、拡大／縮小など、プリントするときの環境を設定します。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

Push　ジョブ　ユーティリティ　セットアップ　リセット

MAP D LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

LIPS4セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［実行］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

カクダイ/シュクショウ →

MAP D ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

ESC/P セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［実行］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ページ゛レイアウト →

MAP D IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

3.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

IMAGING セットアップ゜ →

4. 下の階層へ進みます。
［実行］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ガゾウノムキ →

MAP E 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ センタク
キュウシ モード →

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

MAP E ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

ジョブ
ジョブリレキリスト →

MAP E ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータスプリント →

MAP E リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

リセット
ソフトリセット →

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
▲ 上の項目に戻る。
▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
◀ 左の項目を選択する。
▶ 右の項目を選択する。

MAP B

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP A（MAPAより）→ レイアウト ▶◀ → 印字調整 → 下段に続く

- レイアウト
  - コピー枚数 P.3-28：1 / 999
  - 縦位置補正 P.3-28：-50.0 / 0.0 / 50.0
  - 横位置補正 P.3-28：-50.0 / 0.0 / 50.0
  - とじ方向 P.3-29：長辺とじ / 短辺とじ
  - とじしろ P.3-30：-50.0 / 0.0 / 50.0
  - 特殊両面処理* P.3-32：する / しない
- 印字調整
  - データ処理 P.3-33：ファイン / スーパーファイン
  - 階調処理 P.3-34：高階調1* / 高階調2* / 標準*
  - ドラフトモード P.3-34：使わない / 使う
  - トナー濃度C P.3-34：1 / 9 / 16
  - トナー濃度M P.3-35：1 / 9 / 16
  - トナー濃度Y P.3-35：1 / 9 / 16
  - トナー濃度K P.3-35：1 / 9 / 16
  - カラーモード P.3-35：自動 / カラー / モノクロ
  - 中間調
    - モノクロ中間調 P.3-36
      - テキスト：解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
      - グラフィックス：階調 / 色調 / 高解像度 / 解像度
      - イメージ：色調 / 高解像度 / 解像度 / 階調
    - カラー中間調 P.3-36
      - テキスト：解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
      - グラフィックス：色調 / 高解像度 / 解像度 / 階調
      - イメージ：色調 / 高解像度 / 解像度 / 階調
  - グレー補償 P.3-37
    - テキスト：する / しない
    - グラフィックス：する / しない
    - イメージ：しない / する

上段から続く

- CMS
  - CMS（マッチング）選択 P.3-37：プリンタ / ホスト
  - CMS／ガンマ P.3-37
    - テキスト：ガンマ / CMS
    - グラフィックス：ガンマ / CMS
    - イメージ：ガンマ / CMS
  - RGBソースプロファイル P.3-38
    - テキスト：sRGB v1.31 / HDTV gamma 1.5 / HDTV gamma 1.8 / HDTV gamma 2.4 / ダウンロードプロファイル*
    - グラフィックス：sRGB v1.31 / HDTV gamma 1.5 / HDTV gamma 1.8 / HDTV gamma 2.4 / ダウンロードプロファイル*
    - イメージ：sRGB v1.31 / HDTV gamma 1.5 / HDTV gamma 1.8 / HDTV gamma 2.4 / ダウンロードプロファイル*
  - 出力プロファイル P.3-39
    - テキスト：Normal / Photo
    - グラフィックス：Normal / Photo
    - イメージ：Photo / Normal
  - マッチング方法 P.3-39
    - テキスト：鮮やかさ優先 / 色差最小 / 色味優先
    - グラフィックス：色味優先 / 鮮やかさ優先 / 色差最小
    - イメージ：色味優先 / 鮮やかさ優先 / 色差最小
  - ガンマ補正 P.3-40
    - テキスト：1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0
    - グラフィックス：1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0
    - イメージ：1.4 / 1.8 / 2.2 / 1.0
- 画質警告 P.3-41：継続 / 停止

MAP C（MAPCをご参照ください）

ルートマップの見かた

- ●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲ 上の項目に戻る。
  - ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
  - ◀ 左の項目を選択する。
  - ▶ 右の項目を選択する。

MAP C

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP D
メニュールートマップ
ESC/P・IMAGING
LIPS4・LIPSLX セットアップ編
MAP C
MAPCより
LIPS4セットアップ
LIPS LXセットアップ
下段に続く
拡大/縮小 P.4-4
しない ↓A3 ↓B4 ↓A4 ↓B5 ↓A5 ↓ハガキ ↓往復ハガキ ↓4面ハガキ ↓リーガル ↓レター
複数ページ印刷 P.4-4
しない 2ページ(左) 2ページ(右) 4ページ(横・左) 4ページ(横・右) 4ページ(縦・左) 4ページ(縦・右)
複数ページ余白 P.4-6
パターン1 パターン2
ページの向き P.4-7
縦 横
オーバレイ1 P.4-7
しない 0 32767
オーバレイ2 P.4-7
しない 0 32767
カラーオーバレイ P.4-8
しない する
スタートアップマクロ P.4-9
0 30 32767
漢字コード P.4-9
JIS シフトJIS EUC DEC
文字サイズ P.4-11
10ポイント 12ポイント 8ポイント
漢字書体 P.4-11
明朝 ゴシック
ANK書体 P.4-11
明朝 ゴシック ラインプリンタ
漢字グラフィックセット P.4-12
JIS90 JIS78
行数 P.4-12
6LPI 8LPI 10~99
桁数 P.4-12
自動 10CPI 12CPI 15CPI 10~200
自動改ページ P.4-13
する しない
自動改行 P.4-13
する しない
CR機能 P.4-13
CRのみ CR+LF
LF機能 P.4-13
LFのみ LF+CR
網かけ解像度 P.4-14
クイック ファイン
ジョブタイムアウト P.4-14
しない する
白紙節約 P.4-14
する しない
白紙節約 P.4-15
する しない
上段から続く
ESC/Pセットアップ
下段に続く
ページレイアウト
ページフォーマット P.5-4
実寸縦 実寸横 10"↓A4縦 15"↓A4横 15"↓B4横 B4↓A4縦 B4↓A4横
上余白 P.5-6
-127 0 127
用紙位置微調整 P.5-7
-127 0 127
領域 P.5-9
標準 ワイド
右マージン既定値 P.5-9
136桁 右端
用紙サイズ P.5-9
A4 B5 A5 ハガキ A3 B4
2ページ印刷設定 P.5-10
しない 左 右
フォント
漢字書体 P.5-11
明朝 ゴシック ID
フォントID *P.5-11
1 2 999
文字サイズ P.5-11
システム 8ポイント 10ポイント 12ポイント
文字コード P.5-12
カタカナ グラフィックス
国別文字 P.5-12
日本 ノルウェー デンマーク2 スペイン2 ラテンアメリカ USA フランス ドイツ UK デンマーク スウェーデン イタリア スペイン
印字機能
イメージの補正 P.5-13
しない する
縮小文字 P.5-13
しない する
印字動作
改行機能 P.5-14
LFコマンドを待つ 改行
VFC
連続用紙長 P.5-15
システム 1行 199行
単票用紙長 P.5-16
システム 1行 199行
ミシン目スキップ P.5-16
しない 1行 31行
その他
登録レベル P.5-17
一時 永久
カラーモード自動時 P.5-17
フルカラー モノクロ
上段から続く
IMAGINGセットアップ
パネル設定初期化
P.2-23
画像の向き P.6-3
自動 縦 横
拡大/縮小 P.6-3
しない 自動
印字位置 P.6-4
自動 中央 左上
印字保証 *P.6-4
しない する
警告表示 P.6-4
プリント パネル しない
Email本文プリント *P.6-5
する しない
本文プリント制限 *P.6-5
しない する
印字領域拡大 P.6-5
しない する
Exif補正 P.6-6
する しない
ルートマップの見かた
拡張機能
←キー操作
←「グループ」の階層をあらわしています。
スリープモード
←「設定項目」の階層をあらわしています。
P.3-12 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
パネルオフ 使う 使わない
←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。
●ルートマップ中の「▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
▲ 上の項目に戻る。
▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
◀ 左の項目を選択する。
▶ 右の項目を選択する。

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.7-17
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-21

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *
  - カセット3 *
  - カセット4 *
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A4
  - B4
  - A3
  - レター
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - 305X457mm
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 4面ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - 封筒K2
  - A5
  - B5
- カセット2用紙サイズ *
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
- カセット3用紙サイズ *
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
- カセット4用紙サイズ *
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
- 手差しトレイ用紙タイプ
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - 厚紙1
  - 厚紙2
  - ハガキ
  - 封筒
  - コート紙
  - ラベル用紙
  - フリー
- カセット1用紙タイプ
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット2用紙タイプ *
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット3用紙タイプ *
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- カセット4用紙タイプ *
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - ラベル用紙
- 両面印刷
  - しない
  - する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.7-14
リセットメニューの機能と操作 P.2-18

- ハードリセット
  ソフトリセット
- 排出
- シャットダウン *
- トナー交換
  - ブラック トナー
  - シアン トナー
  - マゼンタ トナー
  - イエロー トナー

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.7-10
ジョブメニューの機能と操作 P.2-16

- 暗号化セキュアプリント *
- セキュアプリント *
- 保存ジョブリスト *
- 保存ジョブプリント *
- ジョブ履歴リスト
- 保存履歴リスト
- レポート履歴リスト
- Eメール印刷履歴リスト *

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.7-5
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-14

- ステータスプリント
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
  - カラーサンプル
- N201ユーティリティ *
  - ステータスプリント
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
- I5577ユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- HP-GLユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- N/Wステータスプリント
- Eメール印刷ユーティリティ *
  - Eメール受信
  - 受信履歴リスト
- キャリブレーション
- 印字位置プリント
- テストチャート1
- テストチャート2

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM と取扱説明書 CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）商品名称　　LBP5900

　　本体機番　　LNQA000001

　　（保証シートおよび本体背面、梱包箱外側に記載されています。）

どんなことで困ってますか？

ディスプレイにメッセージが表示されている

どんなことが知りたいですか？

操作方法が知りたい

本プリンタについて知りたい

FA7-9477 (000)

XX2005ABXX

PRINTED IN JAPAN OR CHINA